

**江別市子ども・子育て支援に
関するニーズ調査
報告書（素案）**

平成26年3月

江 別 市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の種類と実施方法	1
3. 配布と回収状況	1
4. 調査結果の見方	2
II 就学前調査	3
1 お子さんご家族の状況について	3
2 子どもの育ちをめぐる環境について	6
3 保護者の就労状況について	12
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用について	18
5 地域子育て支援拠点施設の利用について	21
6 土日等の定期的な教育・保育事業の利用について	23
7 病気の際の対応について（平日の定期的な教育・保育事業利用者のみ）.....	26
8 不定期の教育・保育事業の利用について	28
9 就学後における放課後の過ごし方について（5歳児限定）	31
10 子育て支援事業の利用場所（市内・市外）について	33
11 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて	34
III 小学生調査	38
1 回答者について	38
2 子どもの育ちをめぐる環境について	41
3 保護者の就労状況について	45
4 放課後の過ごし方について（3年生以下限定）	51
5 病気の際の対応について	53
6 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて	56
IV 資料編	60
1 就学前調査集計.....	60
2 小学生調査集計.....	91
3 就学前ニーズ調査票.....	107
4 小学生ニーズ調査票.....	127

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成27年度から5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」策定にあたり、市民の子育てニーズや確保を図るべき教育・保育・子育て支援の量の見込みなどを算定する基礎資料とするため実施したものです。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査の対象（母集団）	実施方法
就学前児童アンケート	市内の就学前児童（0～5歳）の保護者	◇無作為抽出 1,500人 ◇郵送による配布・回収
小学生アンケート	市内の就学児童（小学1～6年生）の保護者	◇無作為抽出 1,200人 ◇郵送による配布・回収

【調査基準日】平成25年11月1日

【調査期間】平成25年12月2日～12月16日（1月8日回収分まで受付）

3. 配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は次のとおりです。

	配布数	回収数	回収率
就学前児童アンケート	1,500票	814票	54.3%
小学生アンケート	1,200票	632票	52.7%

4. 調査結果の見方

- ◇ 各設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- ◇ タイトルの横には、次の2つのデータを並べています。
 - ・当該設問の回答対象者（限定設問である場合）。
 - ・質問形態（SA＝単数回答、MA＝複数回答、FA＝文字記述、NA＝数量回答等）

SA＝単数回答：「1つに○」「主なもの1つに○印」など選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA＝複数回答：「あてはまるものすべてに○」など2つ以上の選択を選ぶ質問形態

FA＝文字記述回答

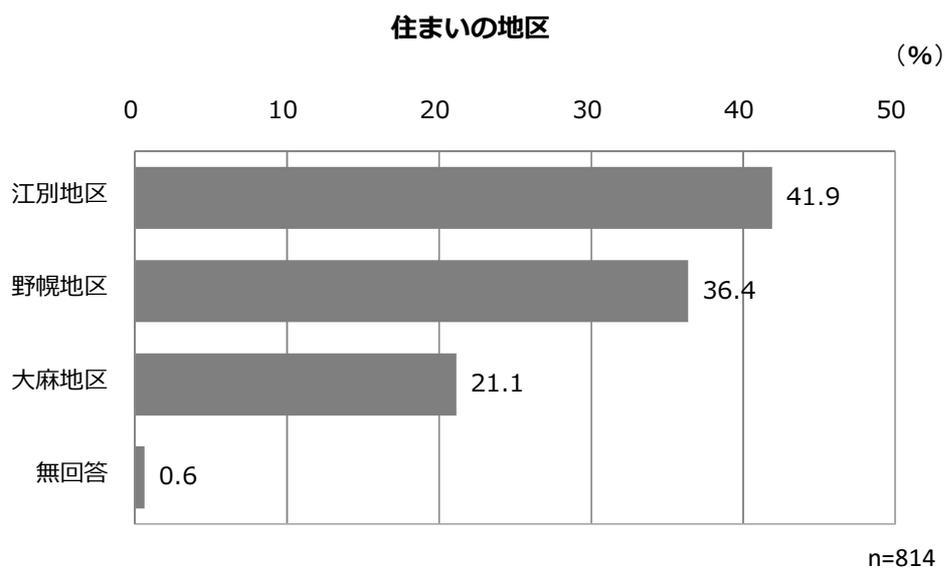
NA＝数量回答：日数や時間、回数などの数値・NAを記入してもらう質問形態

- ◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- ◇ 数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ◇ 集計は、小数点以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ◇ 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。

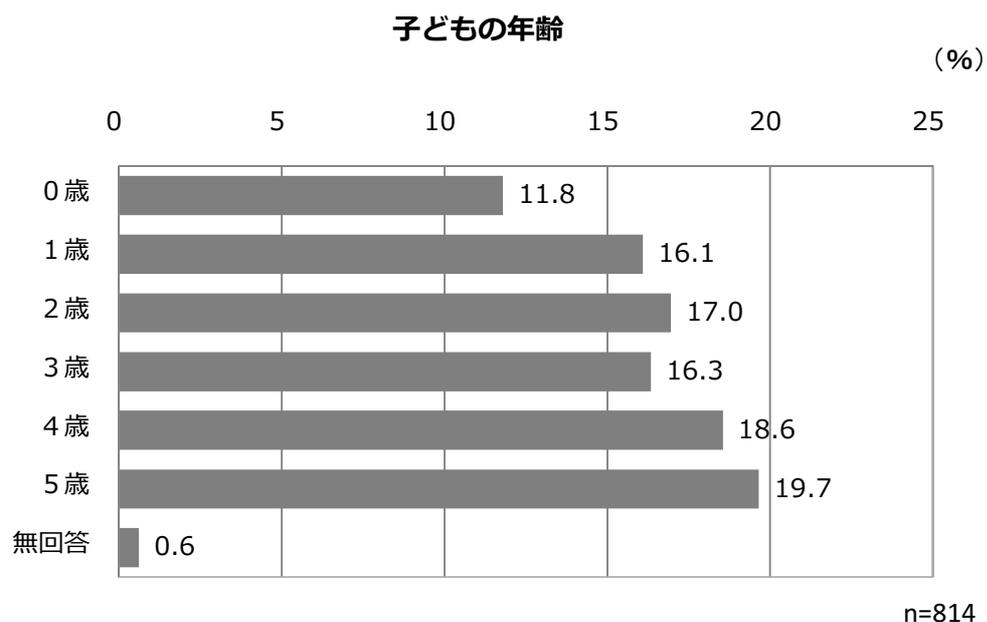
II 就学前調査

1 お子さんご家族の状況について

問1 住まいの地区 (SA)

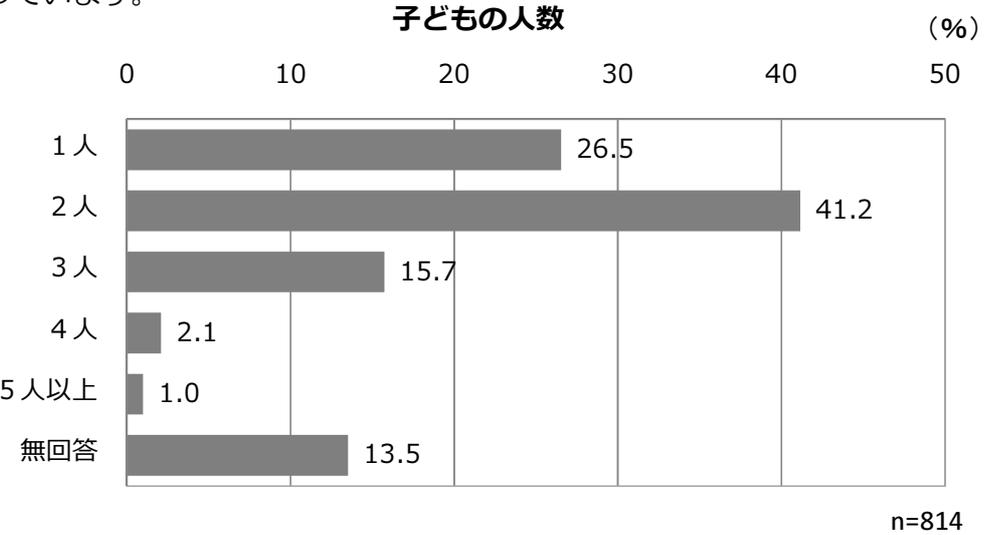


問2 子どもの年齢 (SA)

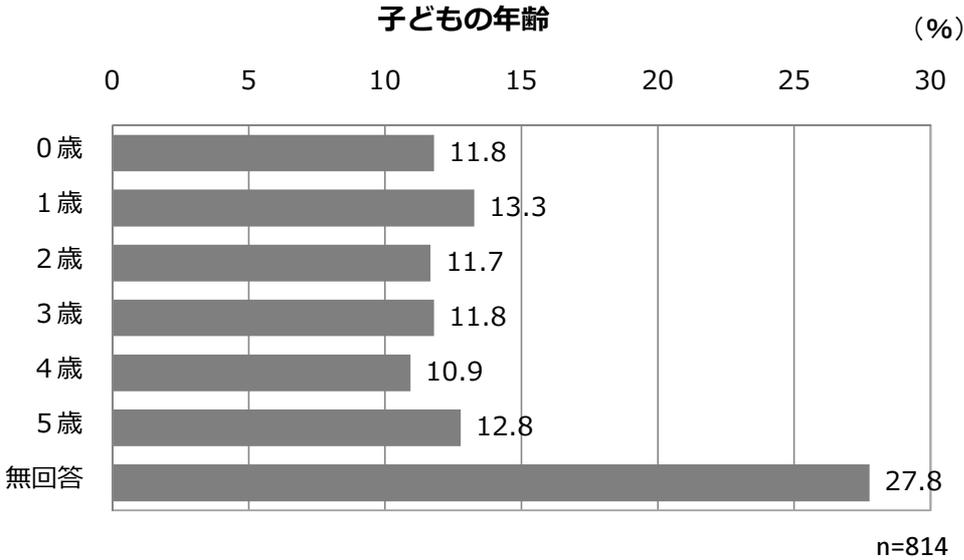


問3 子どもの人数と末子の子どもの年齢

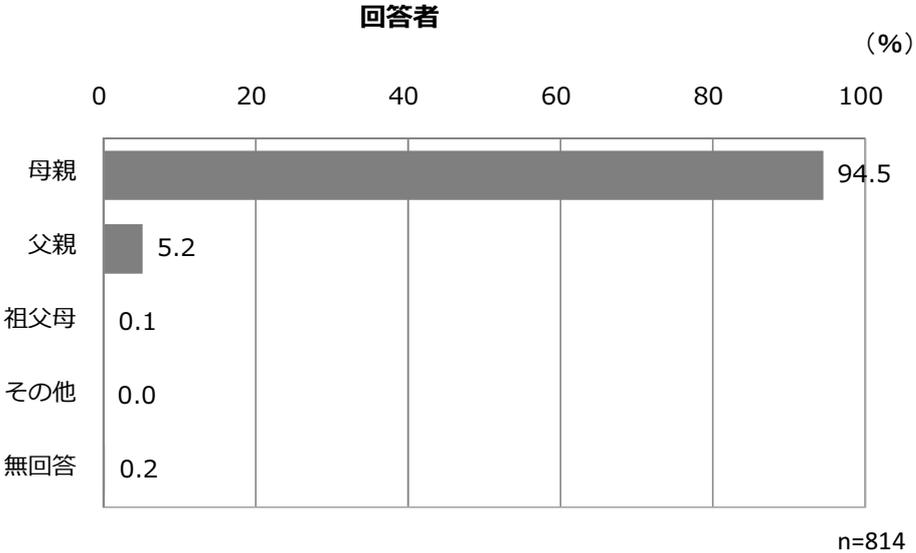
・子どもの人数は、「2人」が41.2%で最も多く、次いで「1人」が26.5%で、平均では1.90人となっています。



・末子の年齢は、「1歳」が13.3%で最も多くなっています。

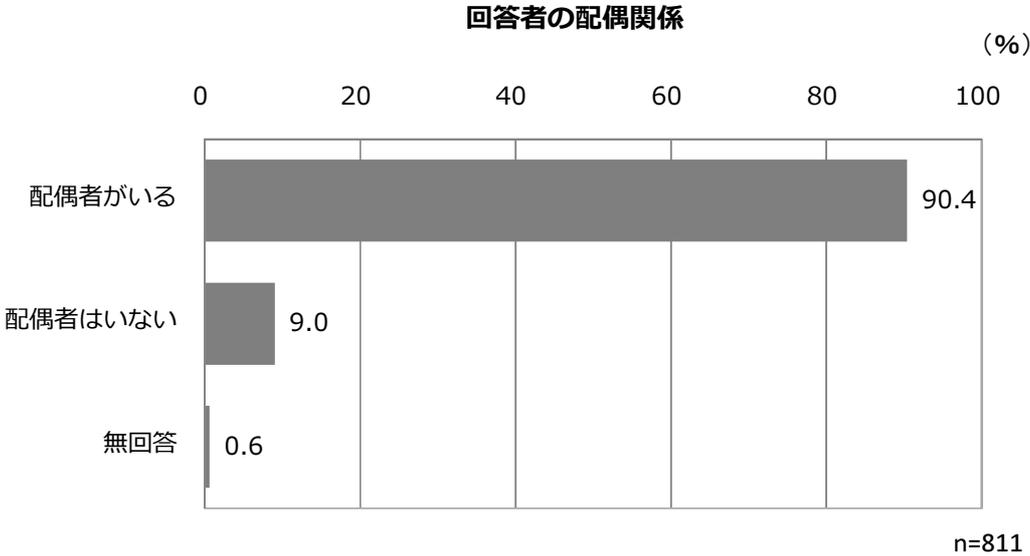


問4 回答者 (SA)



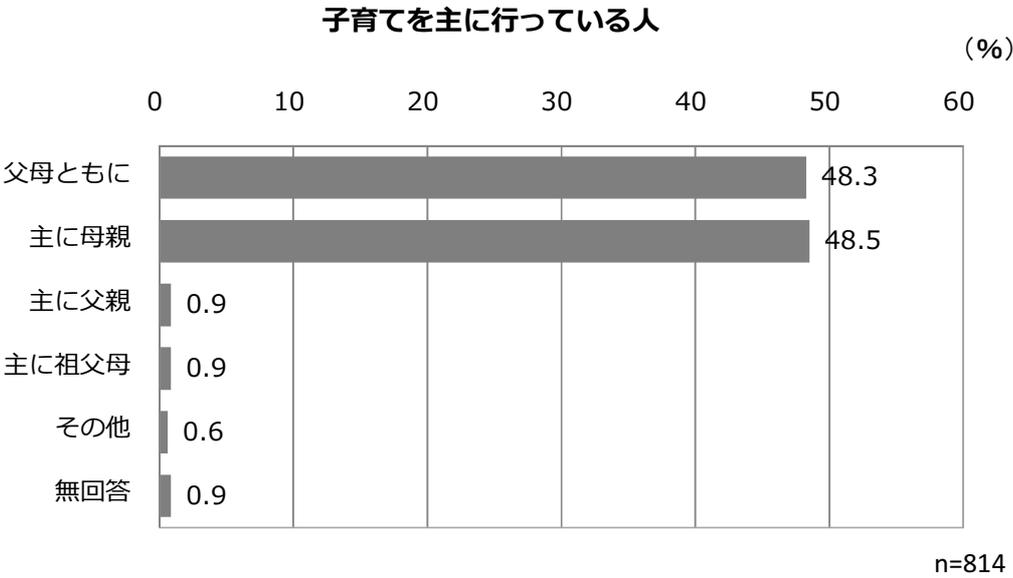
問5 回答者の配偶関係 (SA)

・「配偶者がいる」が90.4%、「配偶者がいない」が9.0%となっています。



問6 子育てを主に行っている人 (SA)

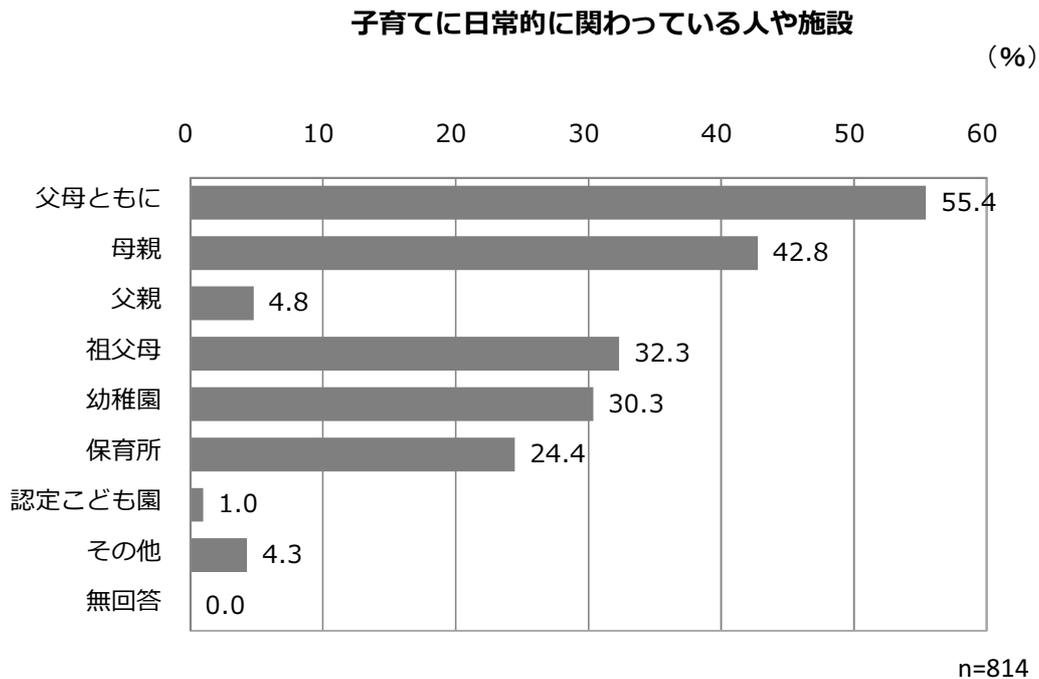
・「主に母親」が48.5%で最も多く、次いで、ほぼ同率で「父母ともに」となっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

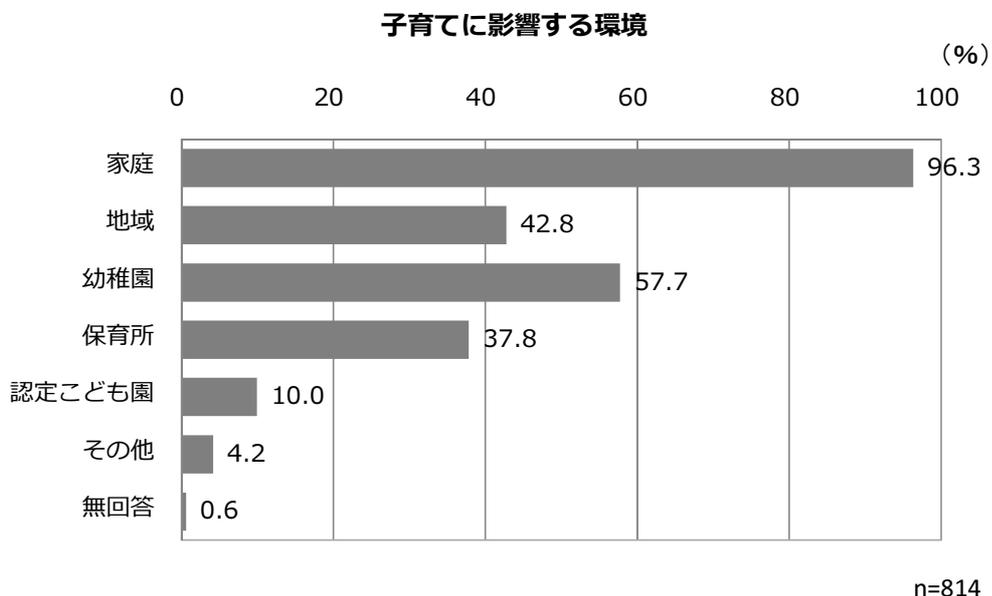
問7 日常的に関わっている人 (MA)

・「父母ともに」が55.4%で最も多く、次いで「母親」が42.8%、「祖父母」が32.3%の順となっています。



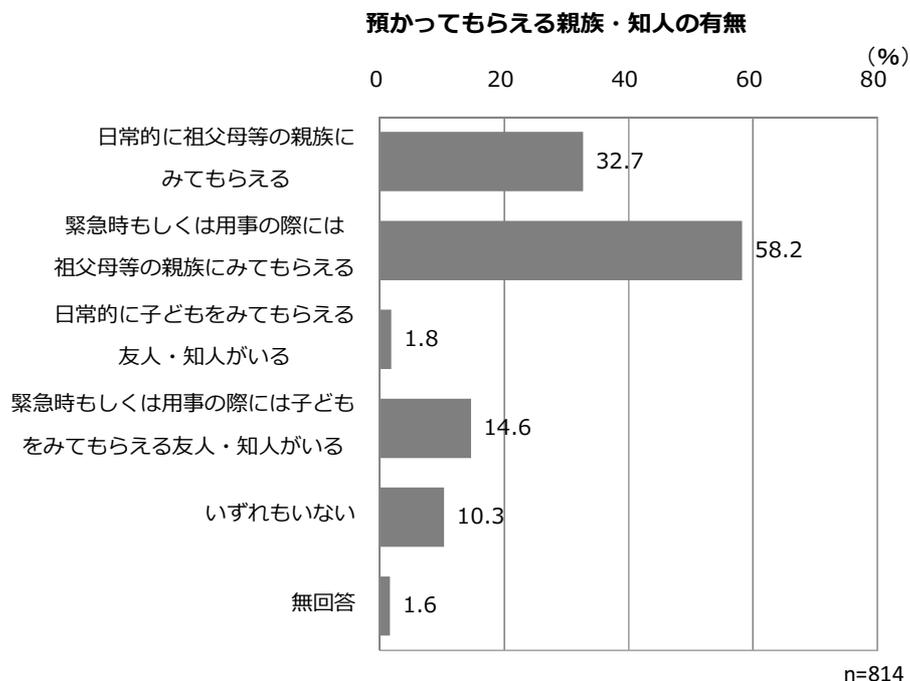
問8 影響する環境 (MA)

・「家庭」が96.3%で最も多く、次いで「幼稚園」が57.7%、「地域」が42.8%の順となっています。



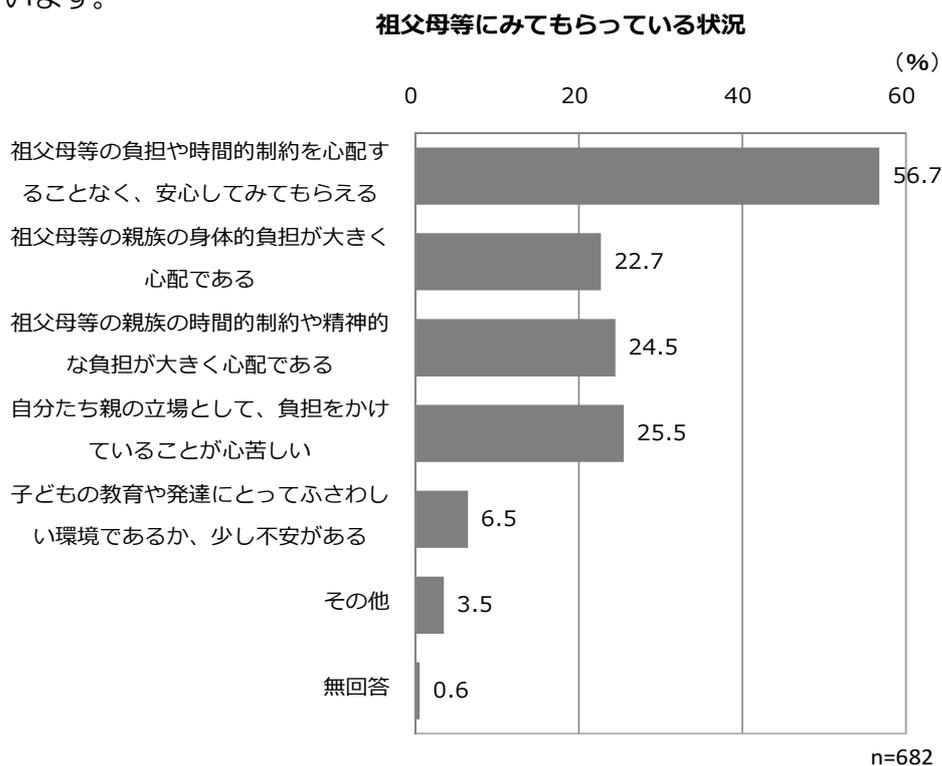
問9 預かってもらえる親族・知人の有無 (MA)

- ・「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.2%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が32.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が14.6%の順となっています。



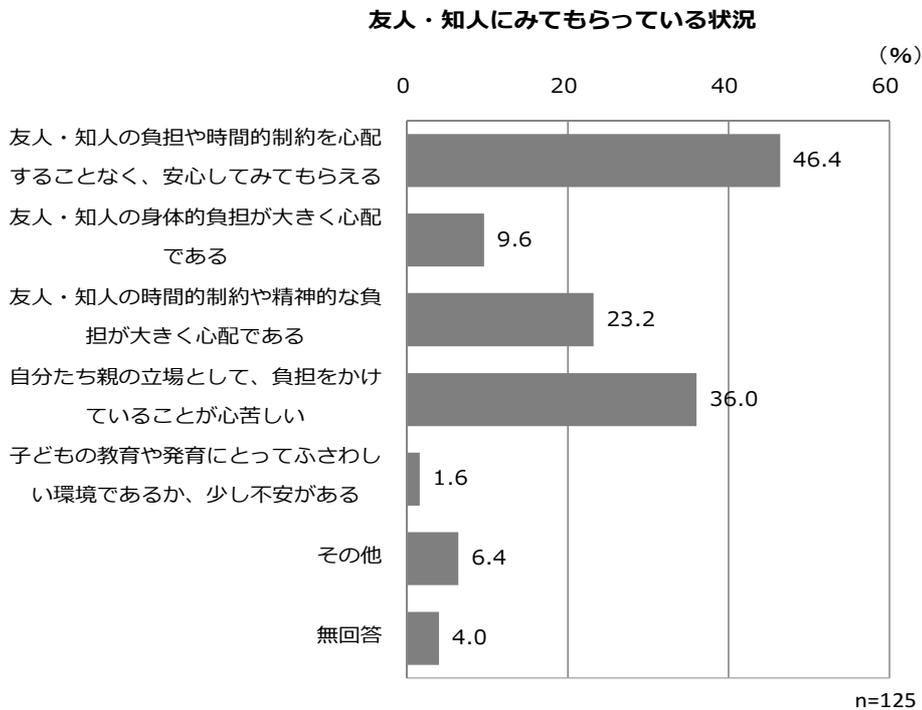
[祖父母等にみてもらっている状況]

- ・「祖父母等の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.7%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が25.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が24.5%の順となっています。



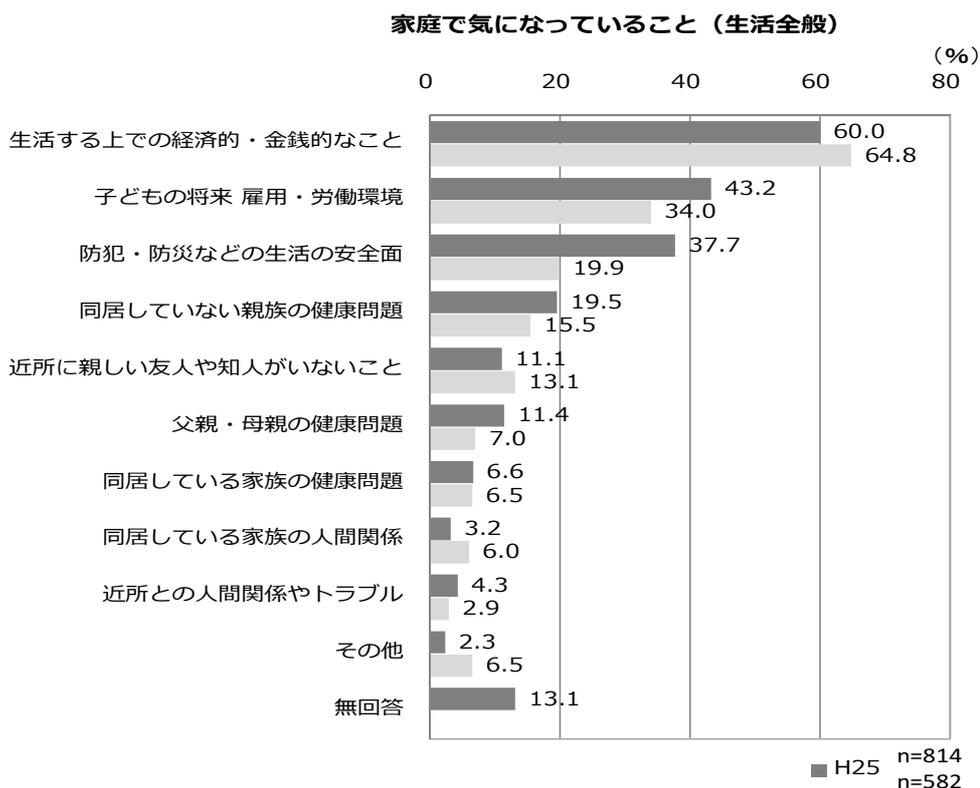
[友人・知人にみてもらっている状況]

- ・「友人・知人の負担や時間的制約を心配することなく、安心してみてもらえる」が46.4%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が36.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が23.2%の順となっています。



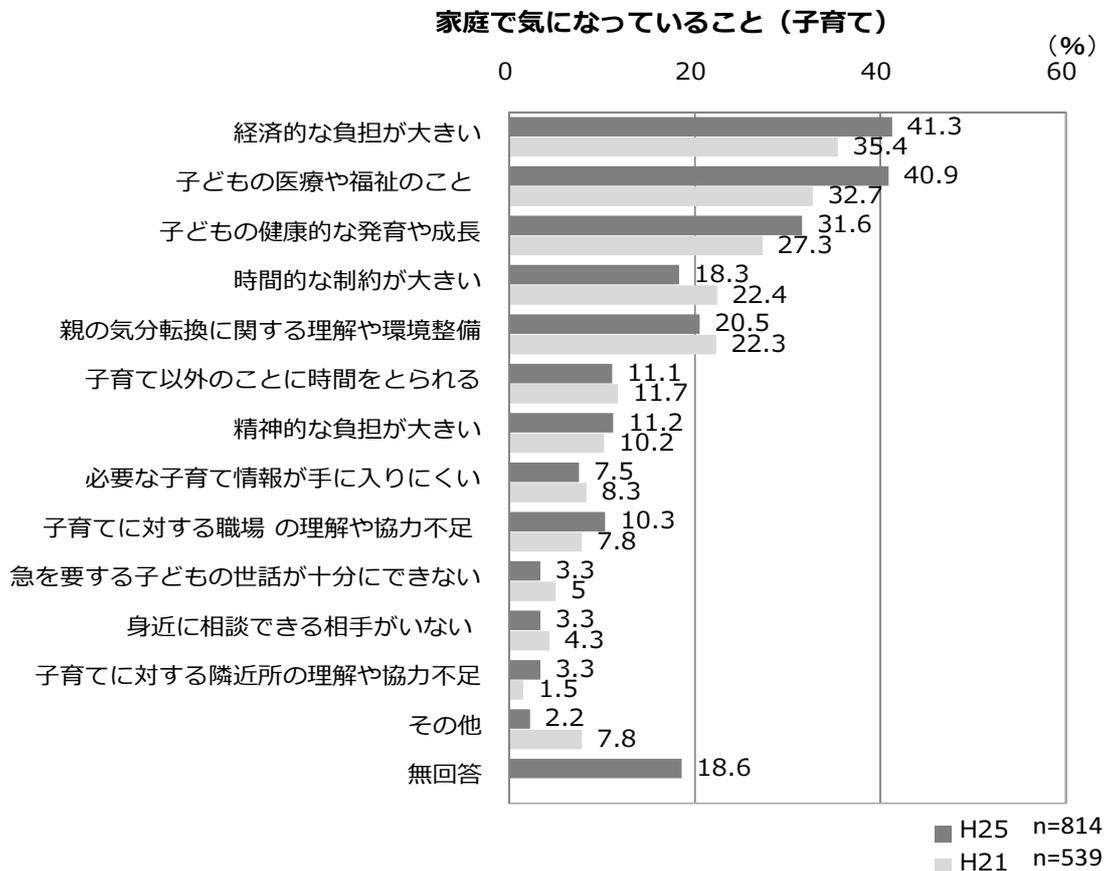
問 10 (1) 家庭で気になっていること (生活全般) (MA)

- ・生活全般では「生活する上での経済的・金銭的なこと」が60.0%で最も多く、次いで「子どもの将来 雇用・労働環境」が43.2%の順となっています。
- ・前回 (H21) 調査結果との比較では、「防犯・防災などの生活の安全面」が17.8ポイント増加し約2倍となっており、近年の震災などの影響がうかがえます。



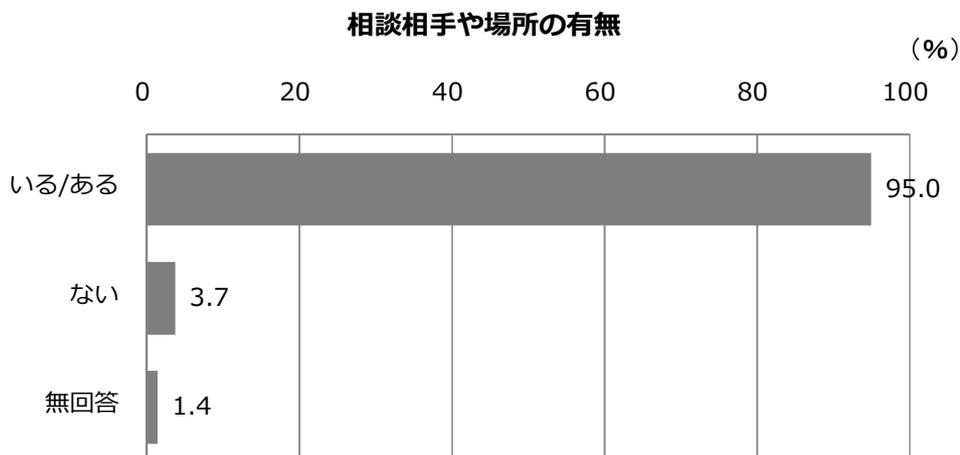
問 10(2) 家庭で気になっていること（子育て）(MA)

- 子育てに関しては「経済的な負担が大きい」が 41.3%で最も多く、次いで「子どもの医療や福祉のこと」が 40.9%、「子どもの健康的な発育や成長」が 31.6%の順となっています。
- 前回（H21）調査と比較すると、「経済的な負担が大きい」や「子どもの医療や福祉のこと」が 5 ポイント以上増加しています。



問 11 相談相手や場所の有無（SA）

- 相談相手や場所が「いる／ある」が 95.0%となっています。
- 相談先がないと答えた方は、配偶関係別では「配偶者はいない」が 6.8%、子どもをみとらえる親族・知人の有無別では「いずれもない」が 13.1%とそれぞれ高くなっています。



n=814

		合計	問11相談相手や場所の有無		
			いる/ある	ない	無回答
全体		814	773	30	11
		100.0	95.0	3.7	1.4
問5配偶関係	配偶者がいる	733	701	25	7
		100.0	95.6	3.4	1.0
	配偶者がいない	73	64	5	4
		100.0	87.7	6.8	5.5
	無回答	5	5	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
問9みてもらえる親族・知人の有無	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	266	261	4	1
		100.0	98.1	1.5	0.4
	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	474	457	13	4
		100.0	96.4	2.7	0.8
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	15	15	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0
	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	119	119	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	
	いずれもない	84	72	11	1
		100.0	85.7	13.1	1.2
	無回答	13	6	2	5
		100.0	46.2	15.4	38.5

問12 周囲から欲しいサポート（FA）

- 周囲から欲しいサポートについての主な意見の内容等は以下のとおりです。
- 保育サービス
 - 幼稚園などの発表会や行事の時に朝早くから短時間だけ弟や妹を気軽に預けられるサポートがほしい。
 - 親が病気などで子供をみることが出来ない時、気兼ねなく預けることが出来る環境サポートがあるとありがたい。
- 相談体制
 - 悩んだ時に親身になって相談してくれる人がいると良いと思う。
 - 子どもがいると、ゆっくり電話相談する時間がとれず、子育て支援センターなどでは話しにくい内容だった場合、保育士さんが自宅へ来てくれたら・・・と思った時期がありました。
- 地域における支援
 - 先輩親たちからの経験に基づくアドバイス。または逆に自分から後輩親たちへ。お互いが意見交換出来るとよい。
 - 子育て支援施設やサロンなど、周囲に頼れる人がいない人には、そのような場を伝えサポートすることが必要だと思う。
- 仕事と子育ての両立支援
 - 仕事をしたいと思っている母親が居ても、条件が合わずあきらめてしまう人も多いと聞くので、職場での理解・サポート。
 - 働いている母親へのサポート。専業主婦はリフレッシュという理由で一時保育が認められるが、働いている母は休日は家庭保育といわれ休みがない。

- 情報提供

子供が遊べる施設や買い物の情報。病気のことなど。

子育て支援にかかわる、より具体的な情報を発信していただけると、さらに良いと思います。

- 生活環境・遊び場

雨の日でもおもいきり体を動かせる場所がほしい。

冬でも子供が走って遊べるような施設があったらと思います。

- 学童保育

来春から小学生になるので放課後の子供の預かり場所が小学校の近くまたは小学校の空き教室を利用する等、安心して預けられる場所があること。

小学校勉強後の学童をもっと増やしてほしい。3年生以降も預けられるようにしてほしい

- 経済的支援

多くの家庭に子育てする上で、金銭的な面が一番切実だと思うので、ゴミ袋の支給をもう少し長くしてほしいです。

子育て(保育)の経済的負担がより少なくなれば良いと思う。江別は札幌に比べ保育料など高いと感じる。

- 健康・医療

3才児健診の後は、特に大きな健診がないので、年に一度の小児健診があると良いかもしれません。

インフルエンザ、水ぼうそう等任意予防接種の無償化

- 安心・安全に関すること

不審者などに対するパトロール等の強化。

- その他

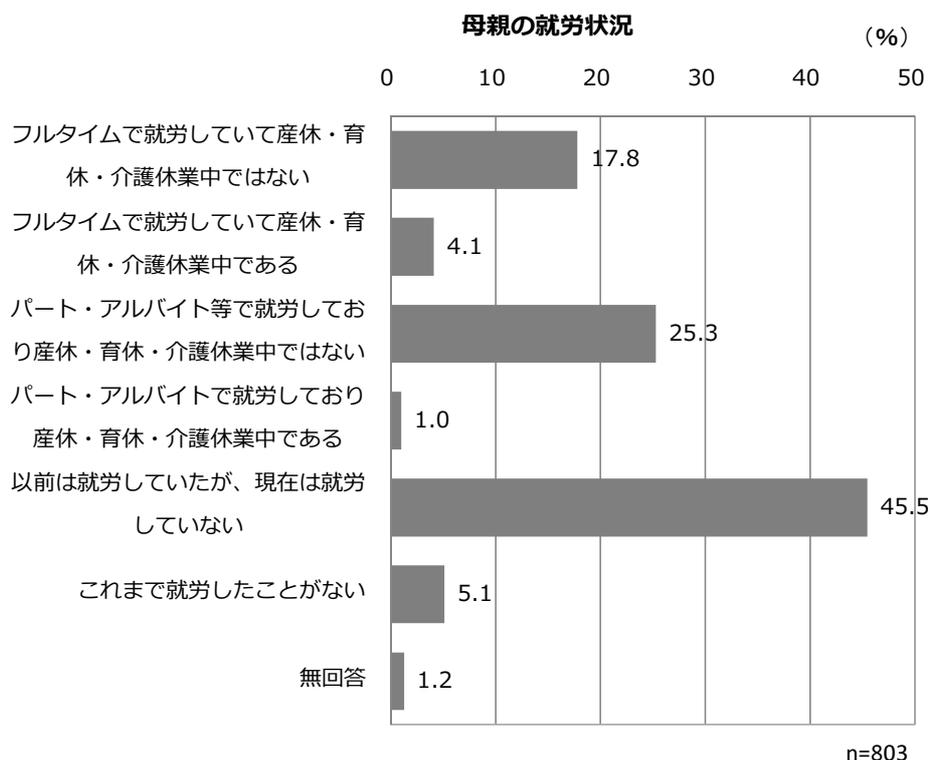
現状でもしっかり施設や体制がなっていると思います。

親の収入格差によって子供に不自由が生じないように、学びたい所で学べるようにしてほしい。

3 保護者の就労状況について

問13 母親の就労状況 (SA)

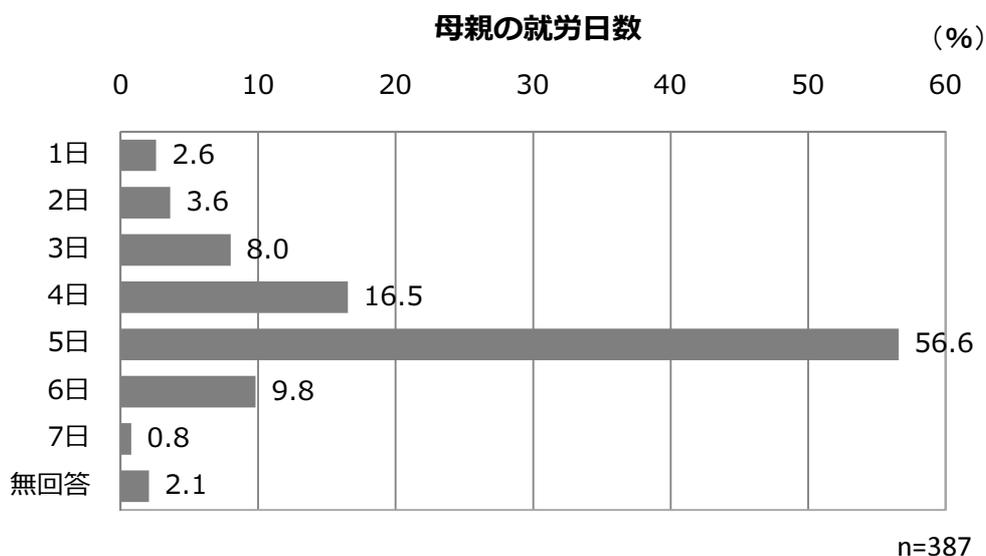
・「以前は就労していたが、現在は就労していない」が45.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」25.3%、「フルタイムで就労して産休・育休・介護休業中ではない」17.8%の順となっています。



	合計	問13母親の就労状況							無回答	非該当
		フルタイムで就労して産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労して産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイトで就労しており産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない			
全体	803 100.0	143 17.8	33 4.1	203 25.3	8 1.0	365 45.5	41 5.1	10 1.2	11	
問2子どもの年齢	0歳	95 100.0	12 12.6	15 15.8	6 6.3	2 2.1	55 57.9	4 4.2	1 1.1	1
	1歳	130 100.0	19 14.6	9 6.9	20 15.4	2 1.5	74 56.9	4 3.1	2 1.5	1
	2歳	137 100.0	26 19.0	5 3.6	35 25.5	0 0.0	62 45.3	9 6.6	0 0.0	1
	3歳	131 100.0	26 19.8	1 0.8	37 28.2	2 1.5	52 39.7	12 9.2	1 0.8	2
	4歳	149 100.0	33 22.1	2 1.3	43 28.9	1 0.7	61 40.9	7 4.7	2 1.3	2
	5歳	156 100.0	27 17.3	1 0.6	60 38.5	1 0.6	59 37.8	5 3.2	3 1.9	4
	無回答	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0

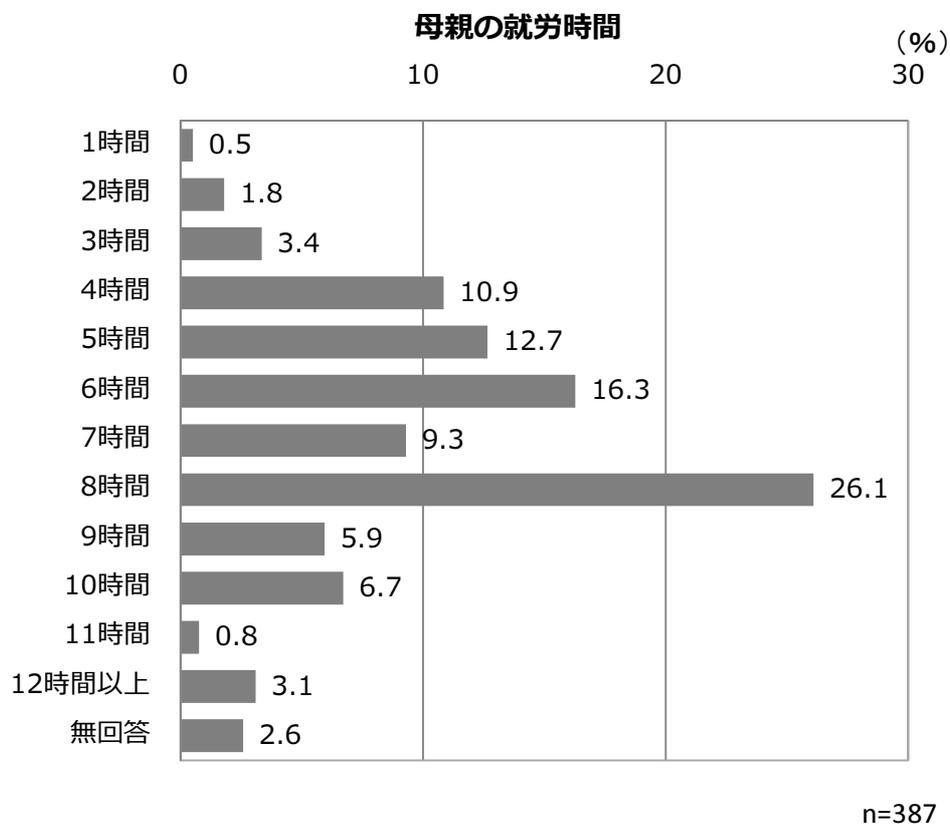
[母親の1週当たりの就労日数]

- 母親の1週当たりの就労日数は、週に5日が56.6%で最も多く、次いで4日が16.5%となっています。



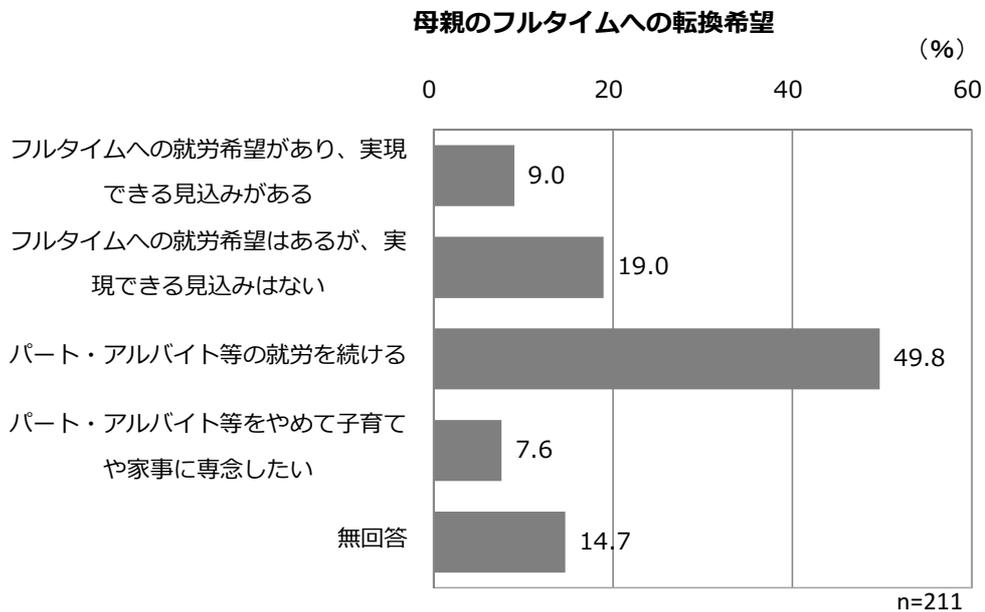
[母親の1日当たりの就労時間]

- 1日当たりの就労時間は、8時間が26.1%で最も多く、次いで6時間が16.3%となっており、8時間以上が42.6%を占めています。



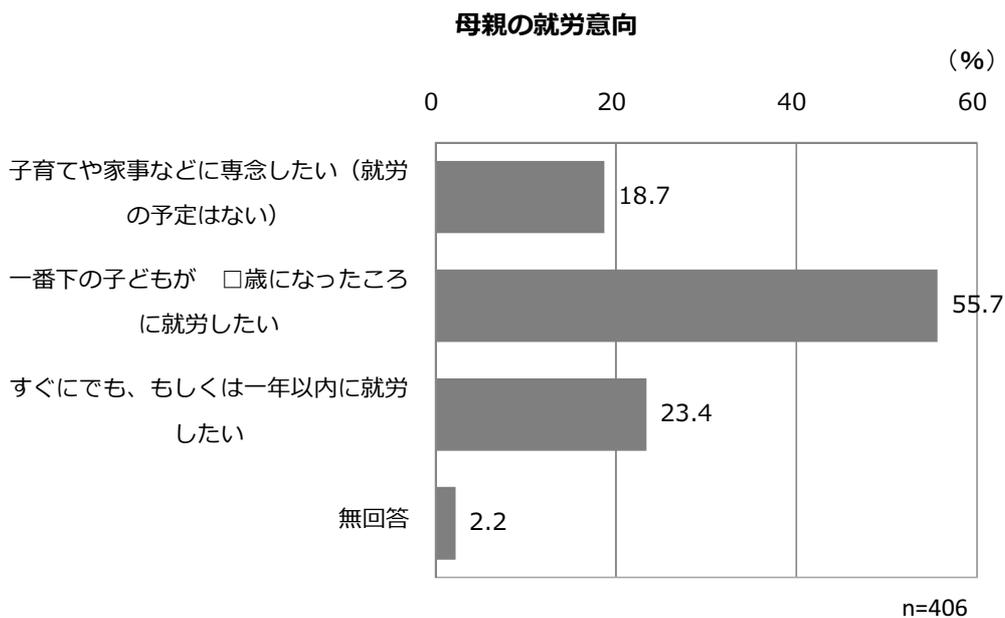
[母親のフルタイムへの転換希望]

・「パート・アルバイト等の就労を続ける」が49.8%で最も多く、次いで「フルタイムの就労希望はあるが、実現できる見込みはない」が19.0%、「フルタイムの就労希望があり、実現できる見込みがある」が9.0%の順となっています。

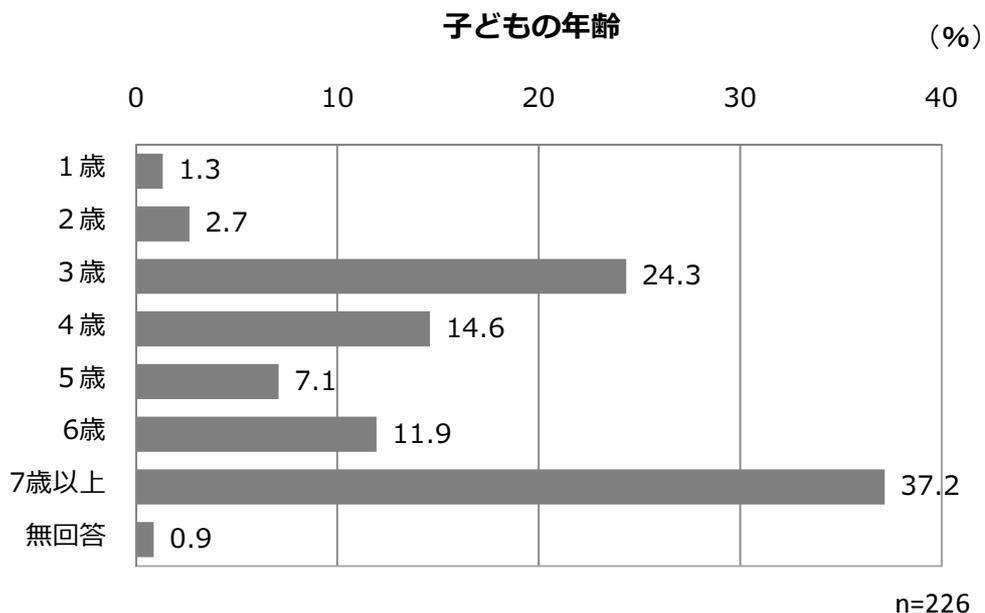


[母親の就労意向]

・現在就業していない母親は、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が55.7%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.4%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が18.7%の順となっています。

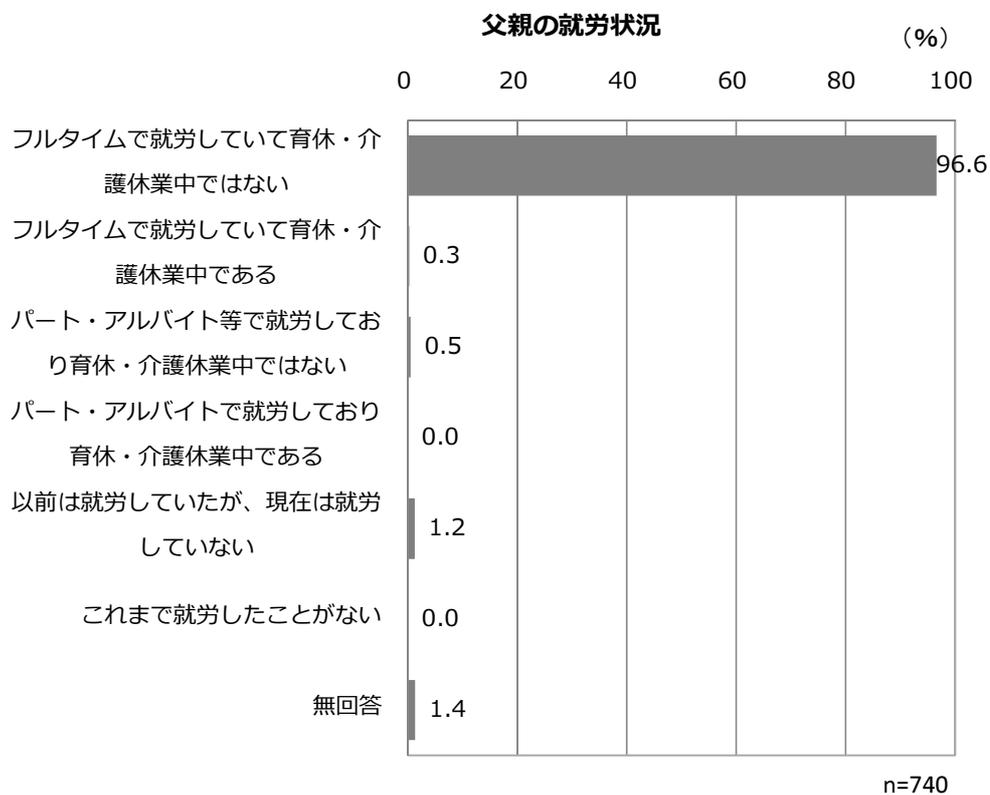


「1年より先、一番下の子どもが0歳になったところに就労したい」と回答した方の、一番下の子どもの年齢は、7歳以上が37.2%となっています。



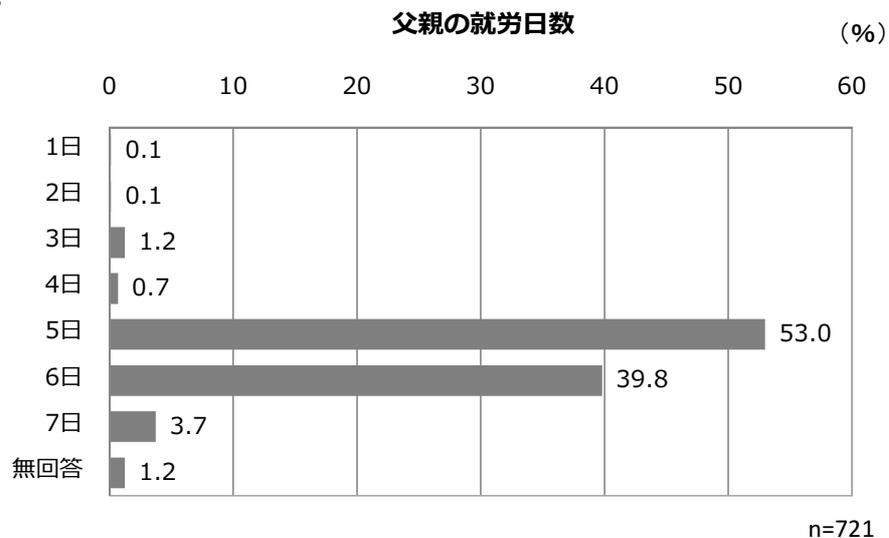
問 14 父親の就労状況 (SA)

・「フルタイムで就労していて産休・育休・介護休業中ではない」が96.6%で最も多くなっています。



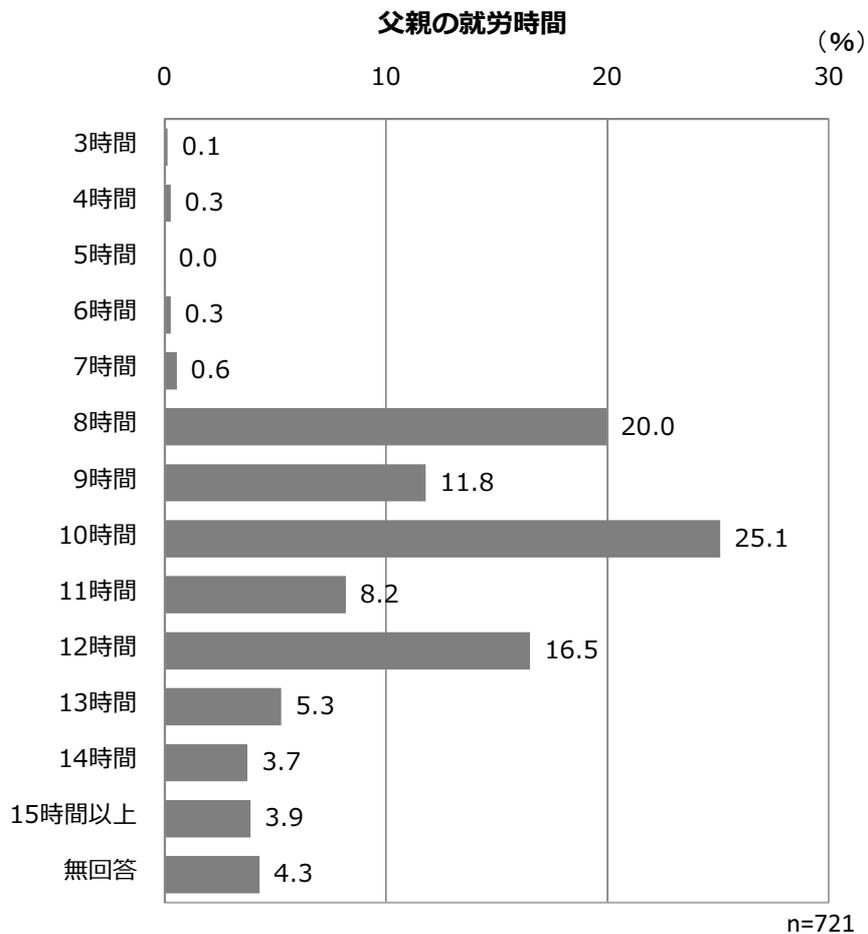
[父親の1週当たりの就労日数]

・父親の1週当たりの就労日数は、週に5日が53.0%で最も多く、次いで6日が39.8%となっています。



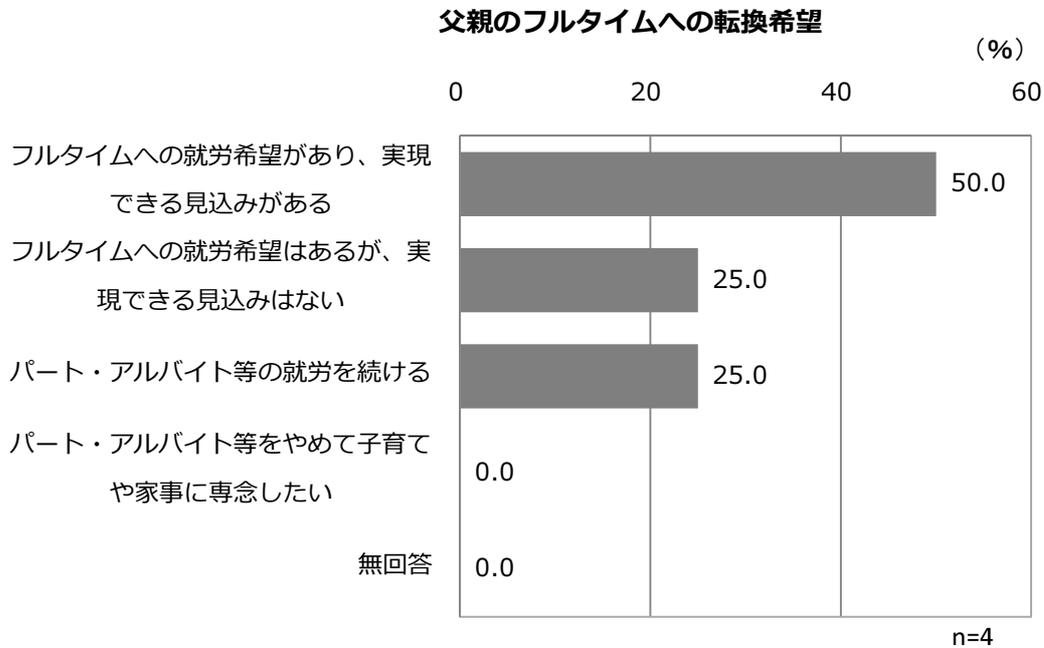
[父親の1日当たりの就労時間]

・1日当たりの就労時間は、10時間が25.1%で最も多く、次いで8時間が20.0%となっており、10時間以上が62.7%を占めています。



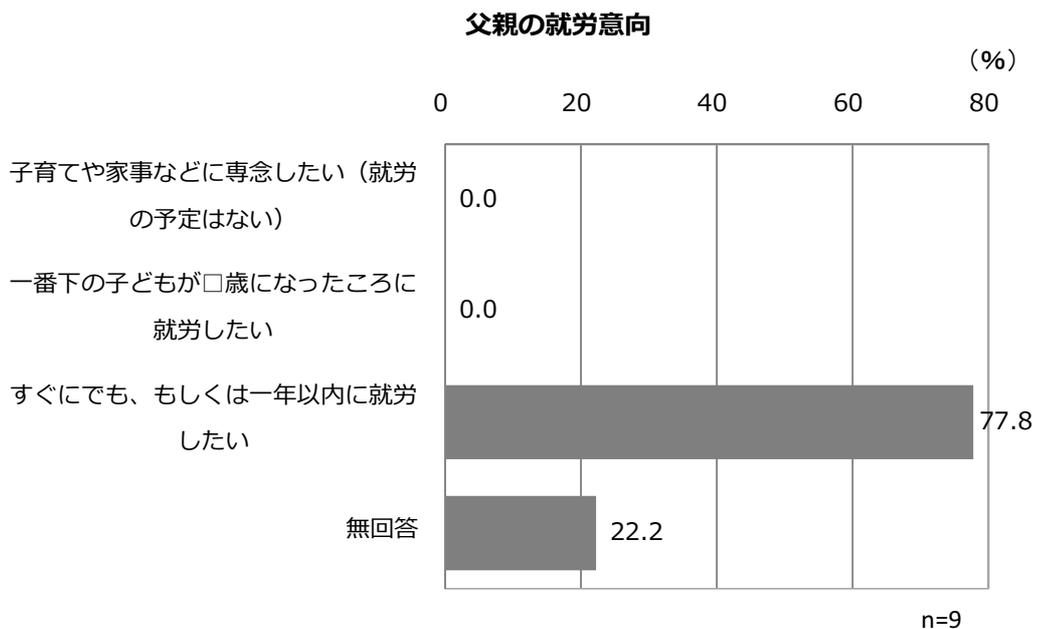
[父親のフルタイムへの転換希望]

・パート・アルバイトの4人の父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムの就労希望があり、実現できる見込みがある」が50.0%、次いで「フルタイムの就労希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.0%、「パート・アルバイト等の就労を続ける」が25.0%の順となっています。



[父親の就労意向]

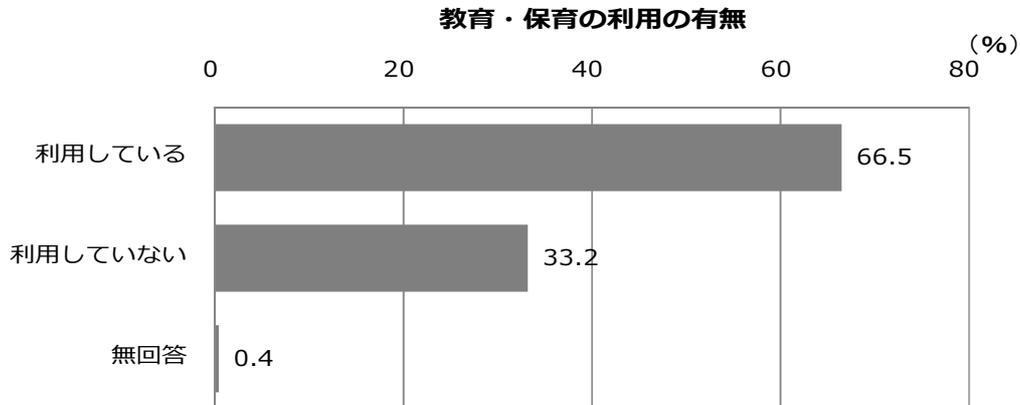
・現在就業していない父親は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が77.8%となっています。



4 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

問15 教育・保育事業の利用の有無（SA）

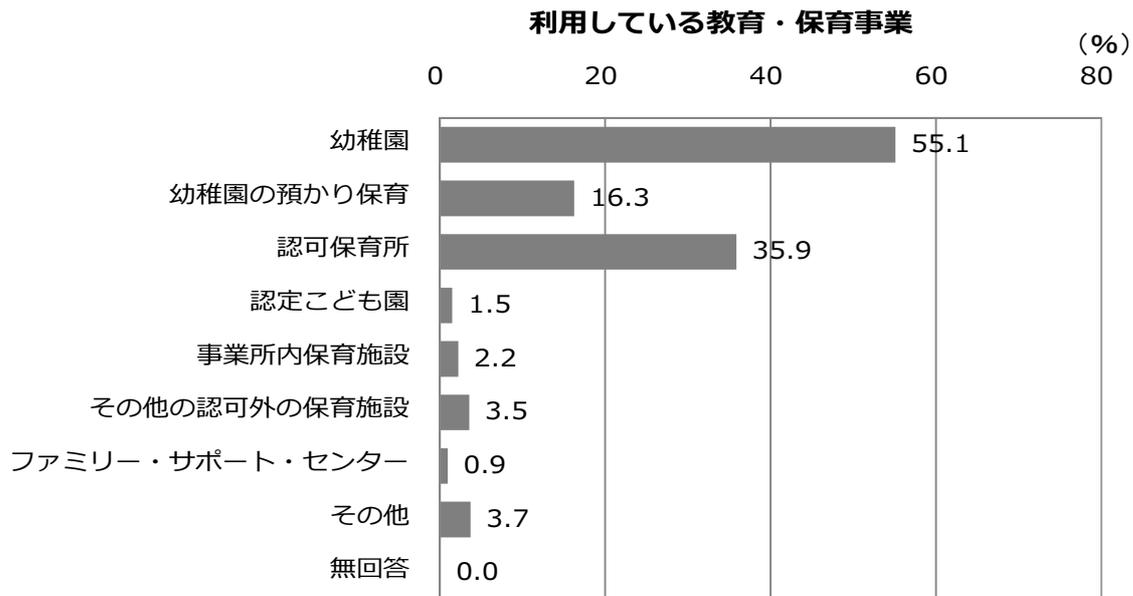
・「利用している」が66.5%、「利用していない」が33.2%となっています。



【利用している教育・保育事業】

n=814

・利用している教育・保育事業は、「幼稚園」が55.1%、「認可保育所」が35.9%、「幼稚園の預かり保育」が16.3%となっています。

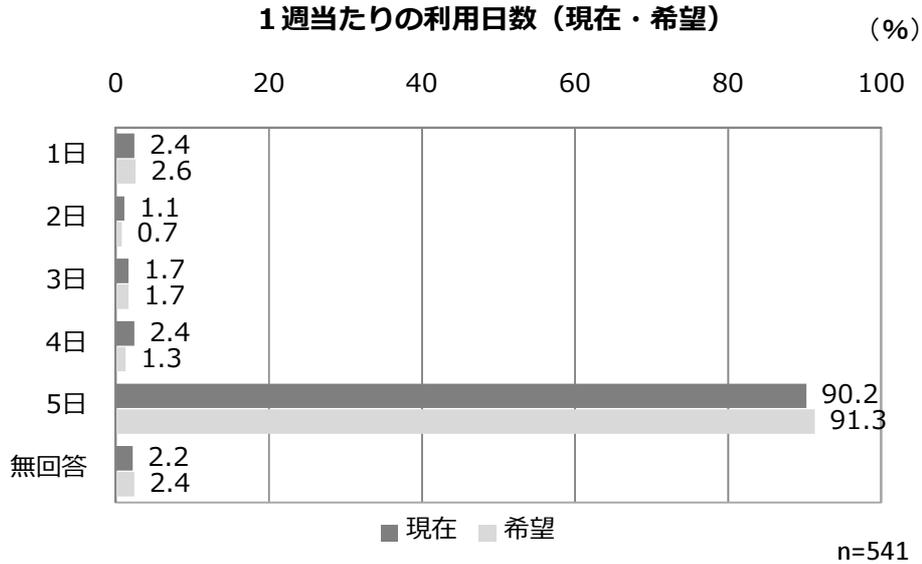


n=541

	合計	問15-1利用している教育・保育の種類									無回答	非該当
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他			
全体	541	298	88	194	8	12	19	5	20	0	273	
	100.0	55.1	16.3	35.9	1.5	2.2	3.5	0.9	3.7	0.0		
問2子どもの年齢	0歳	14	4	0	5	2	0	2	0	1	0	82
		100.0	28.6	0.0	35.7	14.3	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	
	1歳	48	5	2	29	0	4	7	0	5	0	83
		100.0	10.4	4.2	60.4	0.0	8.3	14.6	0.0	10.4	0.0	
	2歳	64	15	8	36	1	2	3	0	5	0	74
		100.0	23.4	12.5	56.3	1.6	3.1	4.7	0.0	7.8	0.0	
	3歳	106	56	16	37	2	2	5	1	3	0	27
		100.0	52.8	15.1	34.9	1.9	1.9	4.7	0.9	2.8	0.0	
4歳	147	107	29	39	0	4	0	3	1	0	4	
	100.0	72.8	19.7	26.5	0.0	2.7	0.0	2.0	0.7	0.0		
5歳	158	108	32	47	3	0	2	1	5	0	2	
	100.0	68.4	20.3	29.7	1.9	0.0	1.3	0.6	3.2	0.0		
無回答	4	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

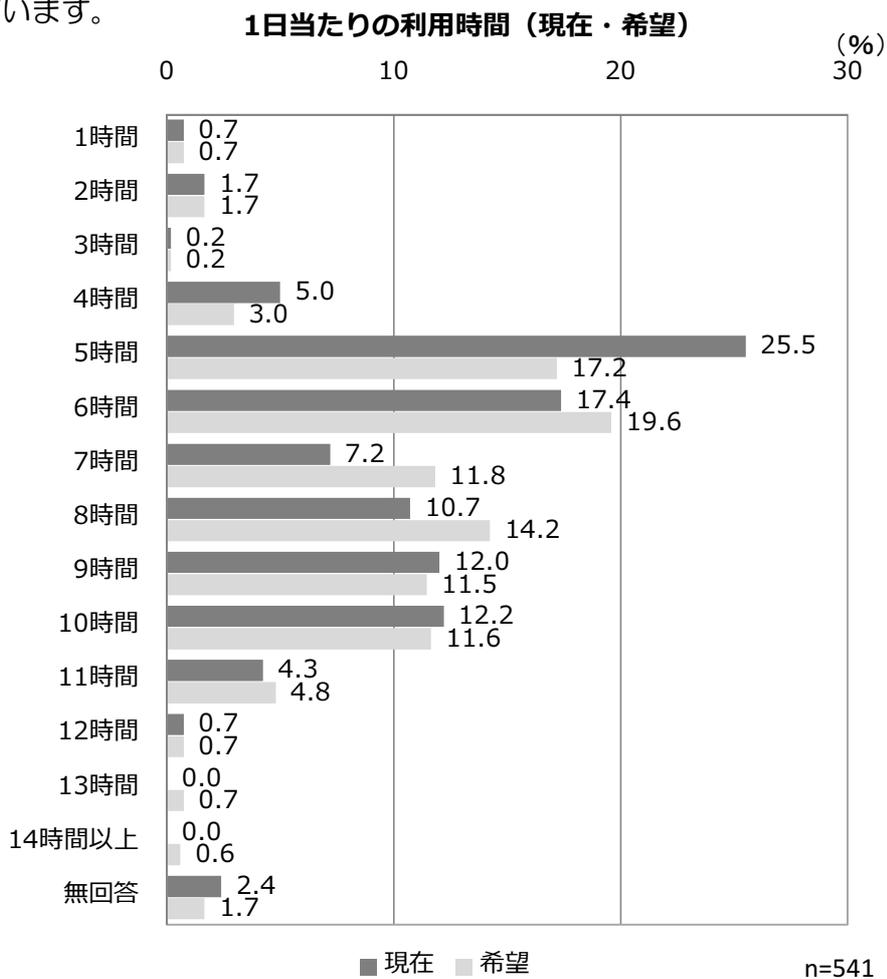
[利用状況と利用希望（1週当たりの利用日数）]

- 1週当たりの利用日数で一番多いのは、現在が5日で 90.2%、希望でも5日で 91.3%と、それぞれ9割以上となっています。



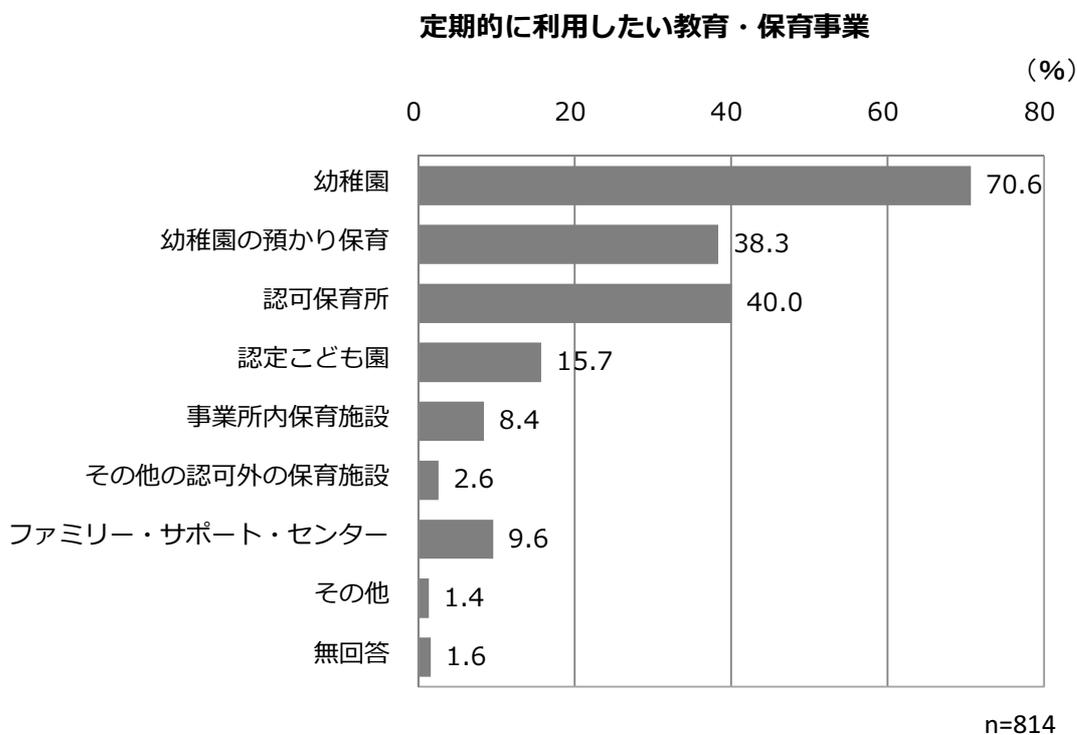
[利用状況と利用希望（1日当たりの利用時間）]

- 1日当たり利用時間で一番多いのは、現在が5時間で 25.5%、希望では、6時間が 19.6%となっています。



問 16 定期的に利用したい教育・保育事業 (MA)

・利用したい事業は、「幼稚園」が70.6%、「認可保育所」が40.0%、「幼稚園の預かり保育」が38.3%となっています。

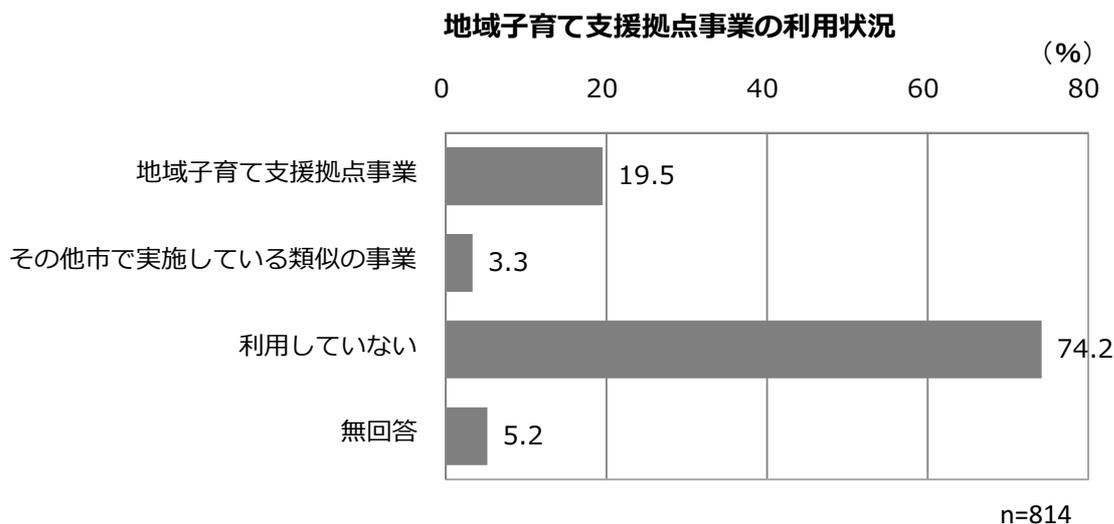


	合計	問16定期的に利用したい事業									
		幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答	
全体	814 100.0	575 70.6	312 38.3	326 40.0	128 15.7	68 8.4	21 2.6	78 9.6	11 1.4	13 1.6	
問2子どもの生年月日	0歳	96 100.0	71 74.0	27 28.1	49 51.0	23 24.0	6 6.3	3 3.1	6 6.3	1 1.0	1 1.0
	1歳	131 100.0	79 60.3	34 26.0	69 52.7	27 20.6	12 9.2	4 3.1	9 6.9	1 0.8	3 2.3
	2歳	138 100.0	98 71.0	54 39.1	55 39.9	25 18.1	19 13.8	1 0.7	13 9.4	2 1.4	2 1.4
	3歳	133 100.0	89 66.9	50 37.6	52 39.1	20 15.0	9 6.8	8 6.0	12 9.0	2 1.5	3 2.3
	4歳	151 100.0	114 75.5	74 49.0	48 31.8	14 9.3	14 9.3	0 0.0	18 11.9	4 2.6	3 2.0
	5歳	160 100.0	121 75.6	70 43.8	50 31.3	16 10.0	8 5.0	5 3.1	19 11.9	1 0.6	1 0.6
	無回答	5 100.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

5 地域子育て支援拠点施設の利用について

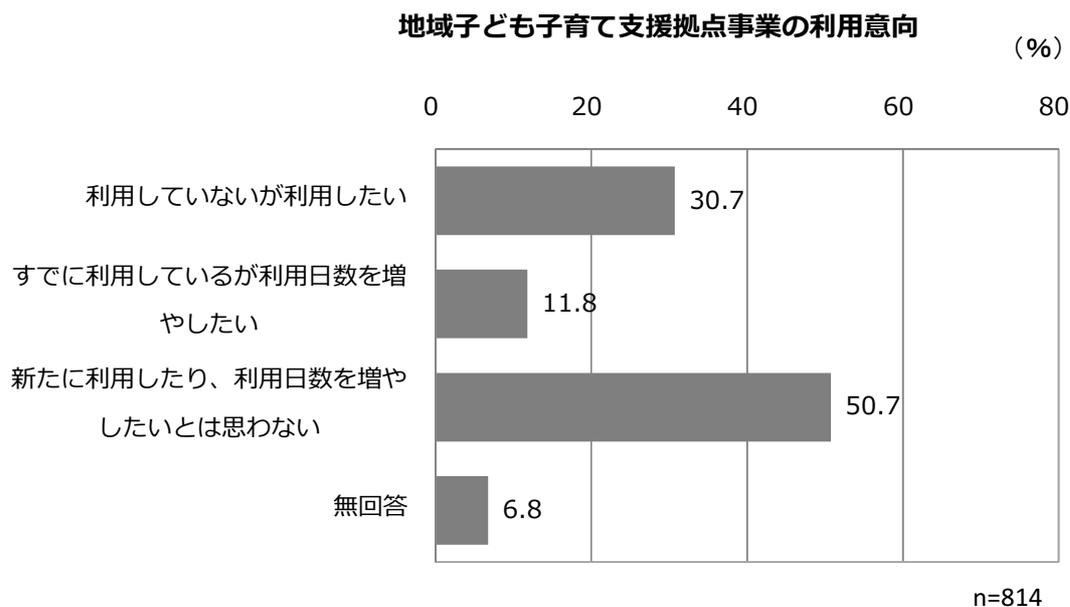
問 17 地域子育て支援拠点施設の利用の有無（MA）

- ・「利用していない」が74.2%で最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業」が19.5%、「その他市で実施している類似の事業」が3.3%となっています。



問 18 地域子ども子育て支援拠点事業の利用意向（MA）

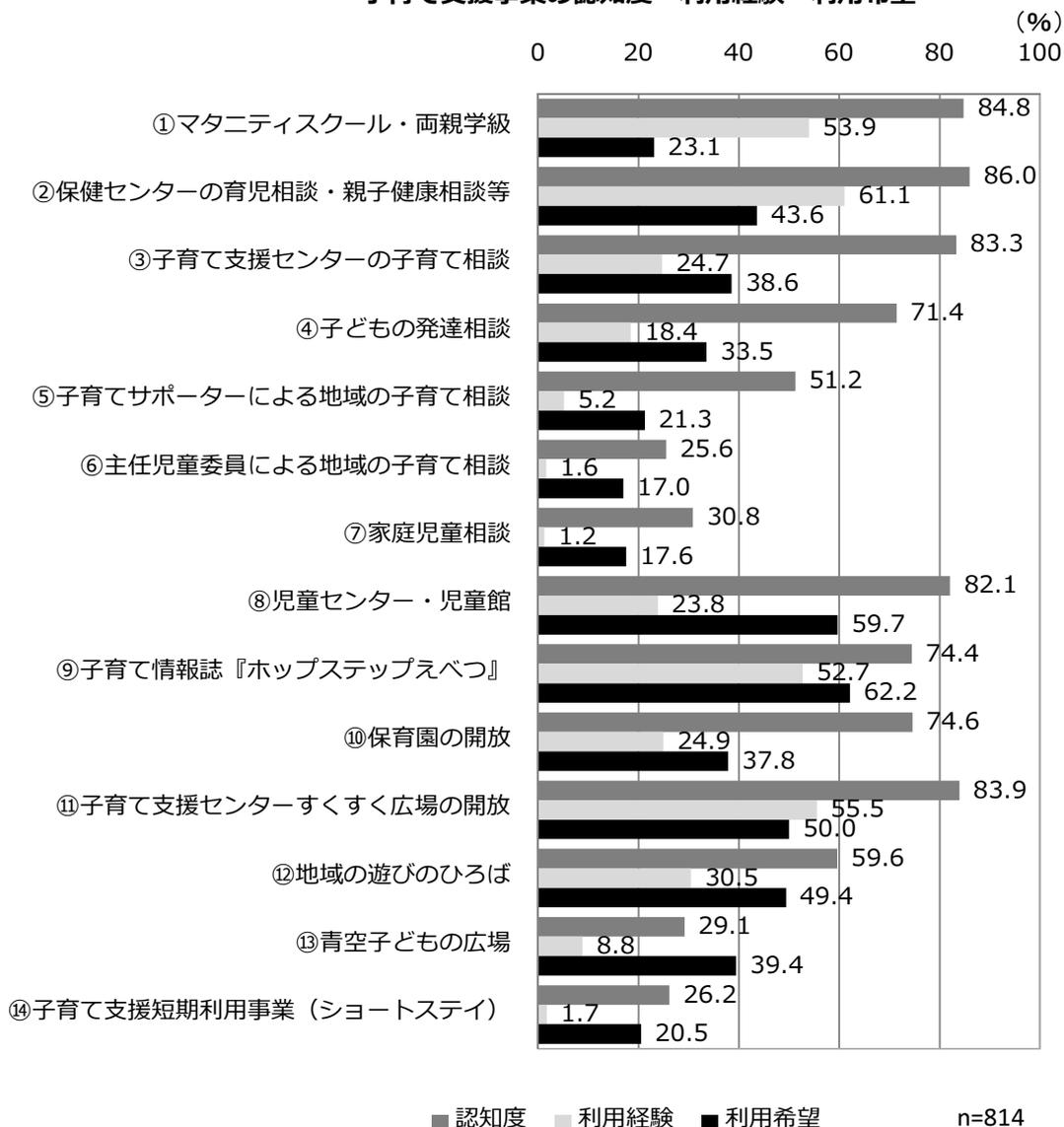
- ・「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が50.7%で最も多く、次いで「利用していないが利用したい」が30.7%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」が11.8%となっています。



問 19 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望 (SA)

- ・認知度は、「保健センターの育児相談・親子健康相談等」が86.0%で最も高く、次いで「マタニティスクール・両親学級」が84.8%、「子育て支援センターすくすくひろばの開放」が83.9%の順となっています。
- ・利用経験は、認知度が高い「保健センターの育児相談・親子健康相談等」が61.1%で最も高く、次いで「子育て支援センターすくすくひろばの開放」が55.5%、「マタニティスクール・両親学級」が53.9%の順となっています。
- ・今後の利用希望は、「子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が62.2%で最も高く、次いで「児童センター・児童館」が59.7%、「子育て支援センターすくすくひろばの開放」が50.0%の順となっています。
- ・利用経験に比べ利用希望が高い事業では、「児童センター・児童館」が35.9ポイント、「青空子どもの広場」が30.6ポイントそれぞれ高くなっています。

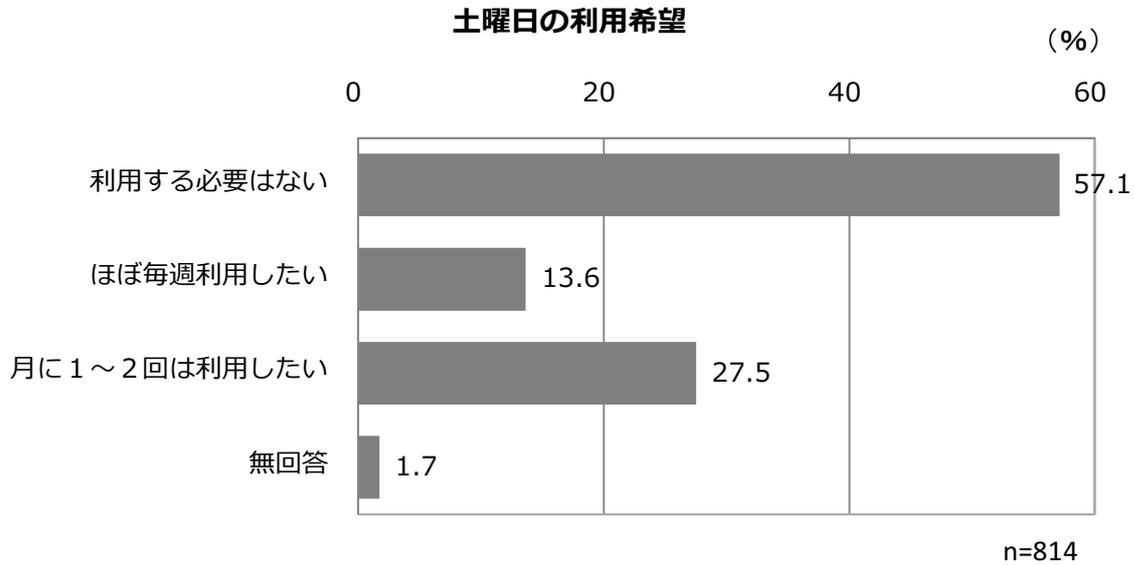
子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望



6 土日等の定期的な教育・保育事業の利用について

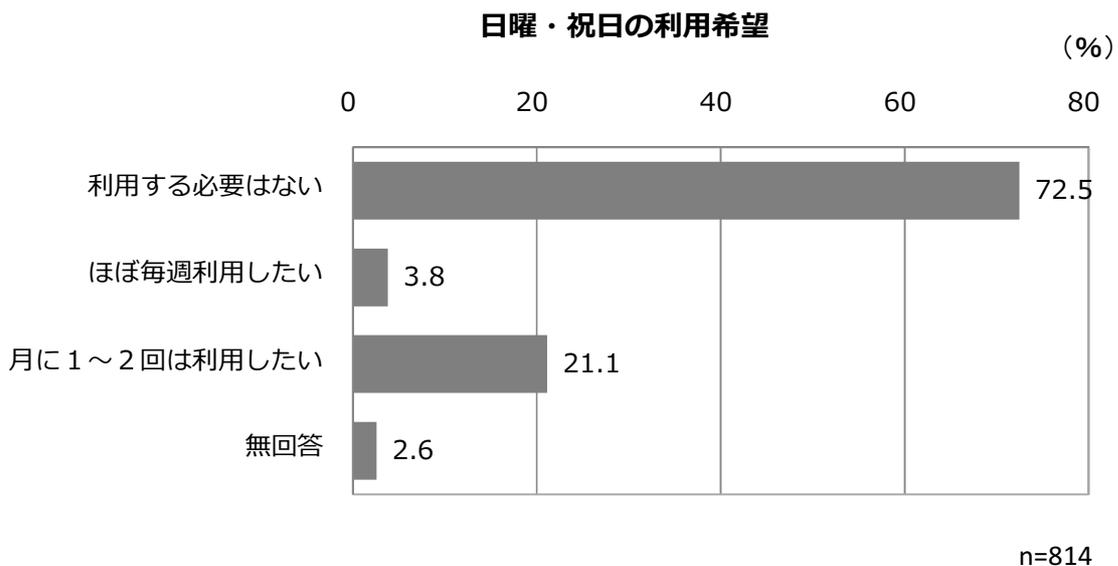
問 20(1) 土曜日の利用希望 (SA)

・「利用する必要はない」が 57.1%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 27.5%、「ほぼ毎週利用したい」が 13.6%の順となっています。



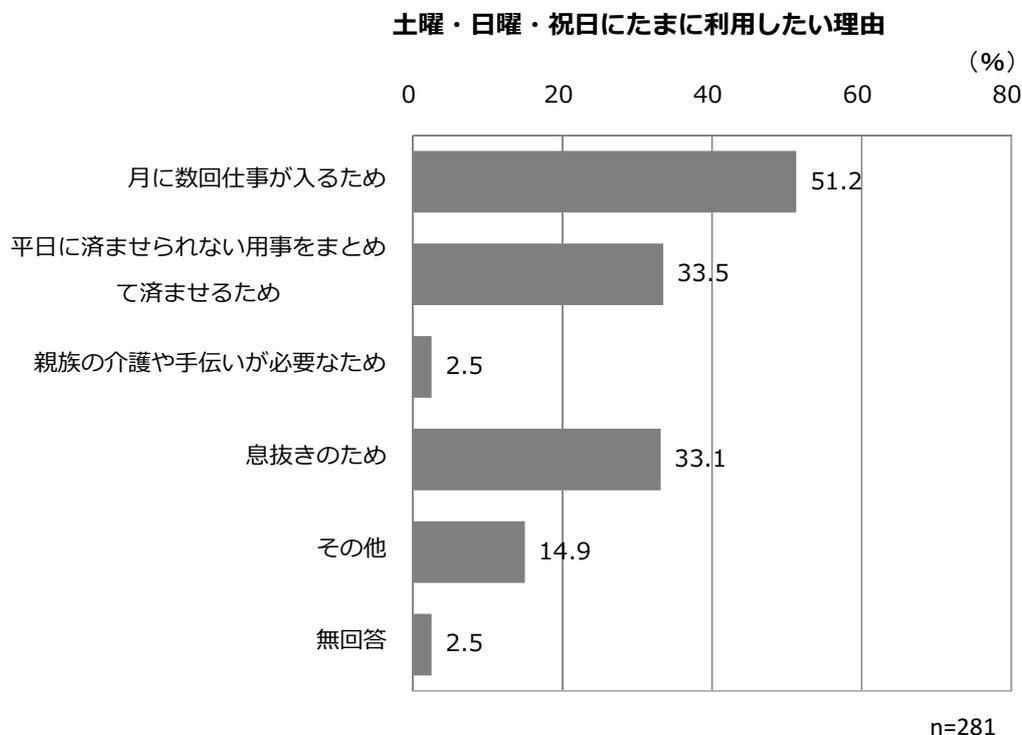
問 20(2) 日曜・祝日の利用希望 (SA)

・「利用する必要はない」が 72.5%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 21.1%、「ほぼ毎週利用したい」が 3.8%の順となっています。



〔土曜・日曜・祝日にたまに利用したい理由〕

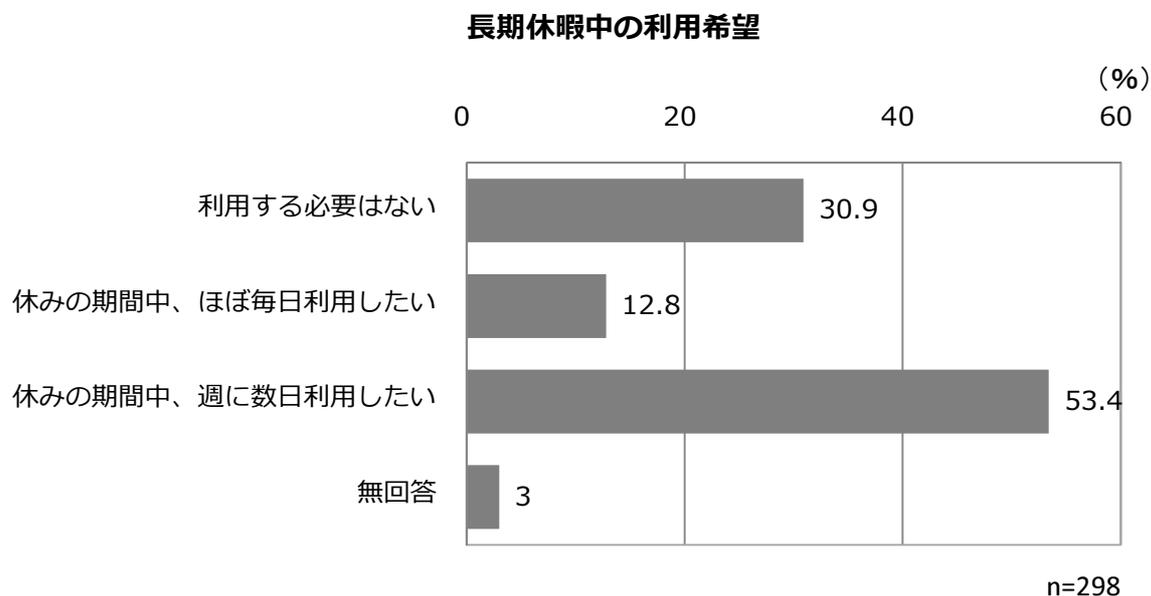
- ・「月に数回仕事が入るため」が51.2%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が33.5%、「息抜きのため」が33.1%の順となっています。
- ・利用したい事業別にみると、幼稚園では「息抜きのため」が最も多くなっています。



	合計	問20-1 たまに利用したい理由						無回答	非該当
		月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	息抜きのため	その他			
全体	281 100.0	144 51.2	94 33.5	7 2.5	93 33.1	42 14.9	7 2.5	533	
問16定期的に利用したい事業	幼稚園	175 100.0	67 38.3	58 33.1	3 1.7	73 41.7	36 20.6	4 2.3	400
	幼稚園の預かり保育	127 100.0	55 43.3	41 32.3	3 2.4	44 34.6	26 20.5	5 3.9	185
	認可保育所	154 100.0	98 63.6	54 35.1	7 4.5	39 25.3	15 9.7	4 2.6	172
	認定こども園	62 100.0	30 48.4	23 37.1	0 0.0	24 38.7	8 12.9	2 3.2	66
	事業所内保育施設	34 100.0	21 61.8	9 26.5	1 2.9	9 26.5	5 14.7	1 2.9	34
	その他の認可外の保育施設	12 100.0	6 50.0	3 25.0	0 0.0	3 25.0	4 33.3	0 0.0	9
	ファミリー・サポート・センター	42 100.0	21 50.0	15 35.7	0 0.0	15 35.7	4 9.5	3 7.1	36
	その他	7 100.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	4
	無回答	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	9

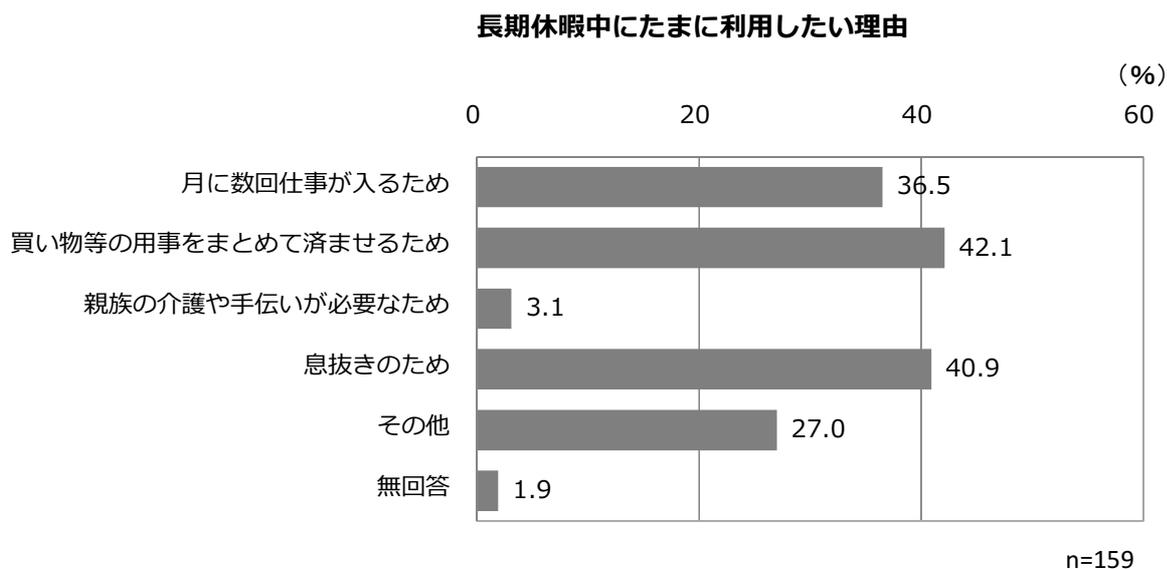
問 21 長期休暇中の利用希望（幼稚園利用者のみ）（SA）

- 「休みの期間中、週に数日利用したい」が53.4%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が30.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が12.8%の順となっています。



[長期休暇中にたまに利用したい理由]

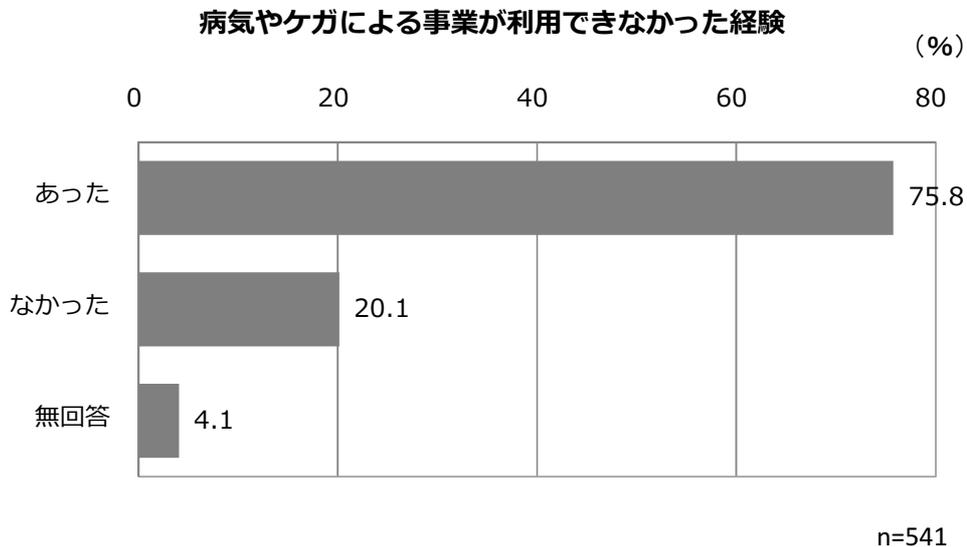
- 長期休暇中にたまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が42.1%で最も多く、次いで「息抜きのため」が40.9%、「月に数回仕事が入るため」が36.5%の順となっています。



7 病気の際の対応について(平日の定期的な教育・保育事業利用者のみ)

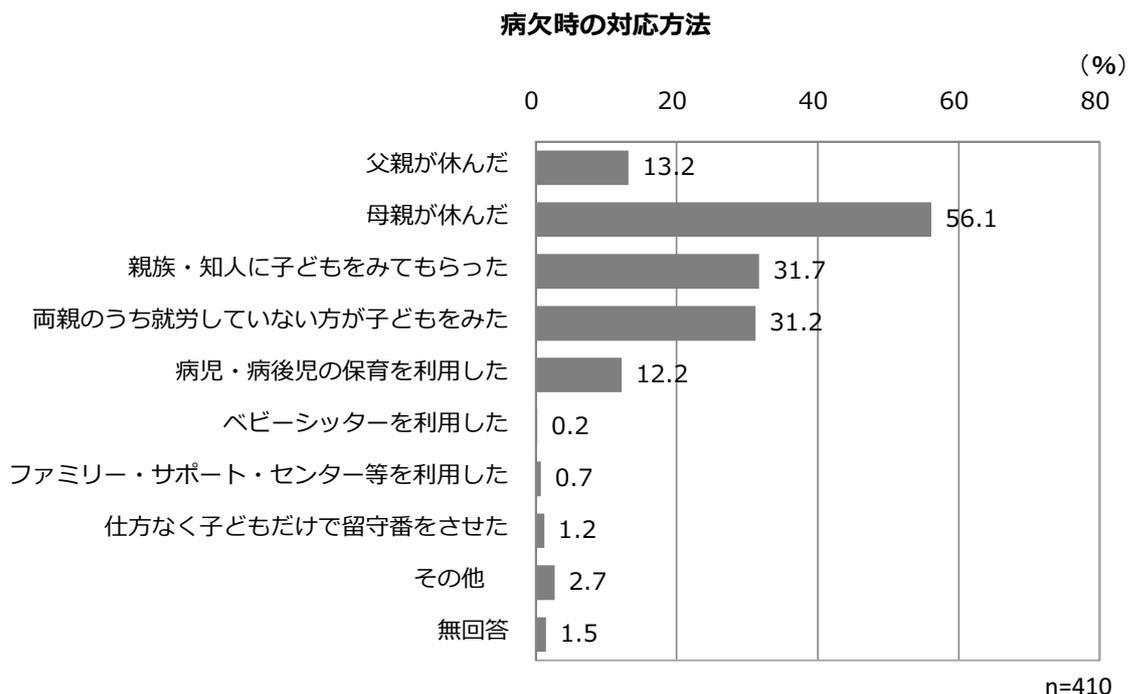
問 22 病気やケガによる事業が利用できなかった経験 (SA)

・「あった」が75.8%、「なかった」が20.1%となっています。



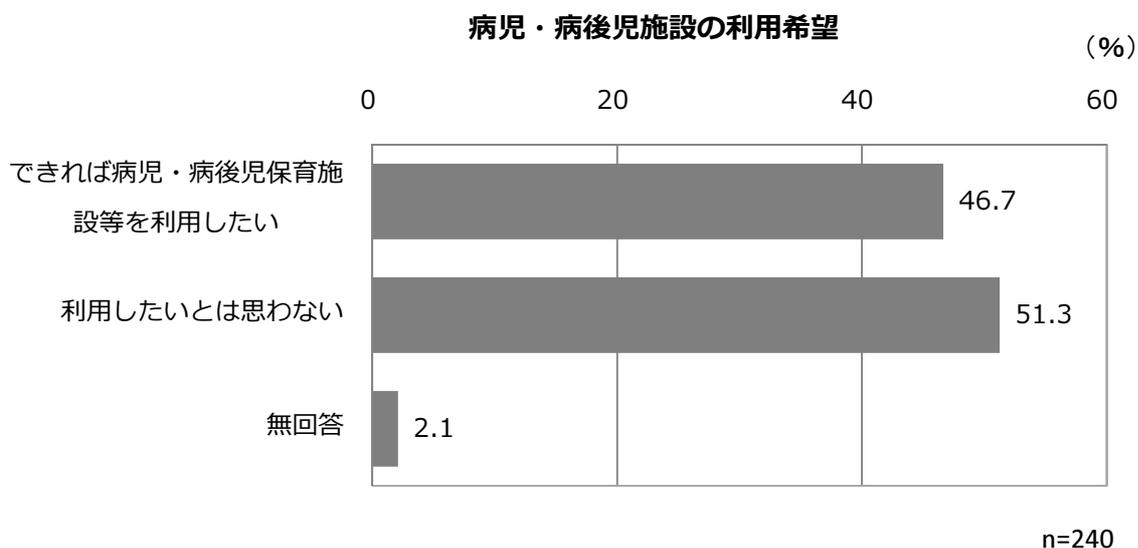
[対応方法]

・その際の対応方法としては、「母親が休んだ」が56.1%で最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が31.7%、「両親のうち就労していない方が子どもをみた」が31.2%となっています。



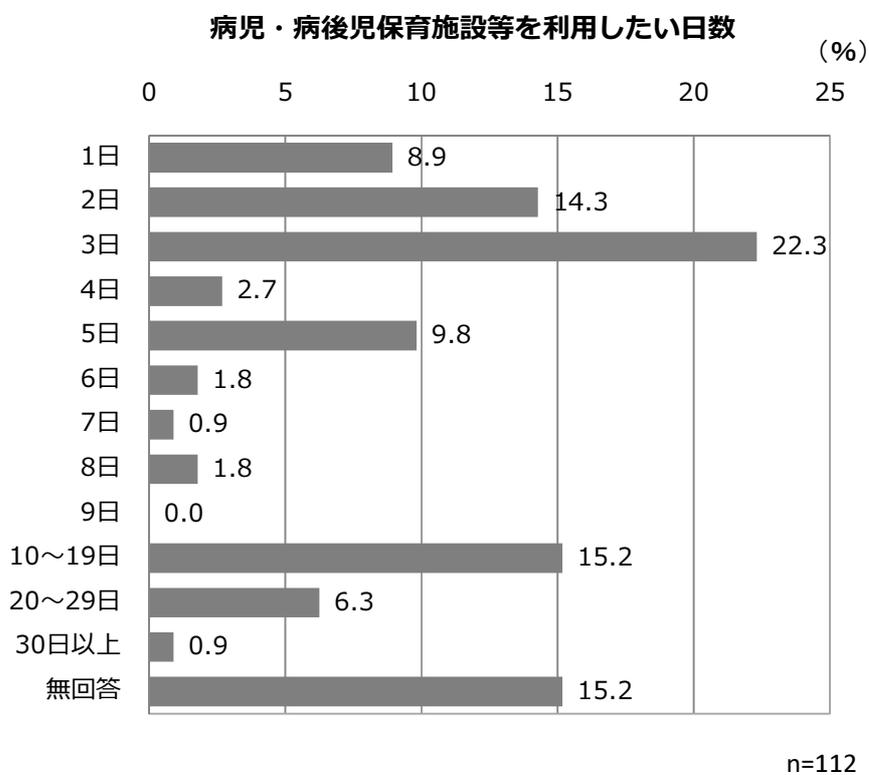
[病児・病後児施設の利用希望]

・「利用したいとは思わない」が 51.3%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 46.7%となっています。



[病児・病後児保育施設等を利用したい日数]

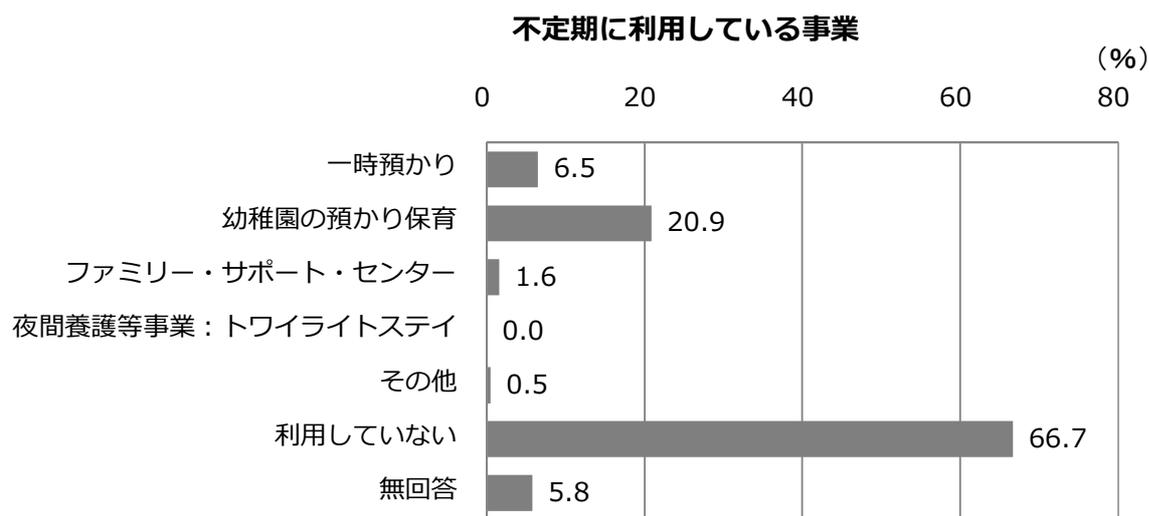
・利用したい日数は、「3日」が 22.3%で最も多く、平均では 5.94 日となっています。



8 不特定の教育・保育事業の利用について

問 23 不定期で利用している事業 (MA)

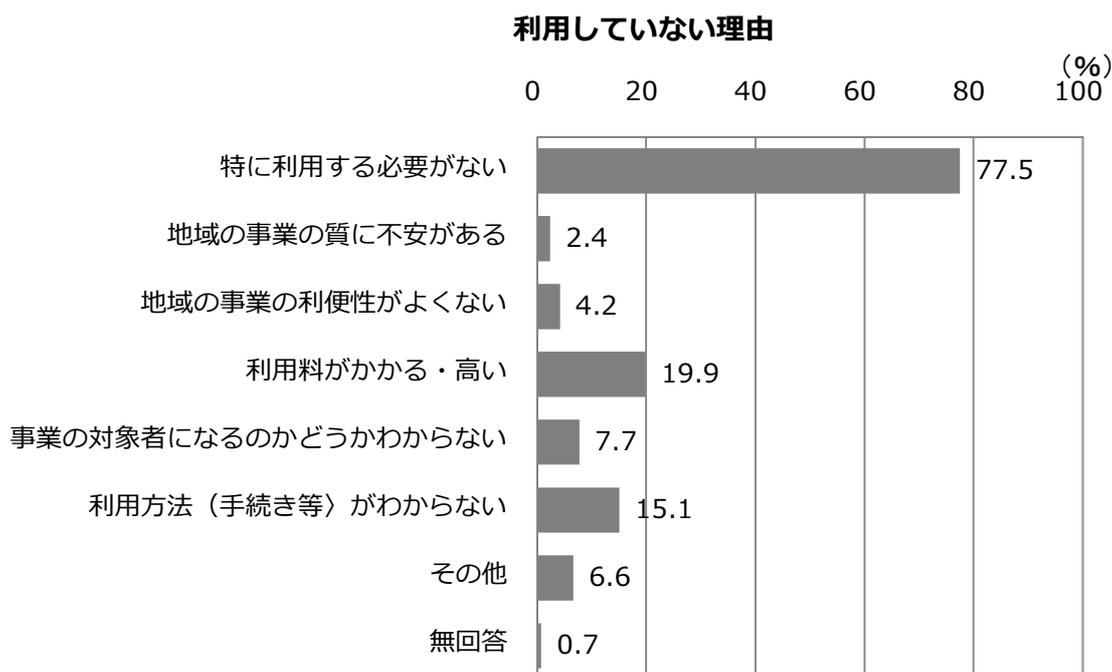
- ・「利用していない」が66.7%で最も多くなっています。
- ・利用している事業としては、「幼稚園の預かり保育」20.9%、「一時預かり」が6.5%となっています。



n=814

【利用していない理由】

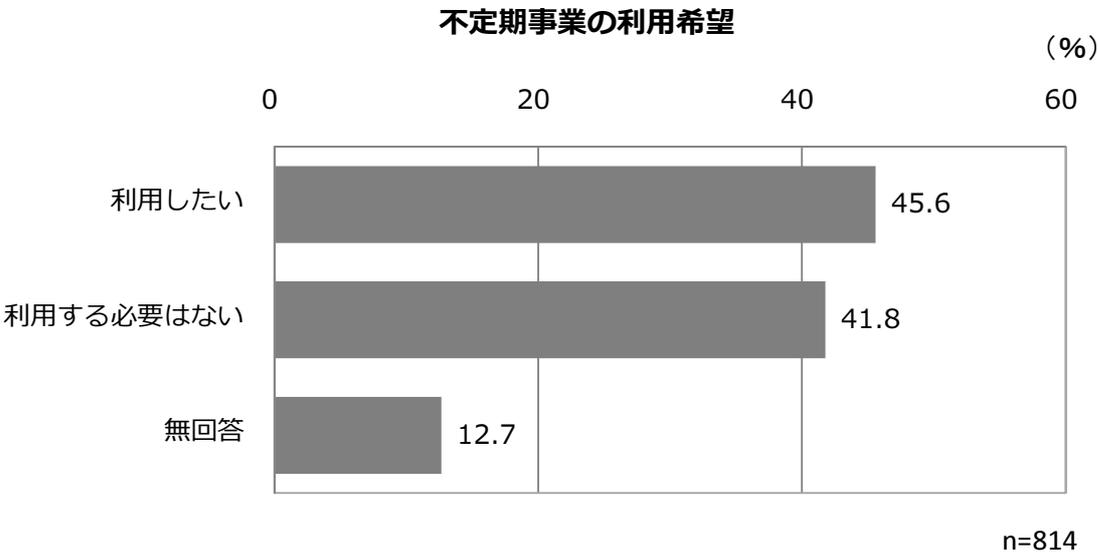
- ・「特に利用する必要がない」が77.5%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が19.9%、「利用方法（手続等）がわからない」が15.1%となっています。



n=543

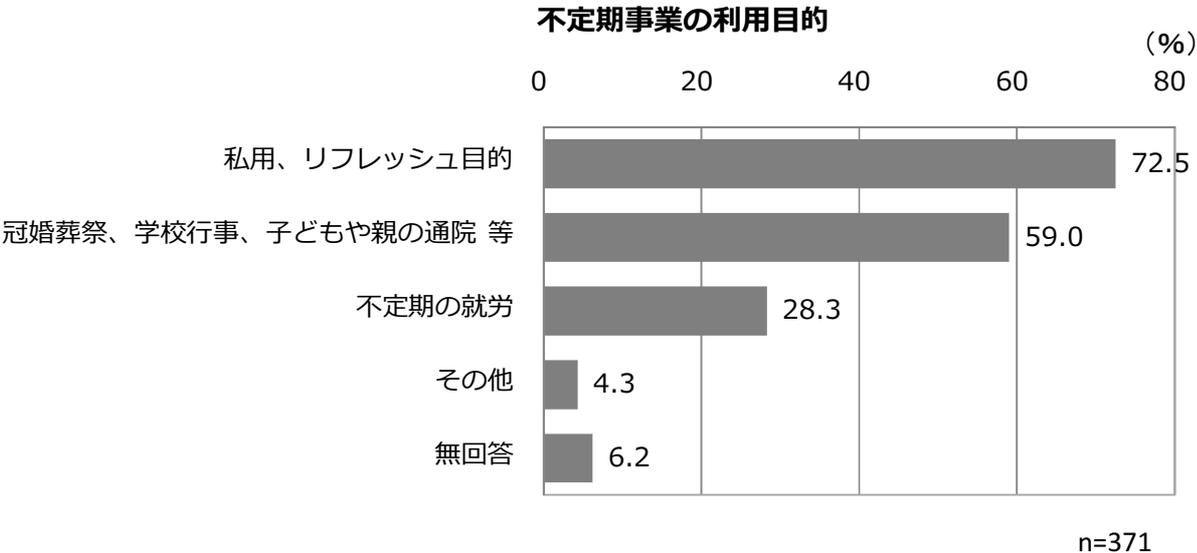
問 24 不定期に利用したい事業の有無 (SA)

・「利用したい」が45.6%、「利用する必要はない」が41.8%となっています。



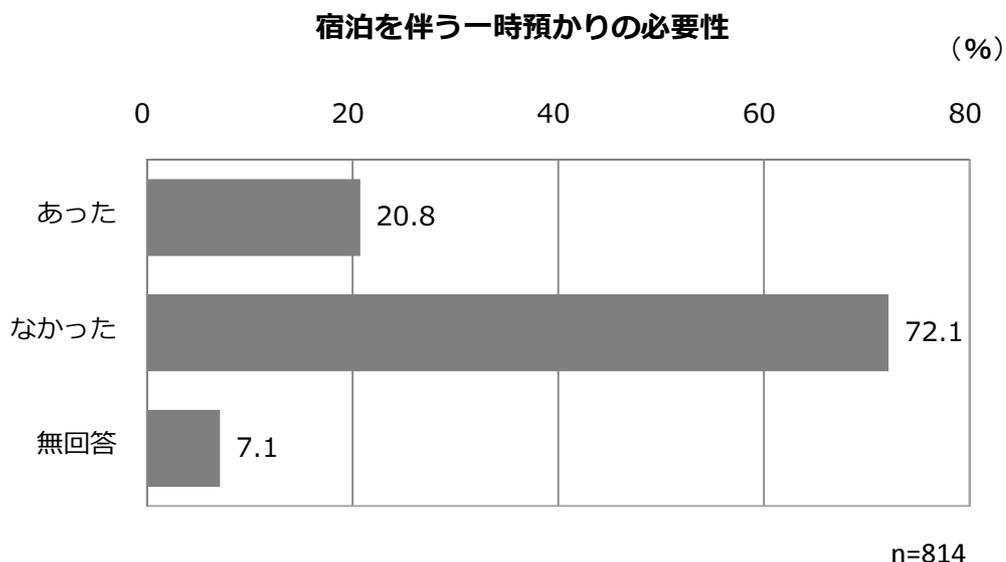
[利用目的 (MA)]

・利用目的としては、「私用、リフレッシュ目的」が72.5%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等」が59.0%となっています。



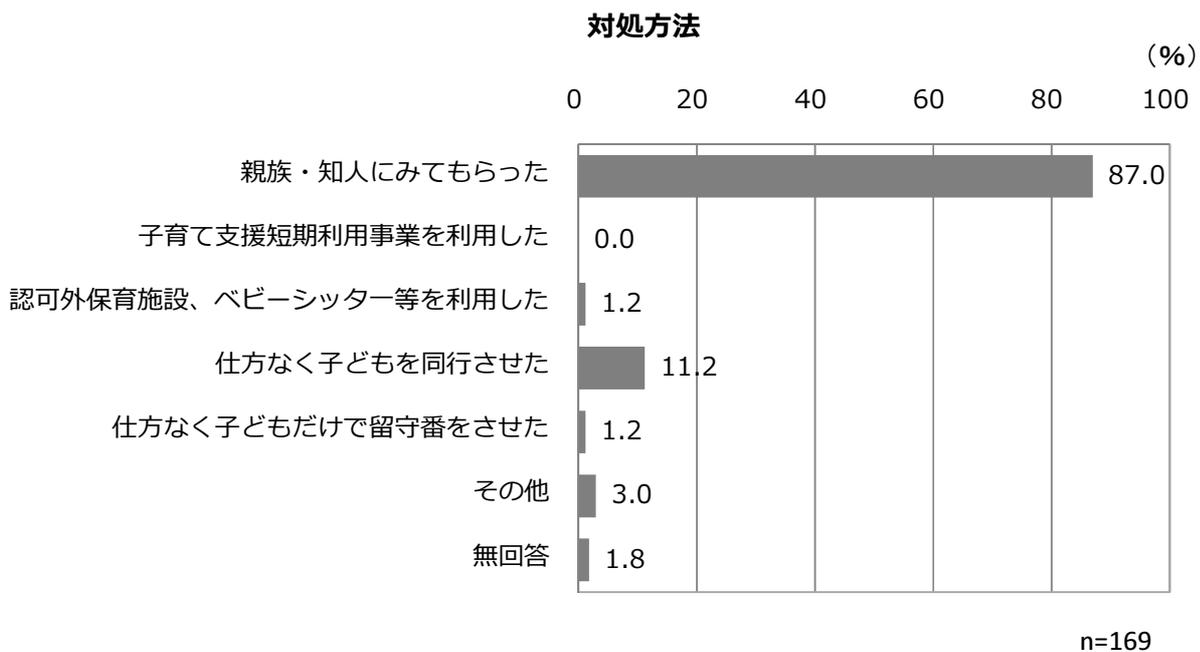
問 25 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無 (SA)

・「なかった」が72.1%、「あった」が20.8%となっています。



[対処方法 (MA)]

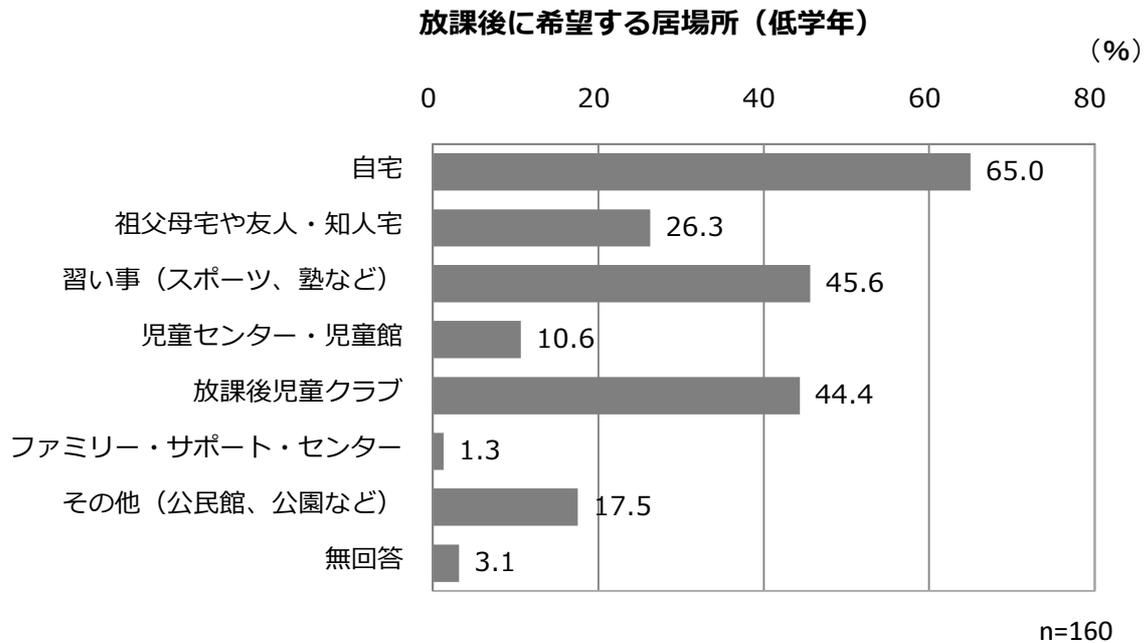
・その際に対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が87.0%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が11.2%となっています。



9 就学後における放課後の過ごし方について（5歳児限定）

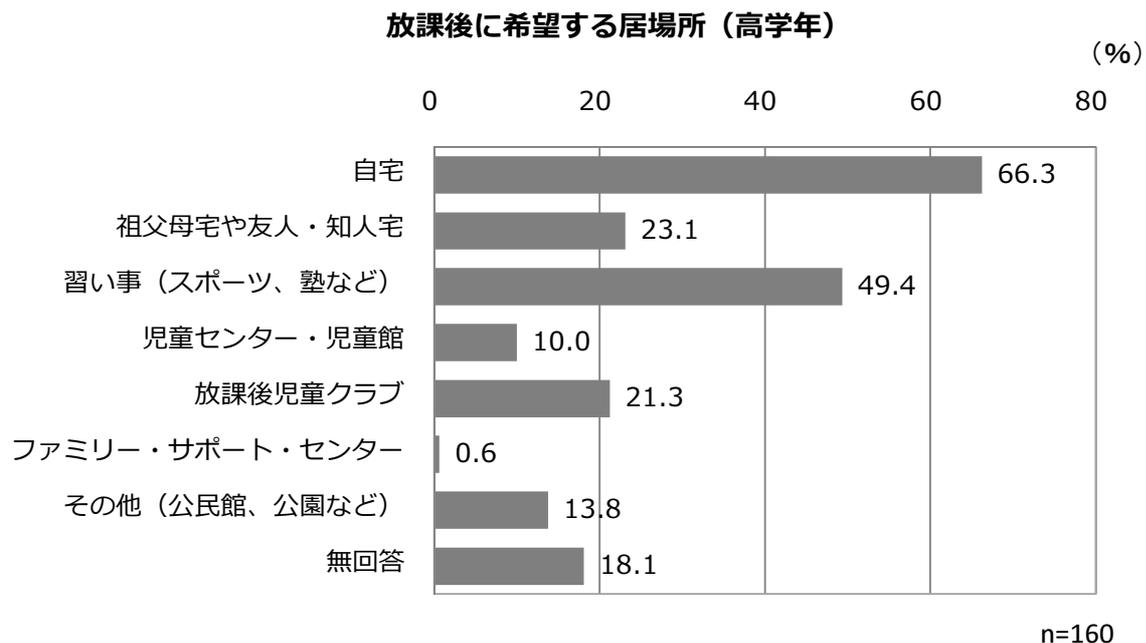
問 26 (1) 低学年時の放課後に希望する居場所（MA）

・「自宅」が65.0%で最も多く、次いで「習い事（スポーツ、塾など）」が45.6%、「放課後児童クラブ」が44.4%となっています。



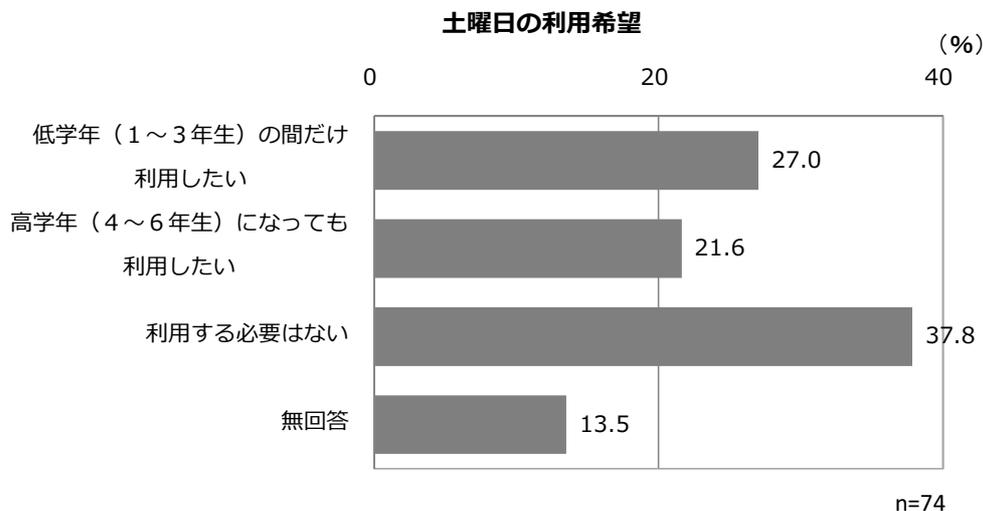
問 26 (2) 高学年時の放課後に希望する居場所（MA、NA）

・「自宅」が66.3%で最も多く、次いで「習い事（スポーツ、塾など）」が49.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が23.1%となっています。



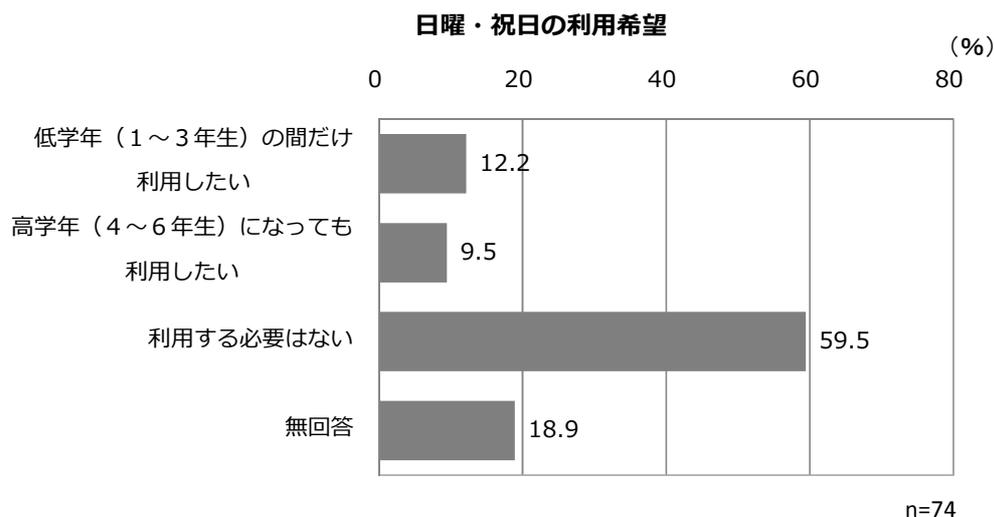
問 27 (1) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望（放課後児童クラブ希望者限定）（SA）

・「利用する必要はない」が37.8%で最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が27.0%、「高学年になっても利用したい」が21.6%となっています。



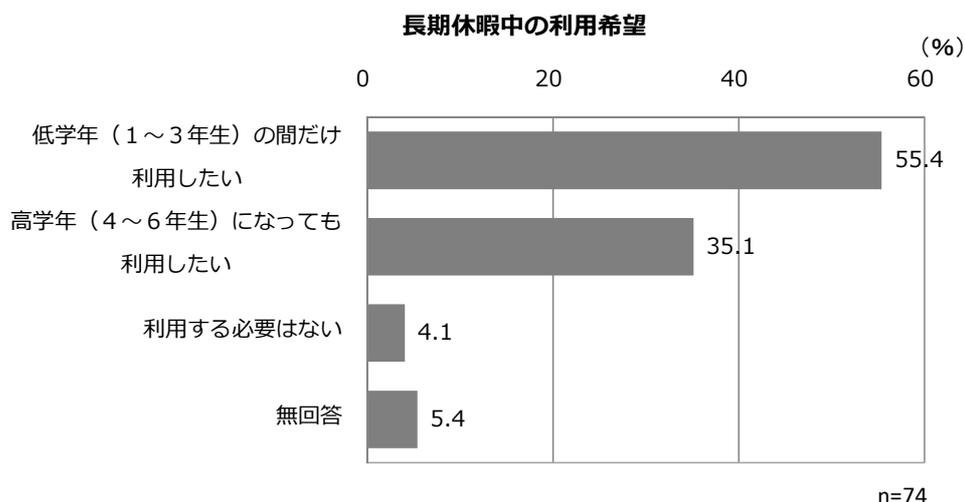
[日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望]

・「利用する必要はない」が59.5%で最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が12.2%、「高学年になっても利用したい」が9.5%となっています。



[長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望]

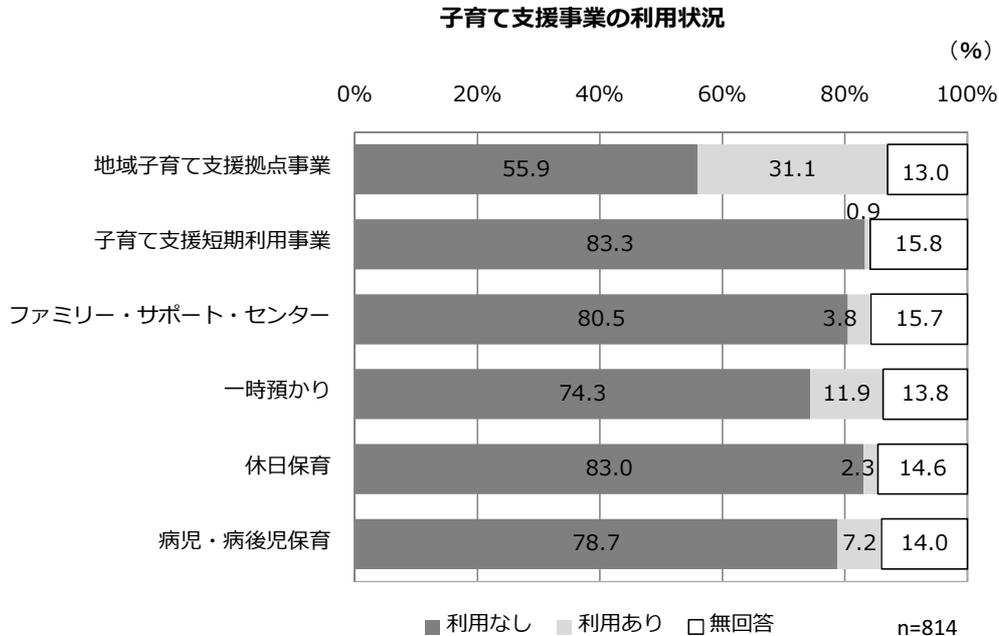
・「低学年の間は利用したい」が55.4%で最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が35.1%、「利用する必要はない」が4.1%となっています。



10 子育て支援事業の利用場所（市内・市外）について

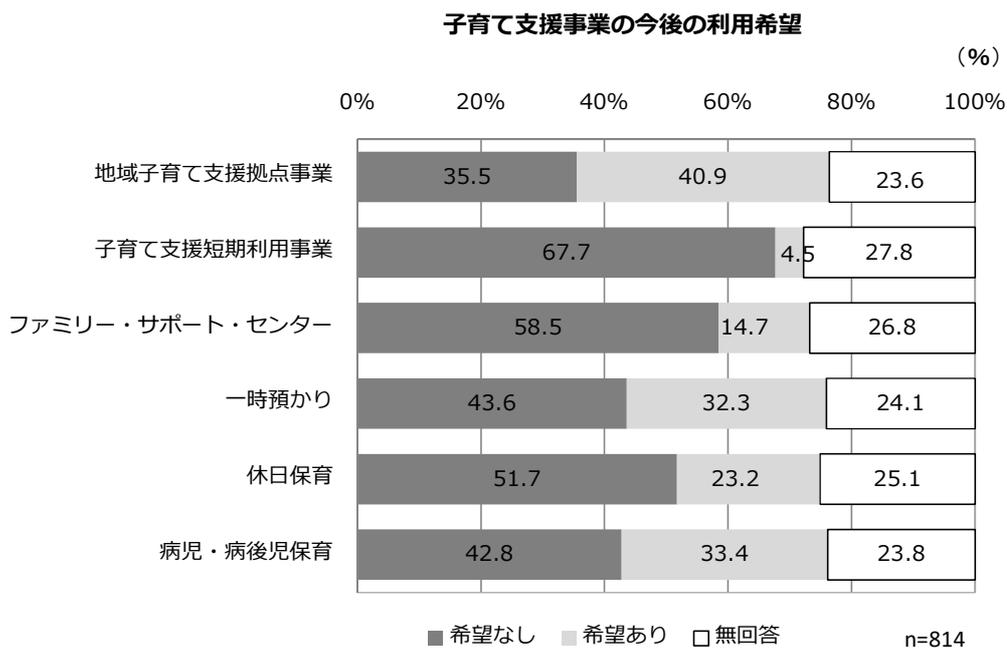
問 28 (1) 子育て支援事業の利用状況

- ・利用ありは、「地域子育て支援事業」が31.1%で最も多く、次いで「一時預かり」が11.9%、「病児・病後児保育」が7.2%の順となっています。



[今後の子育て支援事業の利用希望]

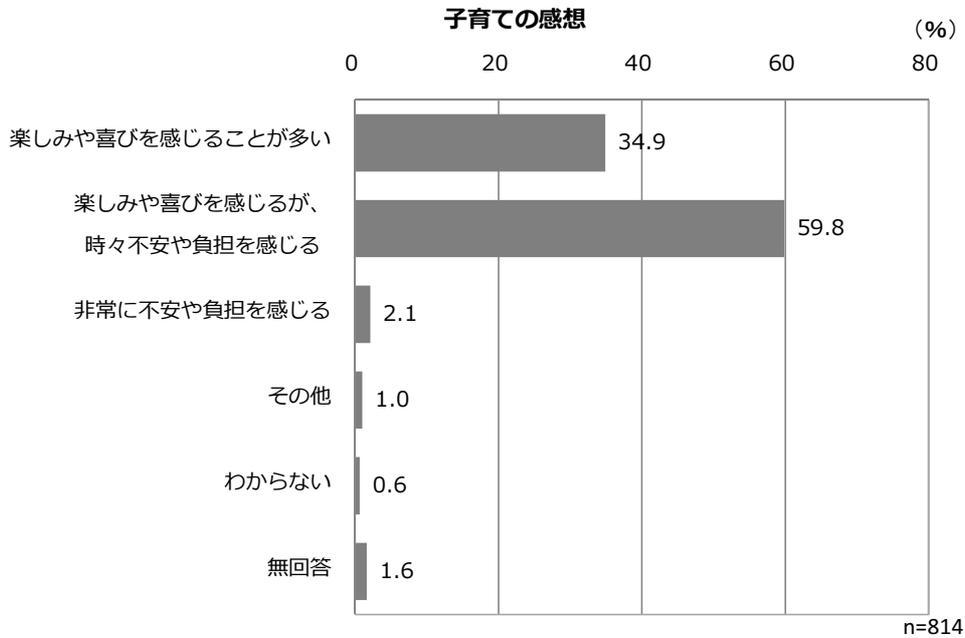
- ・希望ありは、「地域子育て支援事業」が40.9%で最も多く、次いで「病児・病後児保育」が33.4%、「一時預かり」が32.3%の順となっています。



11 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて

問 29 子育ての感想 (SA)

- ・「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」が59.8%で最も多く、次いで「楽しみや喜びを感じることが多い」が34.9%、「非常に不安や負担を感じる」が2.1%となっています。

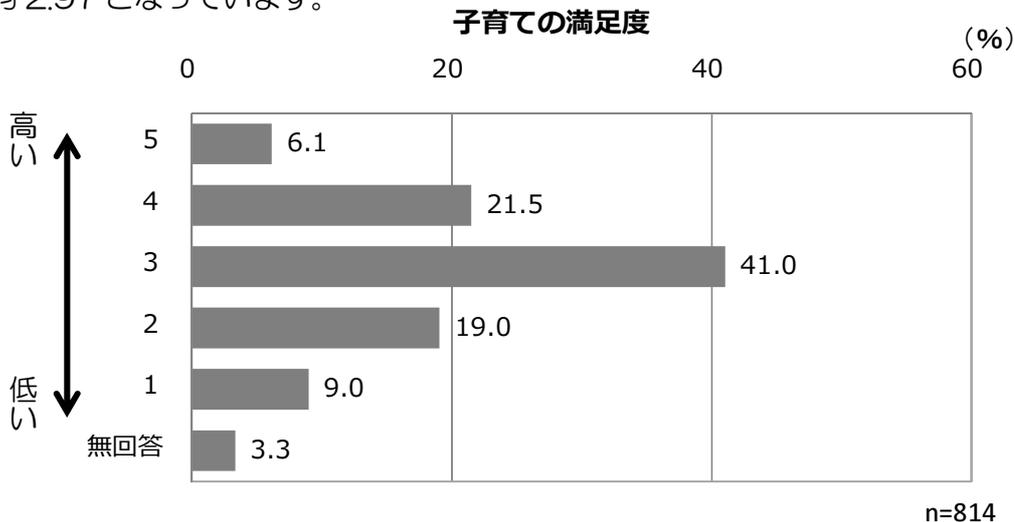


[子育てに非常に不安や負担を感じる理由]

- ・非常に負担や不安を感じる理由としては、「母子家庭であるため」、「子どもが病気であったり障害があるため」、「経済的問題」、「配偶者や周囲からの子育ての支援がない」などがあげられていました。
- ・楽しみや喜びを感じるが多い理由としては、「子どもの成長が楽しい」、「子どもがかわいい」という意見が多くあげられていました。

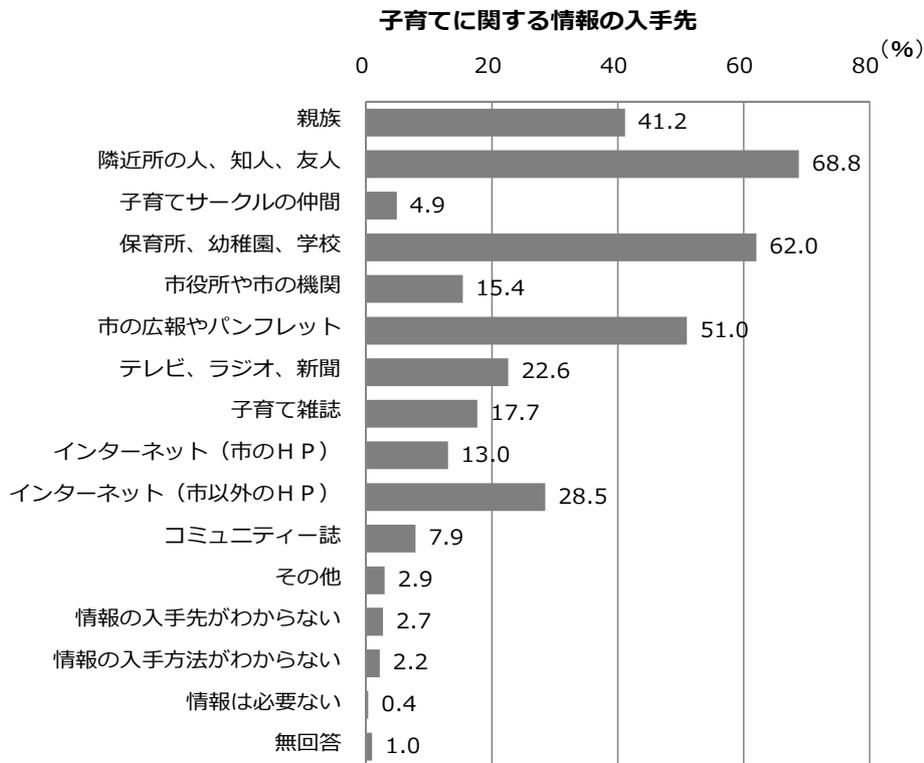
問 30 地域の子育ての環境や支援の満足度 (SA)

- ・「3」が41.0%で最も多く、次いで「4」が21.5%、「2」が19.0%となっており、全体で平均2.97となっています。



問 31 子育てに関する情報の入手先 (MA)

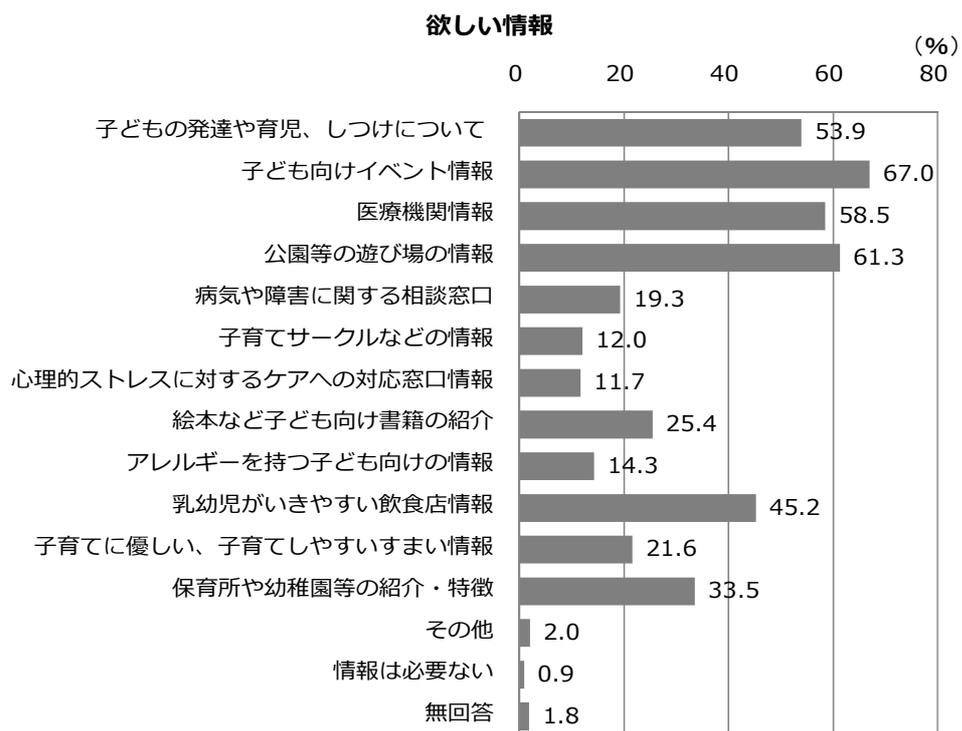
・「隣近所の人、知人、友人」が68.8%で最も多く、次いで「保育所、幼稚園、学校」が62.0%、「市の広報やパンフレット」が51.0%の順となっています。



n=814

問 32 子育てに関する欲しい情報 (MA)

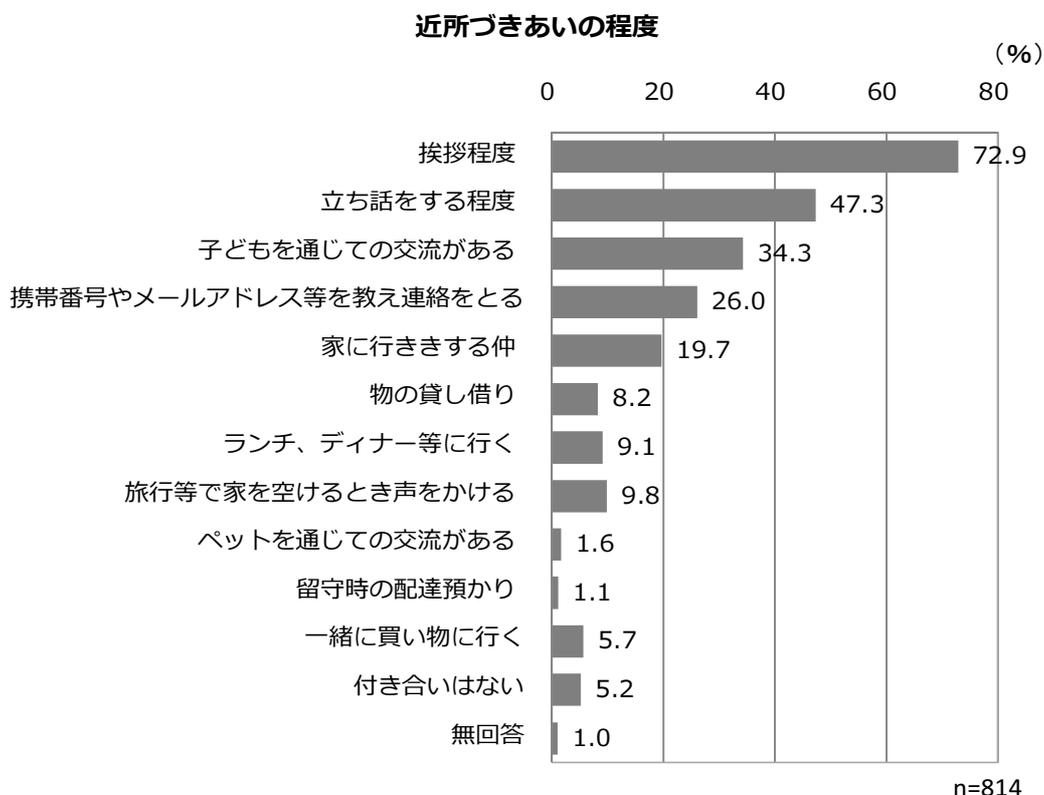
・「子ども向けイベント情報」が67.0%で最も多く、次いで「公園等の遊び場の情報」が61.3%、「医療機関情報」が58.5%の順となっています。



n=814

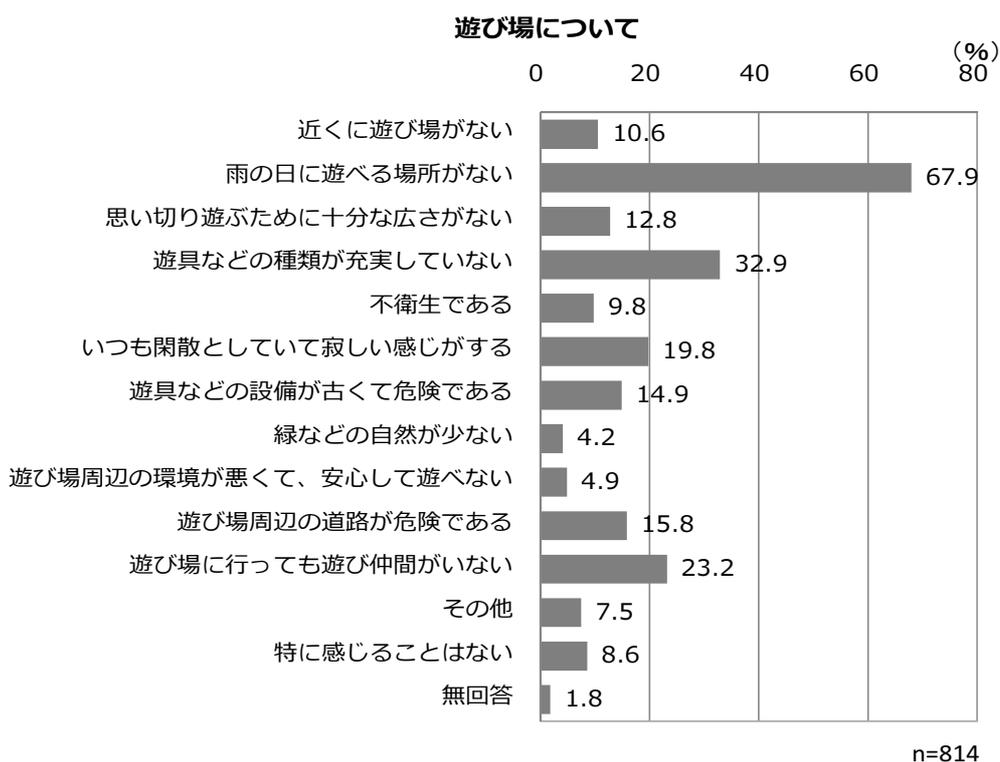
問 33 近所づきあいの程度 (MA)

・「挨拶程度」が 72.9%で最も多く、次いで「立ち話をする程度」が 47.3%、「子どもを通じた交流がある」34.3%の順となっています。



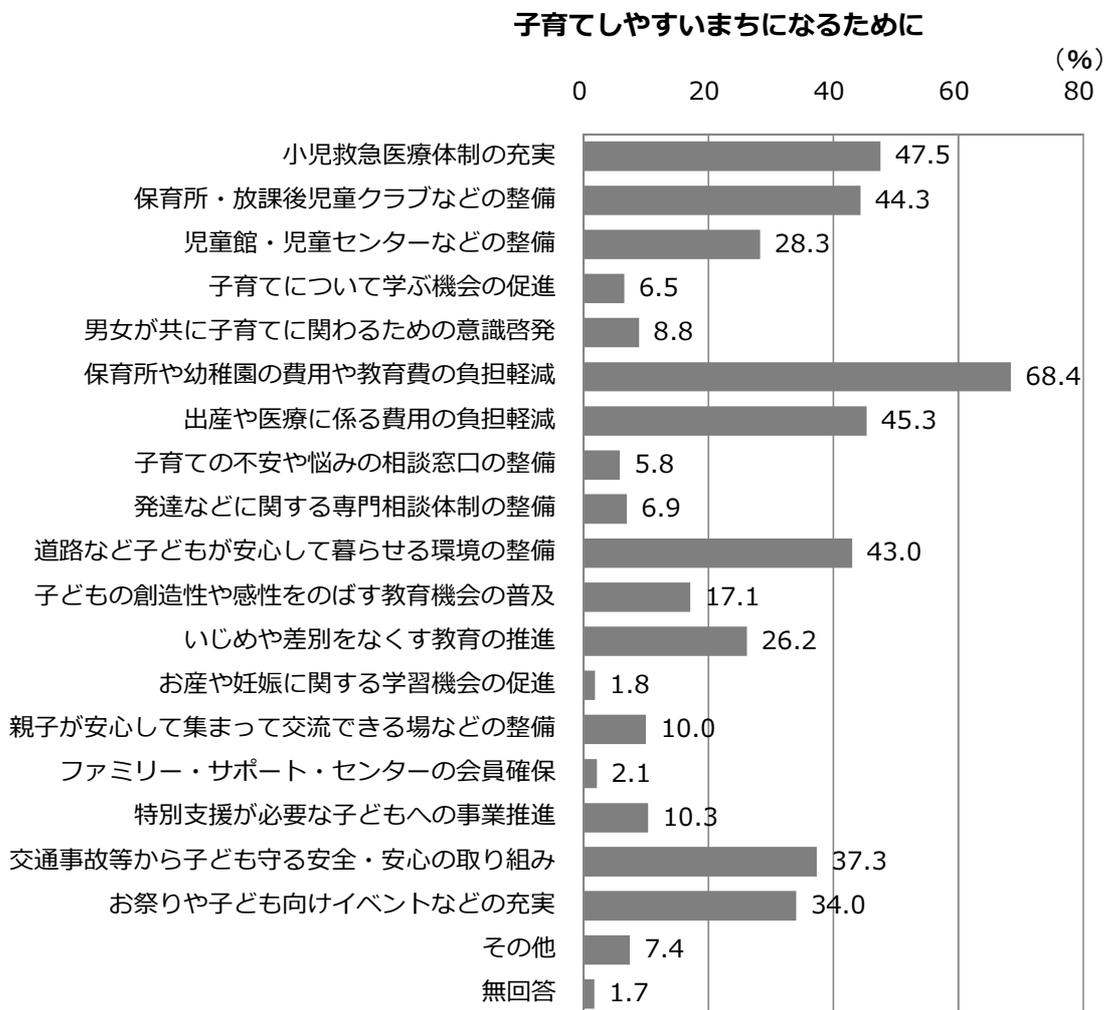
問 34 遊び場について (MA)

・「雨の日に遊べる場所がない」が 67.9%で最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が 32.9%、「遊び場に行っても遊び仲間がない」が 23.2%の順となっています。



問 35 子育てしやすいまちとなるために必要なこと (MA)

・「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」が 68.4%で最も多く、次いで、「小児救急医療体制の充実」が 47.5%、「出産や医療に係る費用の負担軽減」が 45.3%の順となっています。

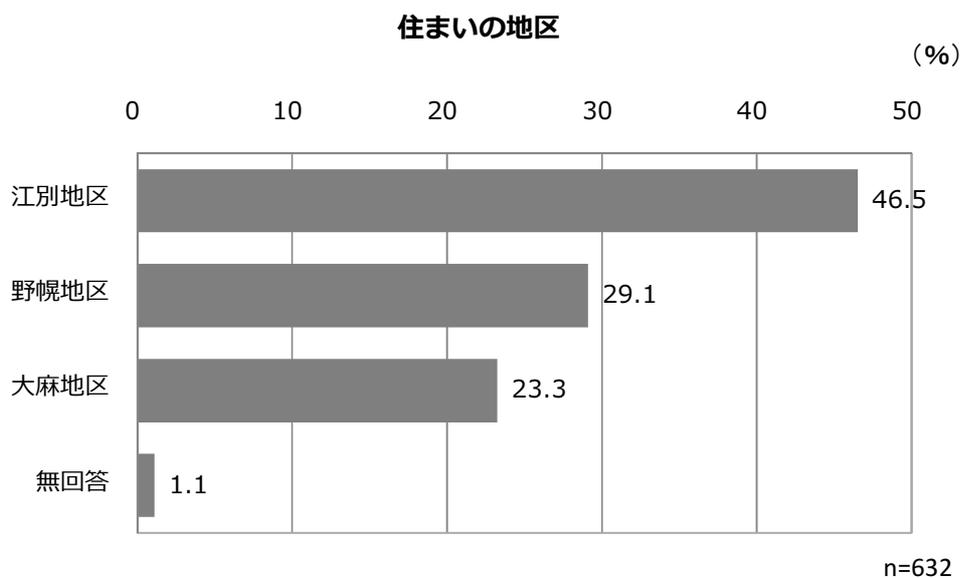


n=814

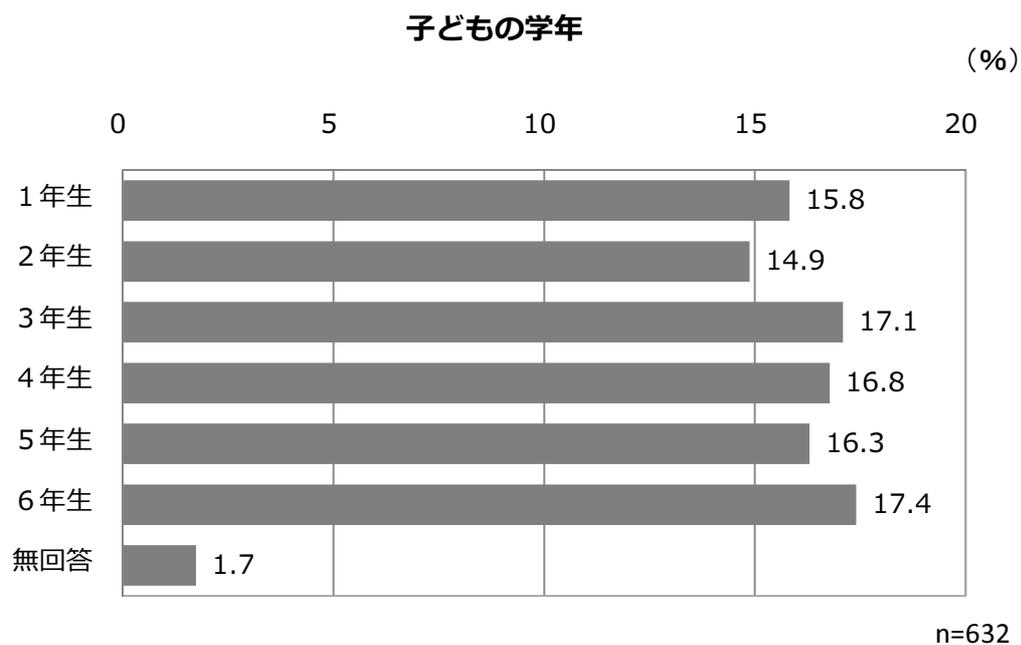
III 小学生調査

1 回答者について

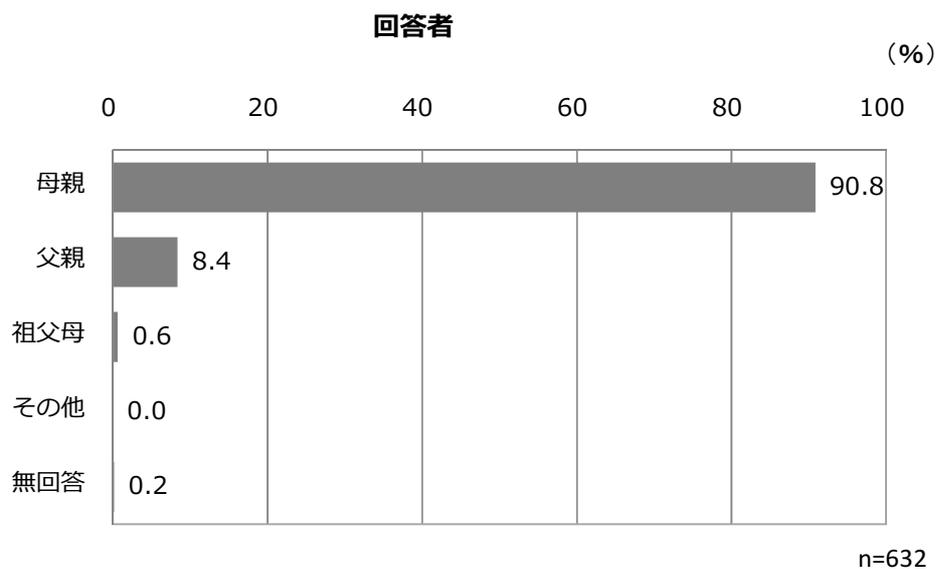
問1 住まいの地区 (SA)



問2 子どもの学年 (SA)

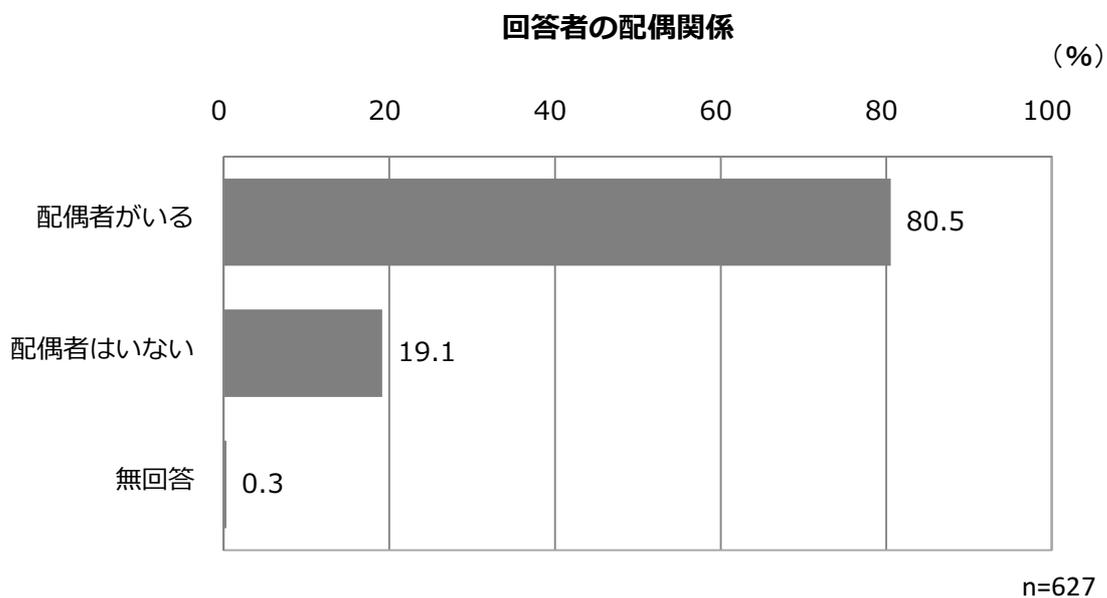


回答者 (SA)



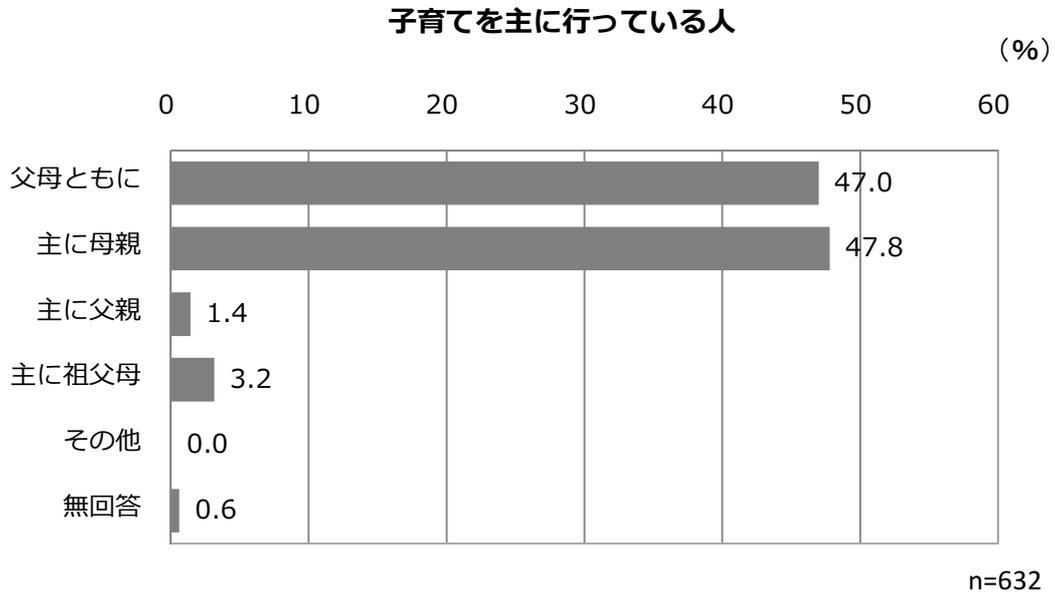
問4 回答者の配偶関係 (SA)

・「配偶者がいる」が80.5%、「配偶者はいない」が19.1%となっています。



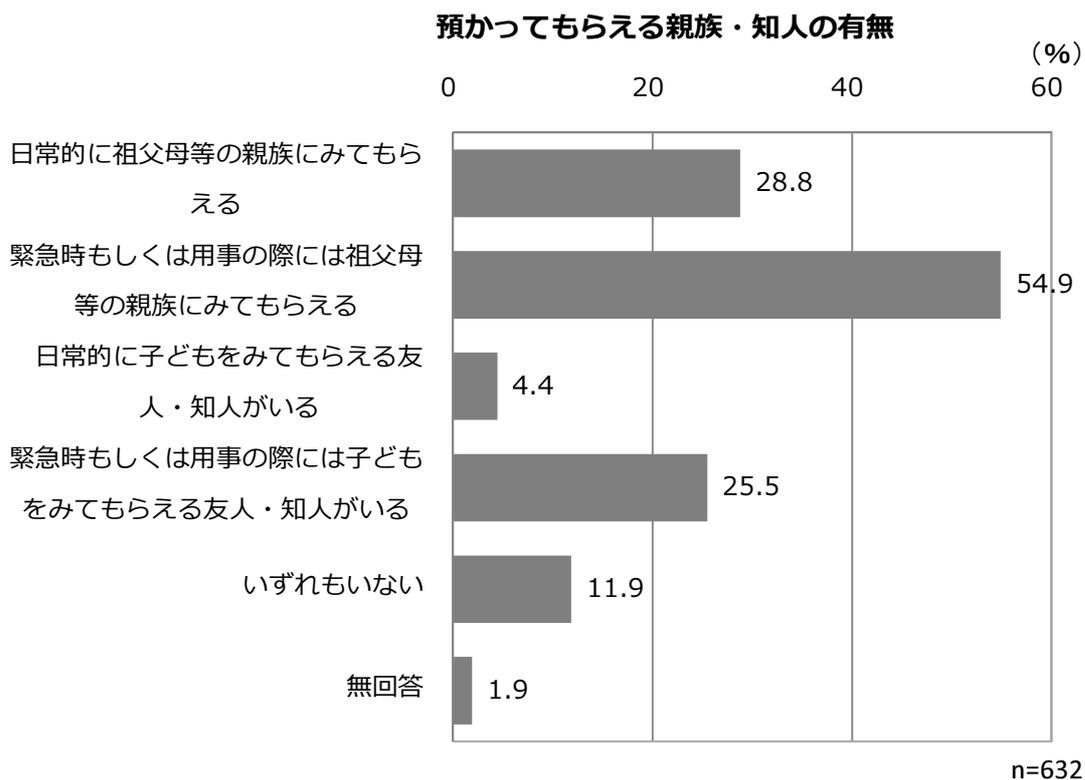
問5 子育てを主に行っている人 (SA)

・「主に母親」が47.8%で最も多く、次いで「父母ともに」が47.0%となっています。



問6 預かってもらえる親族・知人の有無 (MA)

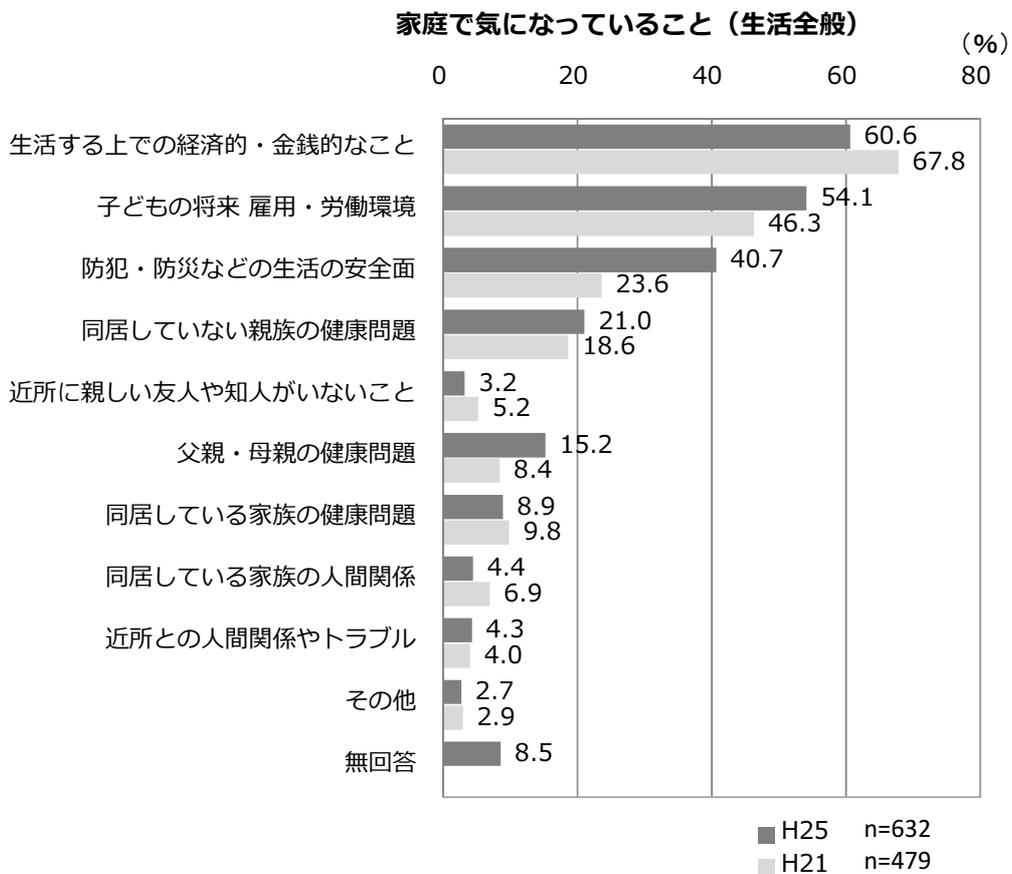
・「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が54.9%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が25.5%の順となっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

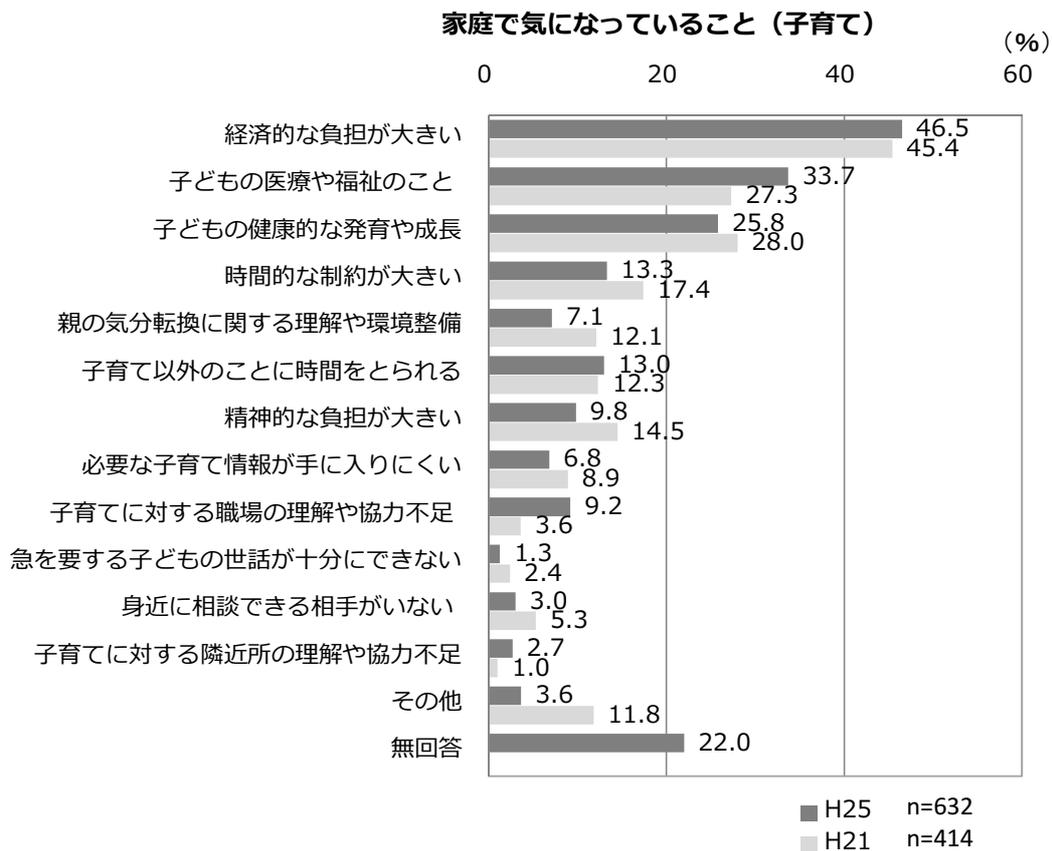
問7(1) 家庭で気になっていること（生活全般）（MA）

- ・生活全般では「生活するうえでの経済的・金銭的なこと」が60.6%で最も多く、次いで「子どもの将来 雇用・労働環境」が54.1%、「防犯・防災などの生活の安全面」が40.7%の順となっています。
- ・前回（H21）調査との比較では、就学前調査同様に「防犯・防災などの生活の安全面」が17.1ポイント増加しており、近年の震災などの影響がうかがえます。



問7(2) 家庭で気になっていること(子育て)(MA)

- 子育てに関しては「経済的な負担が大きい」が46.5%で最も多く、次いで「子どもの医療や福祉のこと」が33.7%、「子どもの健康的な発育や成長」が25.8%の順となっています。
- 前回(H21)調査と比較すると、「子どもの医療や福祉のこと」と「子育てに対する職場の理解や協力不足」が5ポイント以上増加している反面、「親の気分転換に関する理解や環境整備」が5ポイント以上減少しています。



問8 相談相手や場所の有無(SA)

- 「いる/ある」が89.4%となっています。
- 相談先がないと答えた方は、配偶関係別では「配偶者はいない」が10.0%、子どもをみてもらえる親族・知人の状況別では、「いずれもない」が24.0%と高くなっています。



n=632

		合計	問8相談相手の有無		
			いる／あ る	ない	無回答
全体		632 100.0	565 89.4	54 8.5	13 2.1
問4配偶 関係	配偶者がいる	505 100.0	453 89.7	42 8.3	10 2.0
	配偶者はいない	120 100.0	106 88.3	12 10.0	2 1.7
	無回答	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
問6子ども をみて もらえる 親族・知 人	日常的に祖父母等の親族にみてもら える	182 100.0	170 93.4	7 3.8	5 2.7
	緊急時もしくは用事の際には祖父母 等の親族にみてもらえる	347 100.0	317 91.4	26 7.5	4 1.2
	日常的に子どもをみてもらえる友 人・知人がいる	28 100.0	26 92.9	2 7.1	0 0.0
	緊急時もしくは用事の際には子ども をみてもらえる友人・知人がいる	161 100.0	157 97.5	3 1.9	1 0.6
	いずれもない	75 100.0	54 72.0	18 24.0	3 4.0
	無回答	12 100.0	10 83.3	1 8.3	1 8.3

問9 周囲から欲しいサポート

- ・ 周囲から欲しいサポートについての主な意見の内容等は以下のとおりです。

- ・ 相談体制

発達について気軽に相談できると良いと思います。

保育園や学校等、どこを選べばよいか？どこに入れるのか？等の相談が気軽に出来る場所があればよいと思います。

話を聞いてもらうだけでもだいぶ違うと思います。

- ・ 保育サービス（病児・病後児保育、一時預かり、保育時間の延長など）

病児保育がもっと利用しやすい様にして欲しい。インフルエンザ等で長期休学をしなければならなくても4年生以降は補助がないし1ヶ所しかないの、定員を超えると利用出来ない。

子供が小さい時は、急な用事等の時少しの間預かってくれる体制が整っているといいなと思ったことがあります。

- ・ 経済的支援

育児手当増額などお金のサポートが必要。

江別市民対象の奨学金制度を充実させてほしい。

経済的な余裕がなく、塾などに通わせてる家庭をうらやましく思う。気軽に低価格で塾までいなくても学べる、通えるような所ができればうれしい。

- ・ 地域における支援

お母さんがもっとリフレッシュ出来るように、市で託児付きの色々な教室を開いて欲しい。

地域の有志者による学習(復習)支援(土・日・長期休業時など)・大学生(高校生)などとの異年齢交流(あこがれ・夢など)

同世代の子供を持つ親がお互いの悩みを話し合える機会があればと思う。

- ・情報提供

これから中学校へ入学に向けて受験に関することで、塾や家庭教師などの市内ではここにあるなどの情報が欲しいです。

さまざまな情報が知りたいので、子供がいる家庭で想定されるあらゆることに対して対処できるようなものがあればいいと思う。

- ・教育環境

学校以外で勉強をサポートしてくれる所。

質の良い教育。江別にも中高一貫校を。

- ・生活環境・遊び場

休日の学校開放、放課後の施設開放・提供などで子供が集まり、遊べる場(悪天候時の屋内など)がほしい。気軽に出入りして、保護者同士や子育て経験者の情報交換の場がほしい。札幌市の児童館施設のような場所。

- ・学童保育

母親が仕事をしている場合、預けられる学童保育施設の定員が少ないし、月額がとても高い。

学校が終わってから、学校の中に夕方まで児童クラブがあると祖母の負担が減る。

- ・健康・医療

医療面でのサポート(夜間診療他、専門医の不足)。

小学校を卒業するまでの医療面(経済的に)のサポート。上の子がぜんそくで病院に行く回数がとても多かった為負担が大きかったです。

- ・安心・安全に関する事

登下校の見守り等、交差点での車の進入は歩行者を守ろうとする運転になっていないので事故が心配。

朝、夜などの積極的な見回り、見守り(パトロール)。最近は公園等の子供たちが集まる場所に不審者が出る事が多くなっているので、市や近所の大人たちが全体でパトロール等や声掛けをやって欲しい。

- ・仕事と子育ての両立支援

共働きしていて母親が子供の病気や学校行事の際に、周りに遠慮せず行動出来るような環境作り。

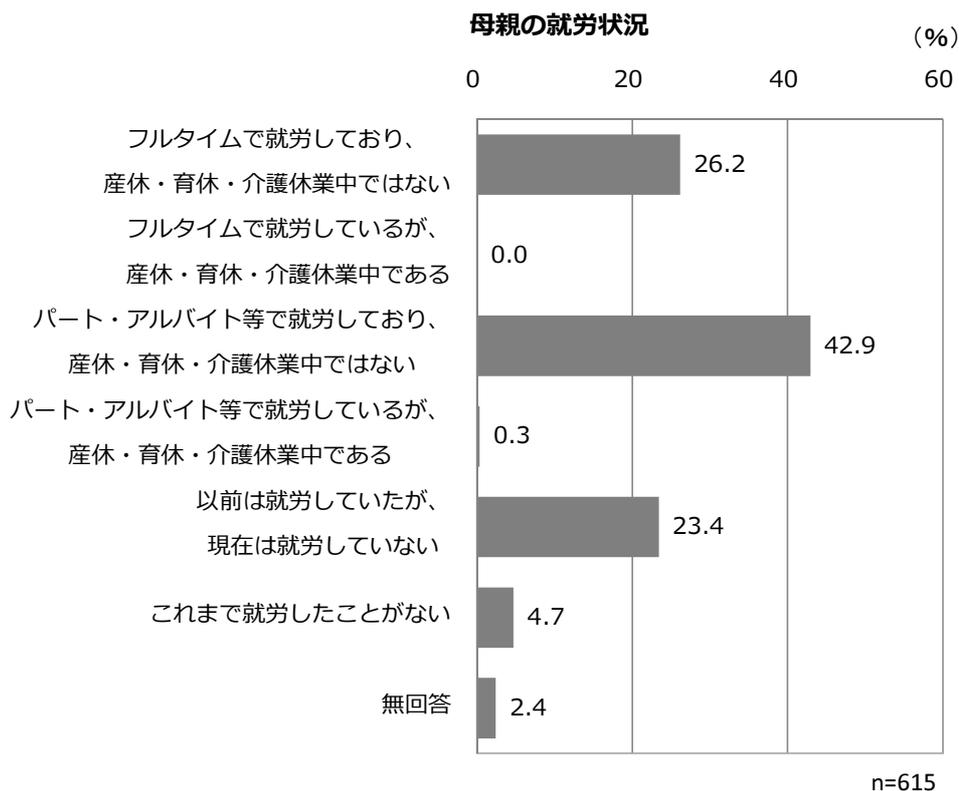
- ・その他

悪いことをしていたら見て見ぬふりではなく、ちゃんと叱ってもらえる環境。

3 保護者の就労状況について

問10 母親の就労状況 (SA)

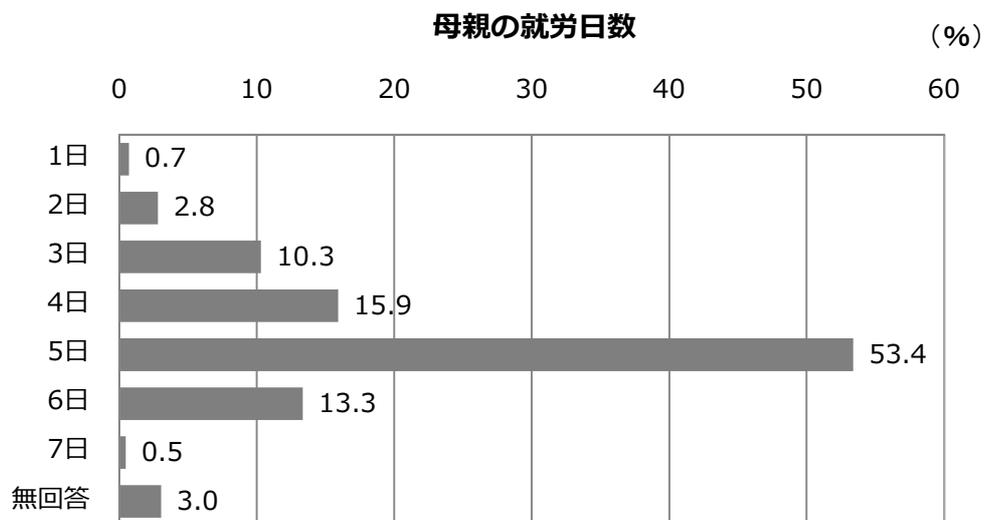
・「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.9%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.4%の順となっています。



	合計	問10母親の就労状況							無回答	非該当
		フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答		
全体	615 100.0	161 26.2	0 0.0	264 42.9	2 0.3	144 23.4	29 4.7	15 2.4	17	
問2子どもの学年	1年生	99 100.0	27 27.3	0 0.0	43 43.4	0 0.0	22 22.2	4 4.0	3 3.0	1
	2年生	92 100.0	22 23.9	0 0.0	35 38.0	1 1.1	24 26.1	9 9.8	1 1.1	2
	3年生	104 100.0	23 22.1	0 0.0	43 41.3	1 1.0	29 27.9	4 3.8	4 3.8	4
	4年生	105 100.0	28 26.7	0 0.0	45 42.9	0 0.0	22 21.0	7 6.7	3 2.9	1
	5年生	99 100.0	28 28.3	0 0.0	48 48.5	0 0.0	21 21.2	1 1.0	1 1.0	4
	6年生	106 100.0	32 30.2	0 0.0	44 41.5	0 0.0	23 21.7	4 3.8	3 2.8	4
	無回答	10 100.0	1 10.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	1

[母親の1週当たりの就労日数]

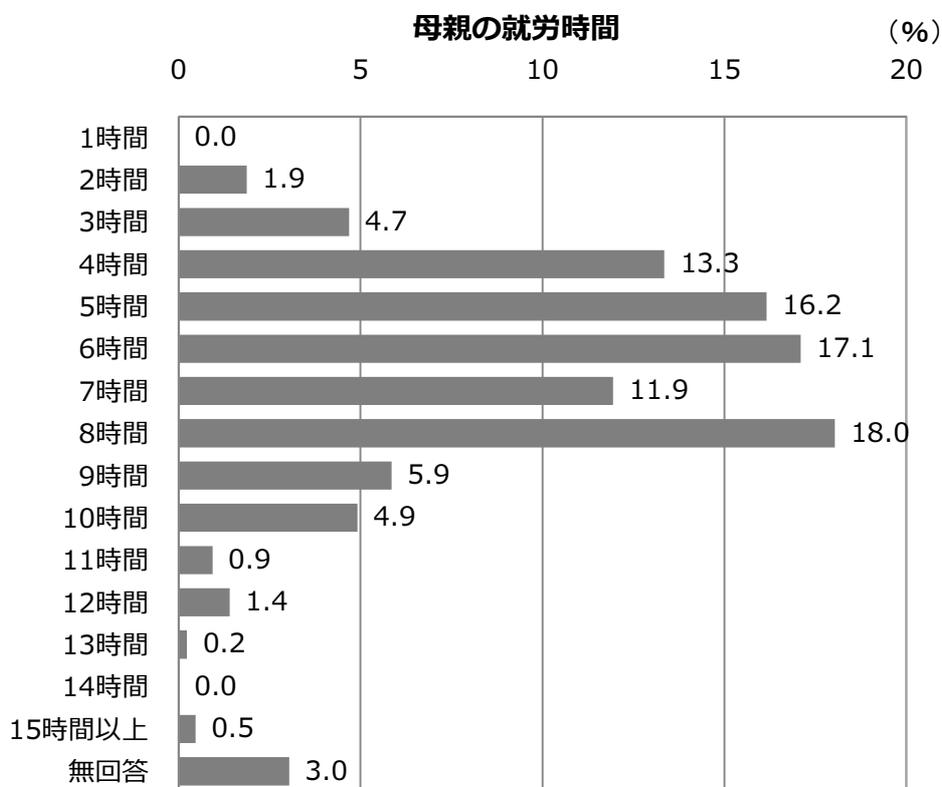
- 母親の1週当たりの就労日数は、週に5日が53.4%で最も多く、次いで4日が15.9%となっています。



n=427

[母親の1日当たりの就労時間]

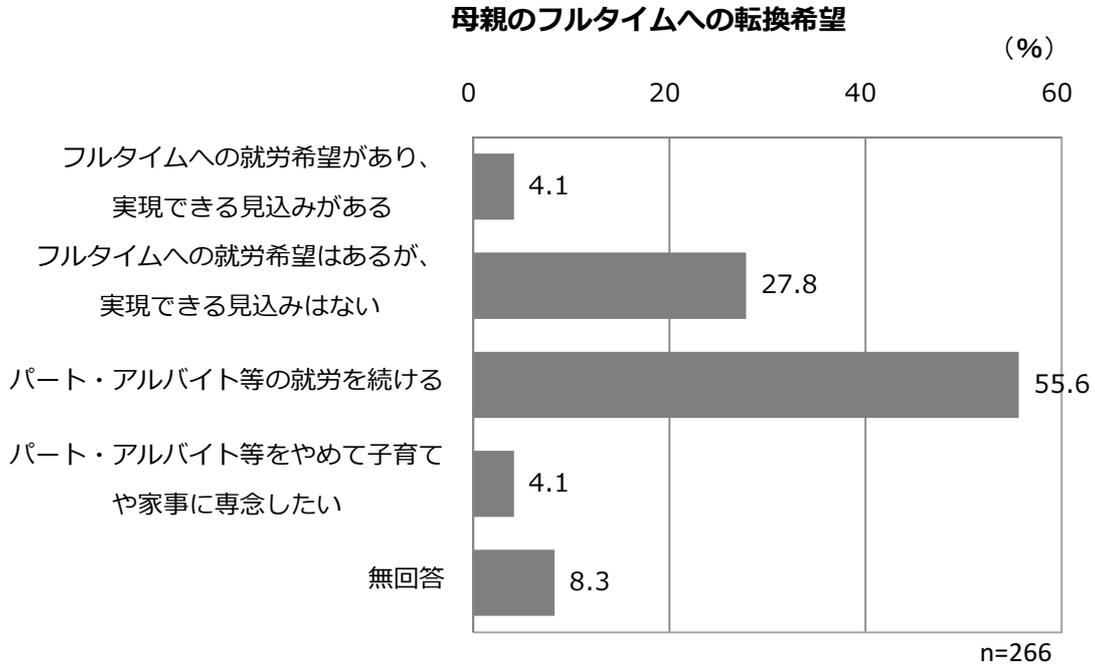
- 1日当たりの就労時間は、8時間が18.0%で最も多く、次いで6時間が17.1%となっており、8時間以上が31.8%を占めています。



n=427

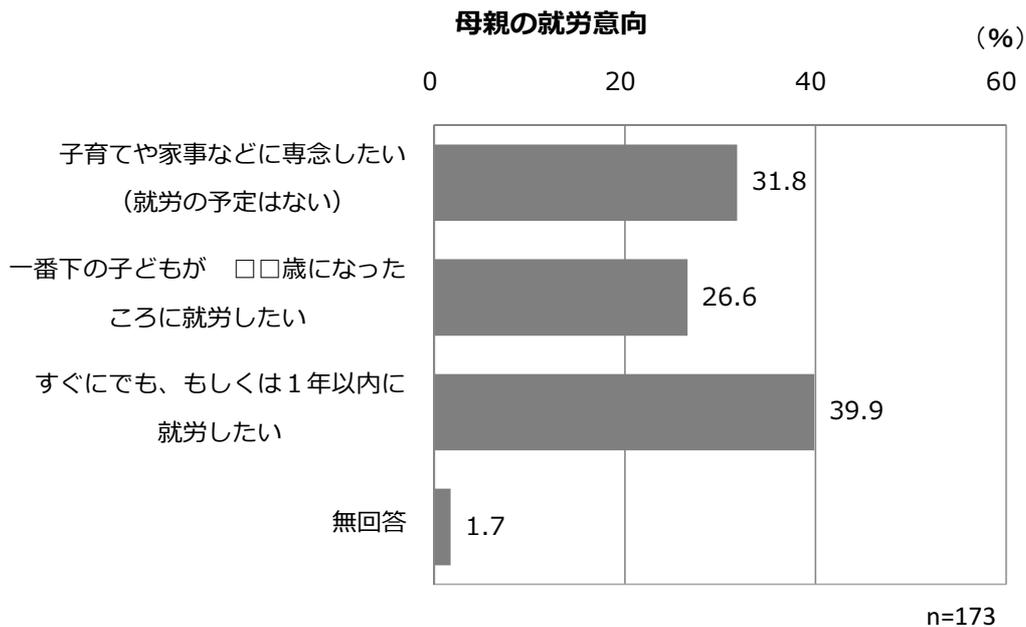
[母親のフルタイムへの転換希望]

・「パート・アルバイト等の就労を続ける」が55.6%で最も多く、次いで「フルタイムの就労希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.8%となっています。



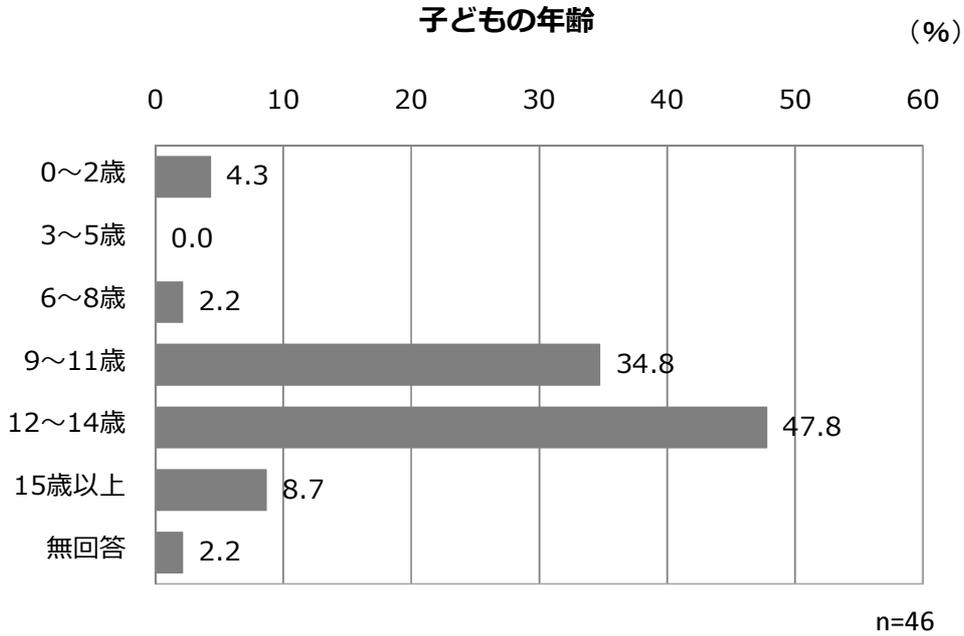
[母親の就労意向]

・現在就業していない母親は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が39.9%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が31.8%、「一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が26.6%の順となっています。



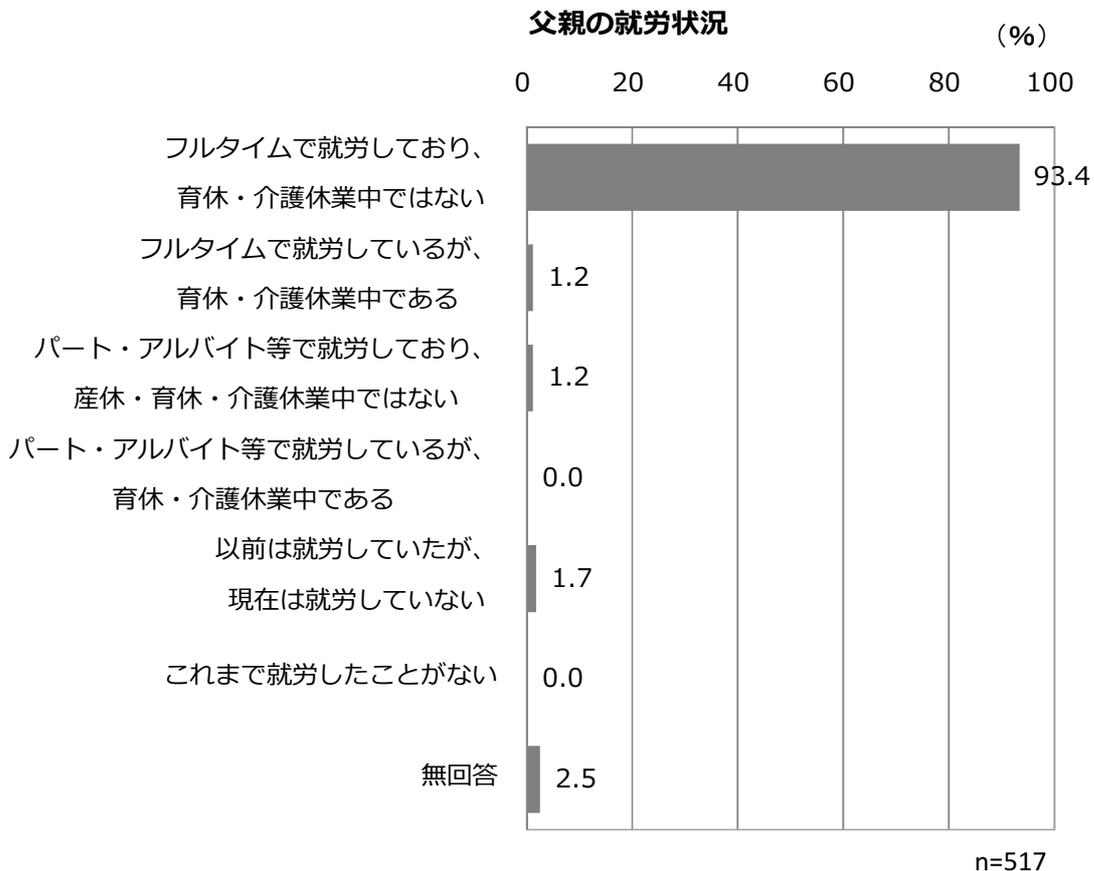
[1 番下の子どもの年齢]

・「一番下の子どもが口歳になったところに就労したい」と回答した方の、子どもの年齢は、12～14歳が47.8%となっています。



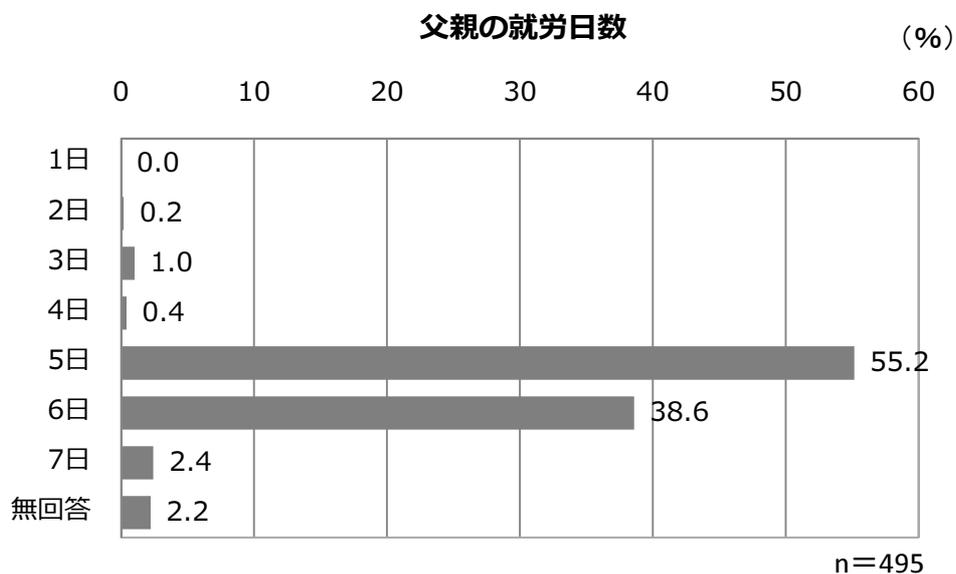
問 11 父親の就労状況 (SA)

・「フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中ではない」が93.4%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.7%となっています。



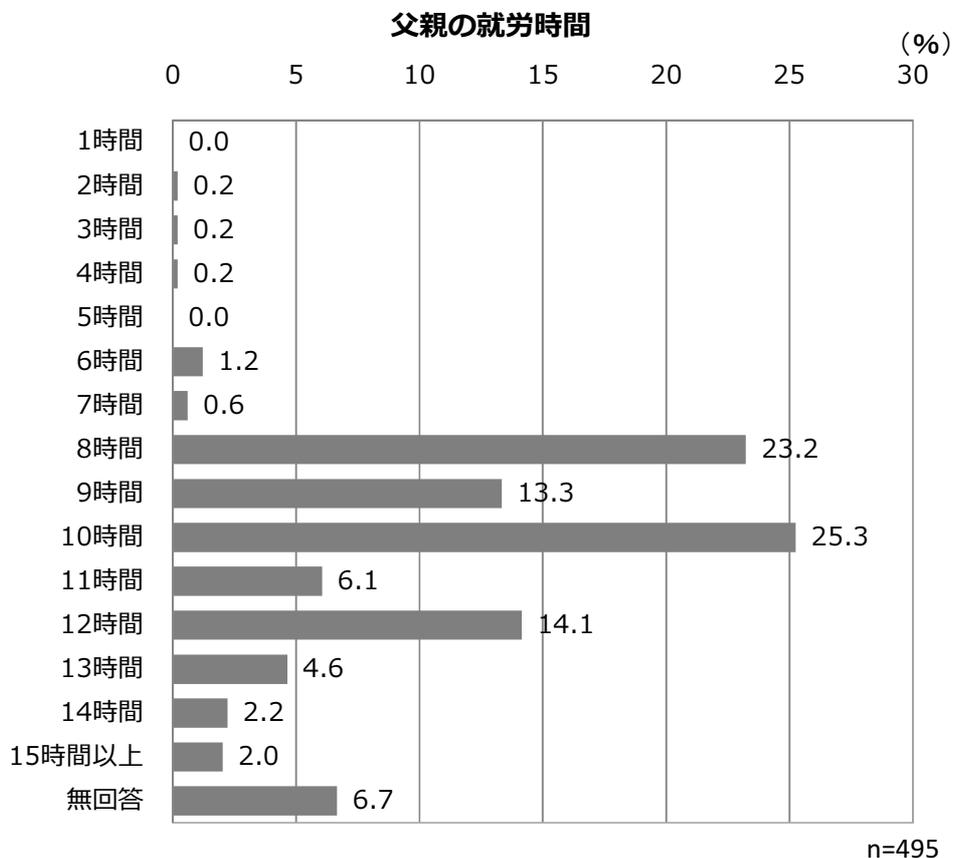
[父親の1週当たりの就労日数]

・父親の1週当たりの就労日数は、週に5日が55.2%で最も多く、次いで6日が38.6%となっています。



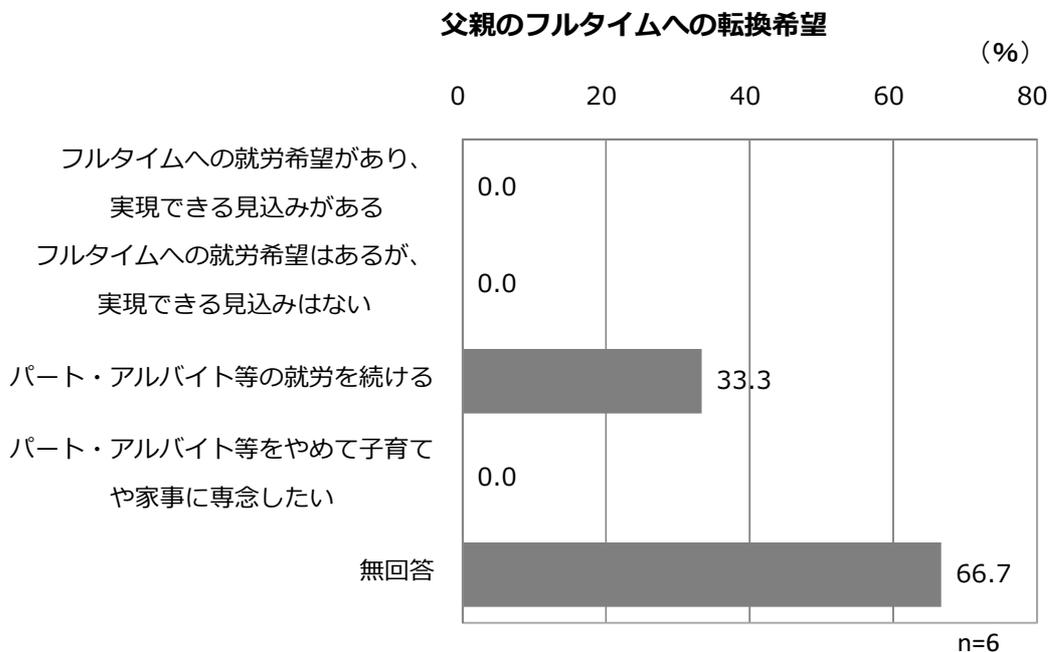
[父親の1日当たりの就労時間]

・1日当たりの就労時間は、10時間が25.3%で最も多く、次いで8時間が23.2%となっており、10時間以上が54.3%を占めています。



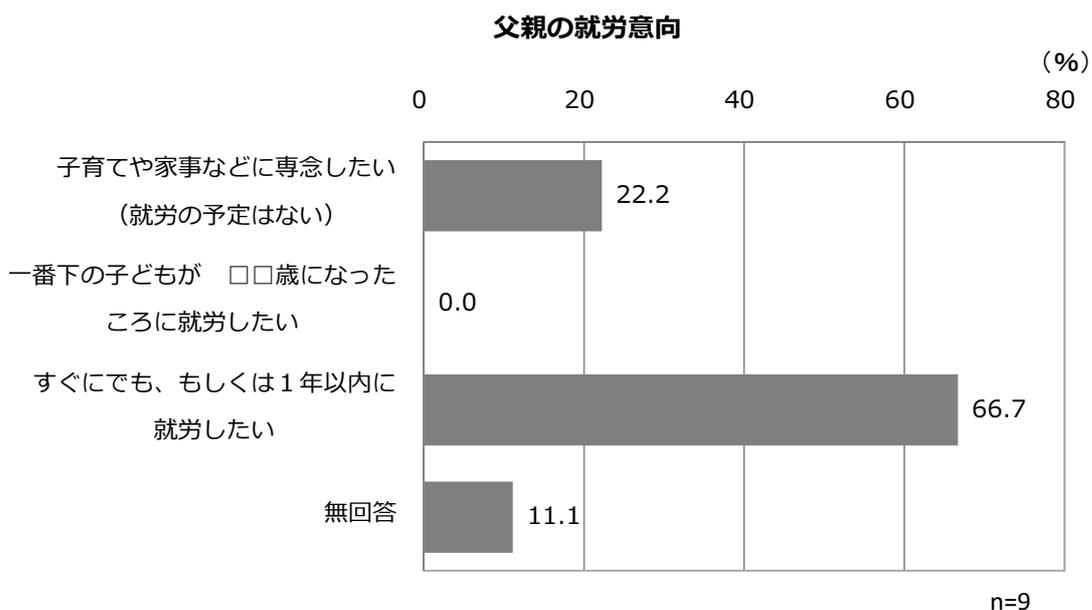
[父親のフルタイムへの転換希望]

- ・パート・アルバイトの6人の父親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続ける」が33.3%の順となっています。



[父親の就労意向]

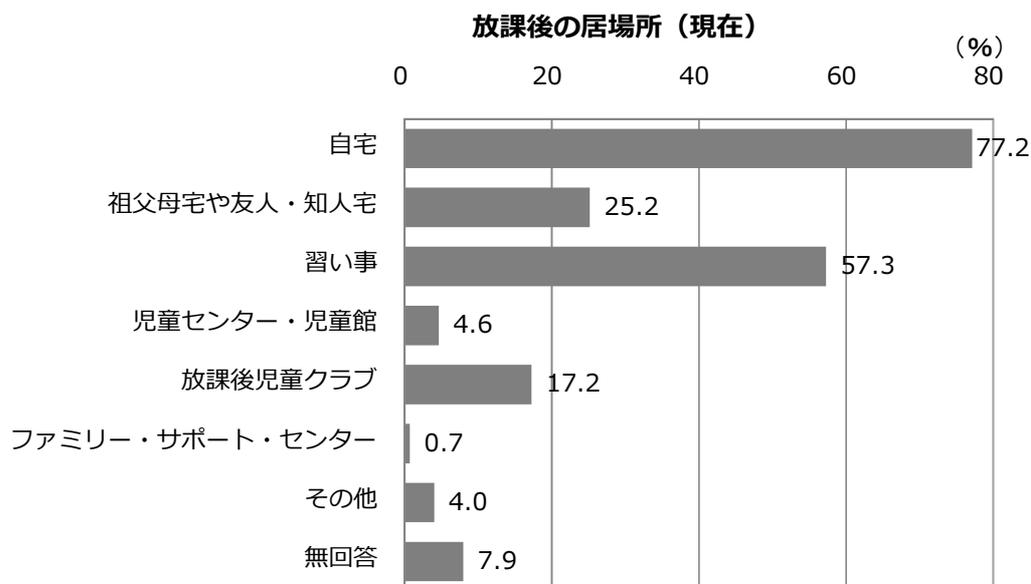
- ・現在就業していない父親は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が66.7%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が22.2%となっています。



4 放課後の過ごし方について（3年生以下限定）

問 12(1) 平日の放課後の居場所（MA、FA）

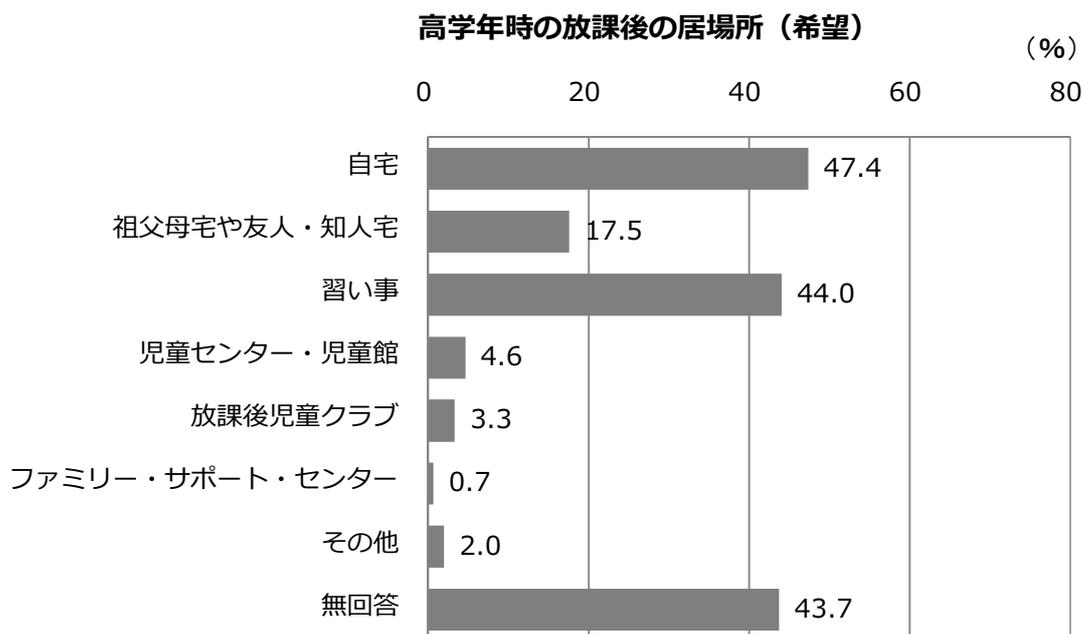
「自宅」が 77.2%で最も多く、次いで「習い事」が 57.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 25.2%の順となっています。



n=302

【高学年時に希望する放課後の居場所】

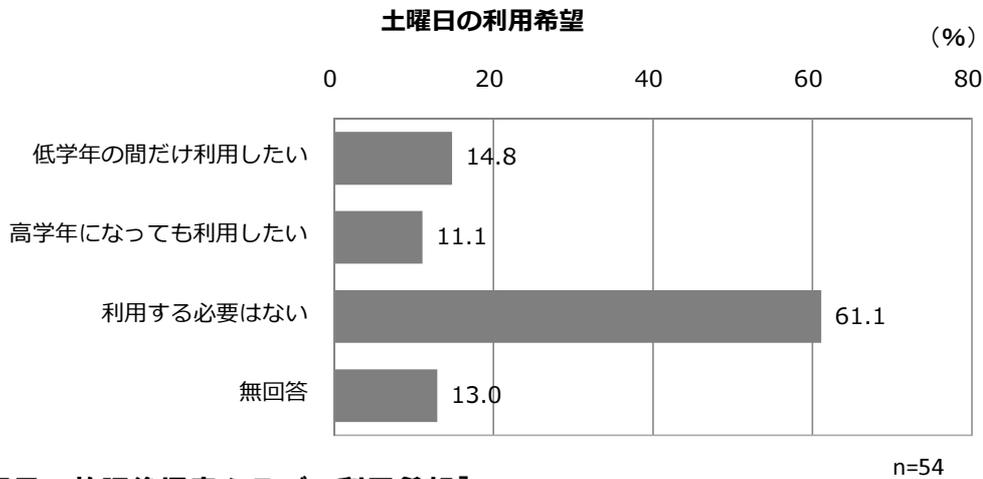
・「自宅」が 47.4%で最も多く、次いで「習い事（スポーツ、塾など）」が 44.0%、「祖父母等友人・知人宅」が 17.5%となっています。



n=302

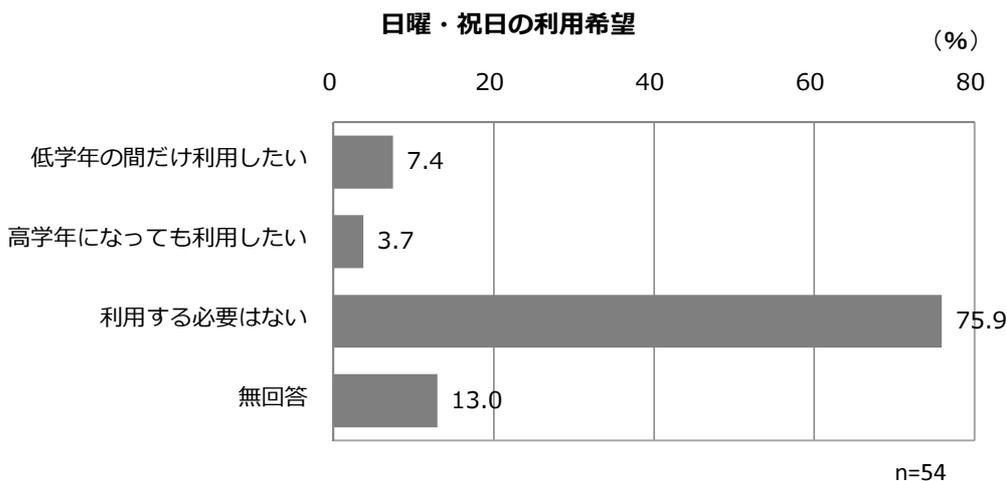
問 13 (1) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望 (SA) (児童クラブ利用者・希望者限定)

・「利用する必要はない」が 61.1%で最も多く、次いで「低学年の間だけ利用したい」が 14.8%、「高学年になっても利用したい」が 11.1%となっています。



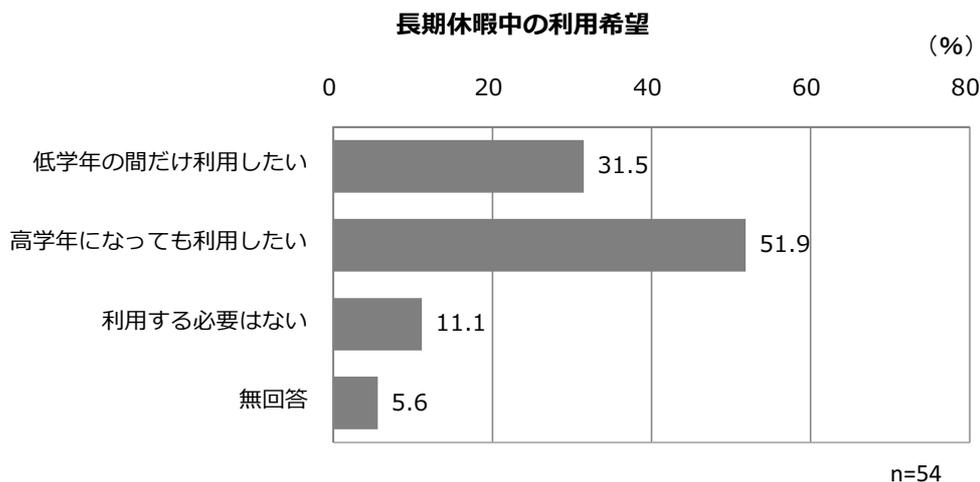
[日・祝日の放課後児童クラブの利用希望]

・「利用する必要はない」が 75.9%で最も多く、次いで「低学年の間だけ利用したい」が 7.4%、「高学年になっても利用したい」が 3.7%となっています。



[長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望]

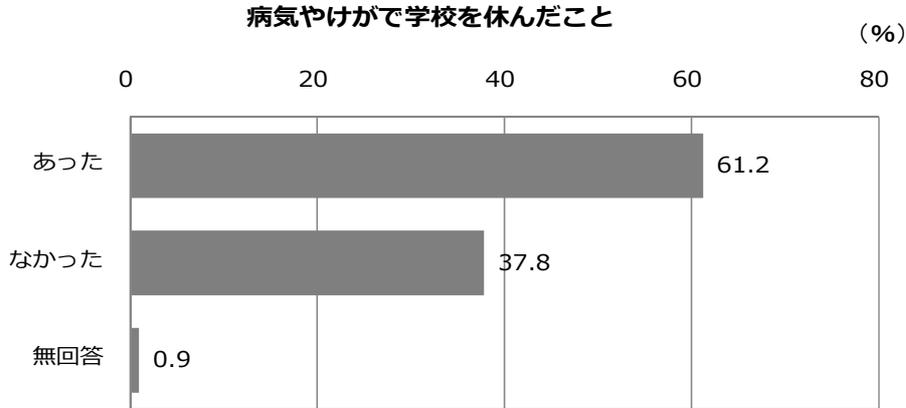
・「高学年になっても利用したい」が 51.9%で最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」31.5%、「利用する必要はない」が 11.1%となっています。



5 病気の際の対応について

問14 病気やけがで学校を休んだこと (SA)

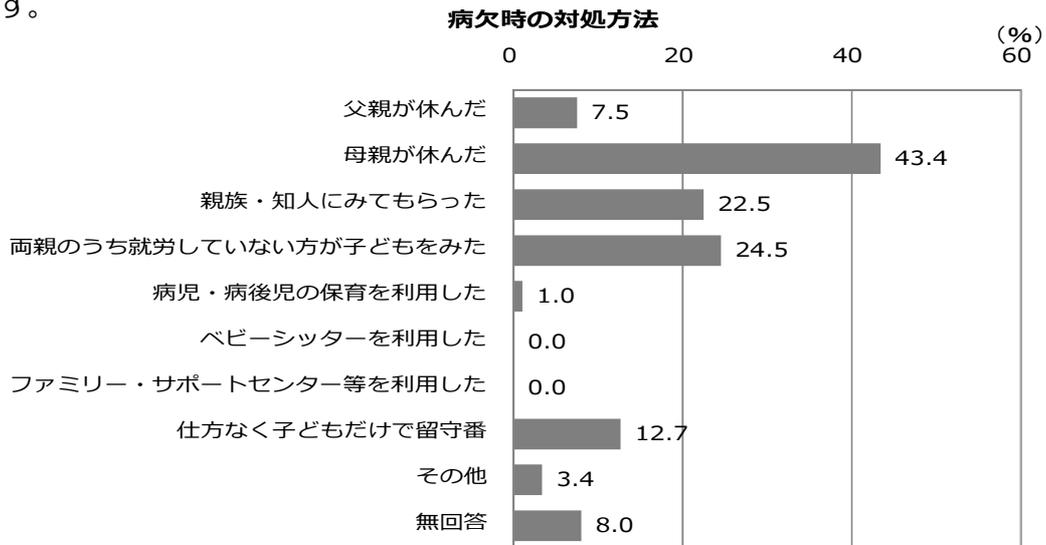
・「あった」が61.2%、「なかった」が37.8%となっています。



[対処方法]

n=632

・その際の対処方法としては、「母親が休んだ」が43.4%で最も多く、次いで「両親のうち就労していない方が子どもをみた」が24.5%、「親族・知人にみてもらった」が22.5%となっています。

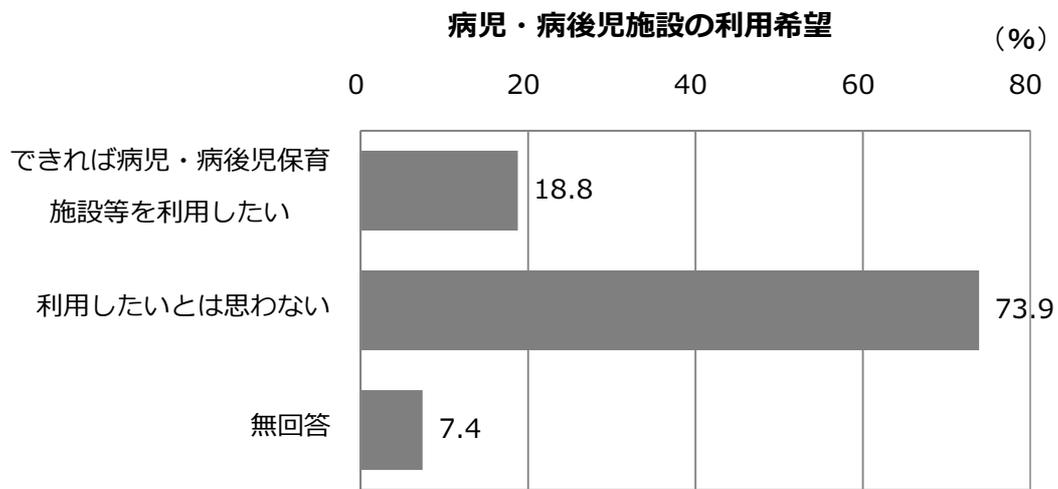


n=387

	合計	問14-1病欠時の対処方法										無回答	非該当
		父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人にみてもらった	両親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポートセンター等を利用した	仕方なく子どもだけで留守番	その他			
全体	387	29	168	87	95	4	0	0	49	13	31	245	
	100.0	7.5	43.4	22.5	24.5	1.0	0.0	0.0	12.7	3.4	8.0		
問2子どもの学年	1年生	63	5	29	15	21	2	0	2	1	2	37	
		100.0	7.9	46.0	23.8	33.3	3.2	0.0	3.2	1.6	3.2		
	2年生	64	4	27	19	18	0	0	5	0	6	30	
		100.0	6.3	42.2	29.7	28.1	0.0	0.0	7.8	0.0	9.4		
	3年生	69	7	29	14	16	2	0	8	3	9	39	
		100.0	10.1	42.0	20.3	23.2	2.9	0.0	11.6	4.3	13.0		
	4年生	63	3	28	15	17	0	0	9	2	4	43	
		100.0	4.8	44.4	23.8	27.0	0.0	0.0	14.3	3.2	6.3		
5年生	55	4	25	10	10	0	0	10	3	3	48		
	100.0	7.3	45.5	18.2	18.2	0.0	0.0	18.2	5.5	5.5			
6年生	64	4	27	11	12	0	0	13	4	6	46		
	100.0	6.3	42.2	17.2	18.8	0.0	0.0	20.3	6.3	9.4			
無回答	9	2	3	3	1	0	0	2	0	1	2		
	100.0	22.2	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1			

[病児・病後児施設の利用希望]

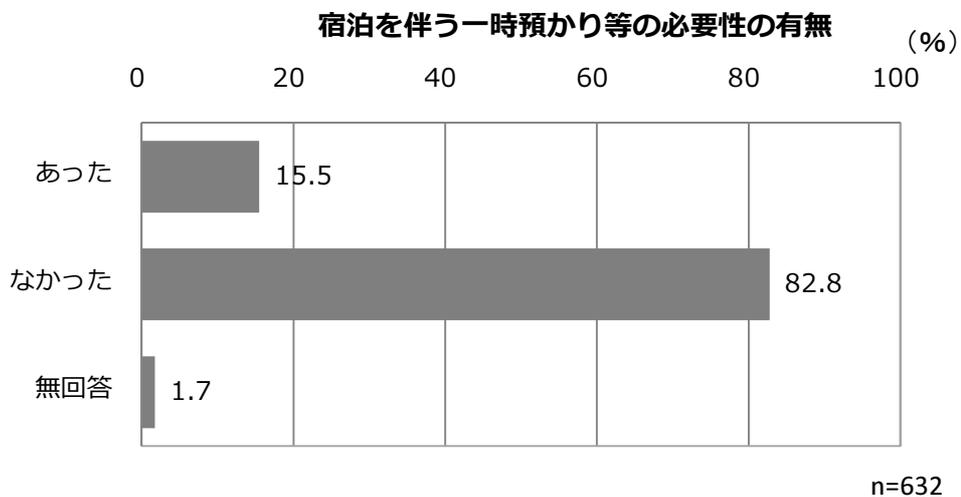
・「利用したいとは思わない」が 73.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 18.8%となっています。



n=176

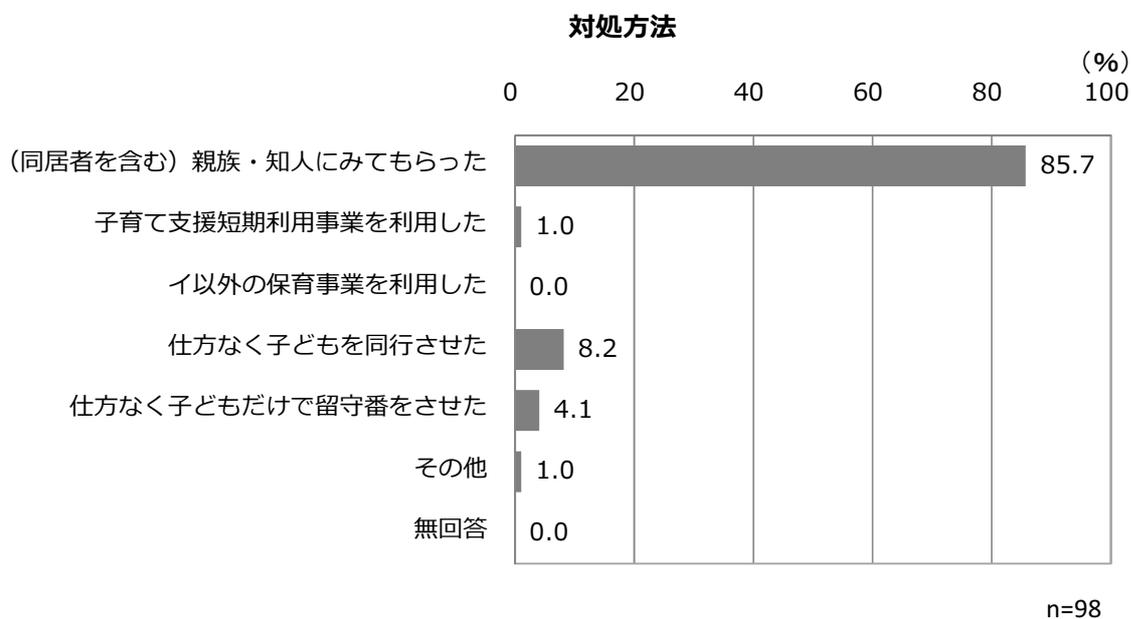
問 15 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無 (SA)

・「なかった」が82.8%、「あった」が15.5%となっています。



[対処方法 (MA)]

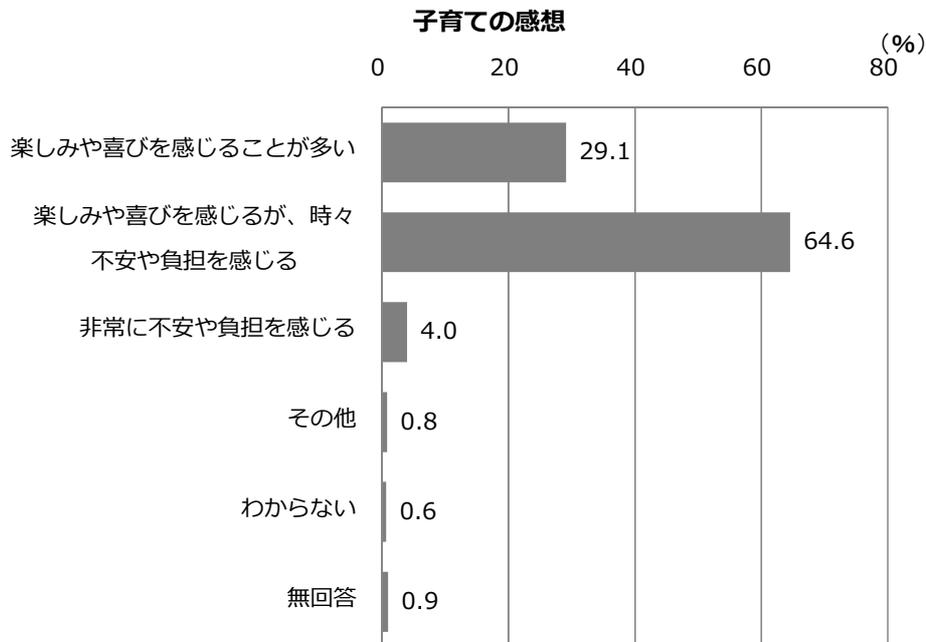
・その際に対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が85.7%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が8.2%となっています。



6 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて

問 16 子育ての感想 (SA)

・「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」が64.6%で最も多く、次いで「楽しみや喜びを感じることが多い」が29.1%、「非常に不安や負担を感じる」が4.0%となっています。



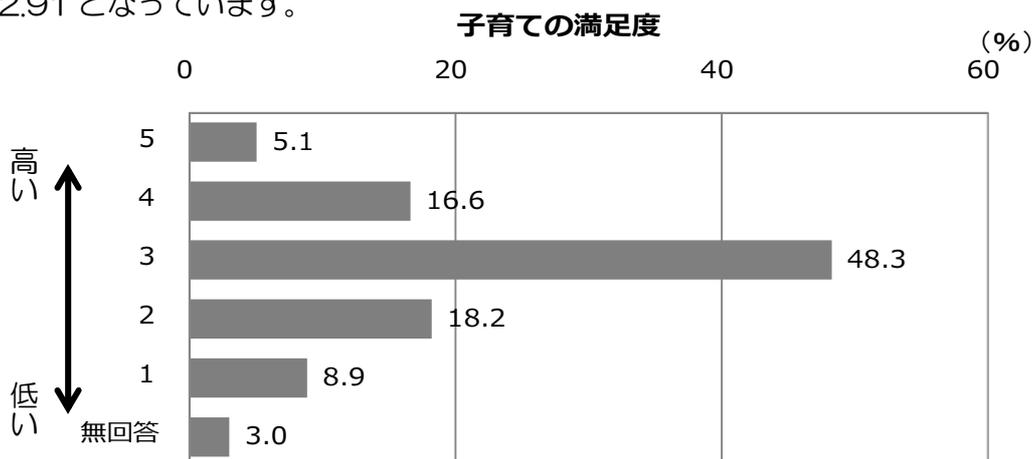
n=632

【子育てに非常に不安や負担を感じる理由】

- ・非常に負担や不安を感じる理由としては、「ひとり親家庭であるため」、「母親が病気のため」、「子どもに障害があるため」、「経済的問題」、「子どもとのコミュニケーション不足」、「不登校」などがあげられていました。
- ・楽しみや喜びを感じるが多い理由としては、「子どもの成長が著しく頼もしい」、「成長するのを見るのは楽しい」、「子どもと話していて楽しい」という意見が多くあげられていました。

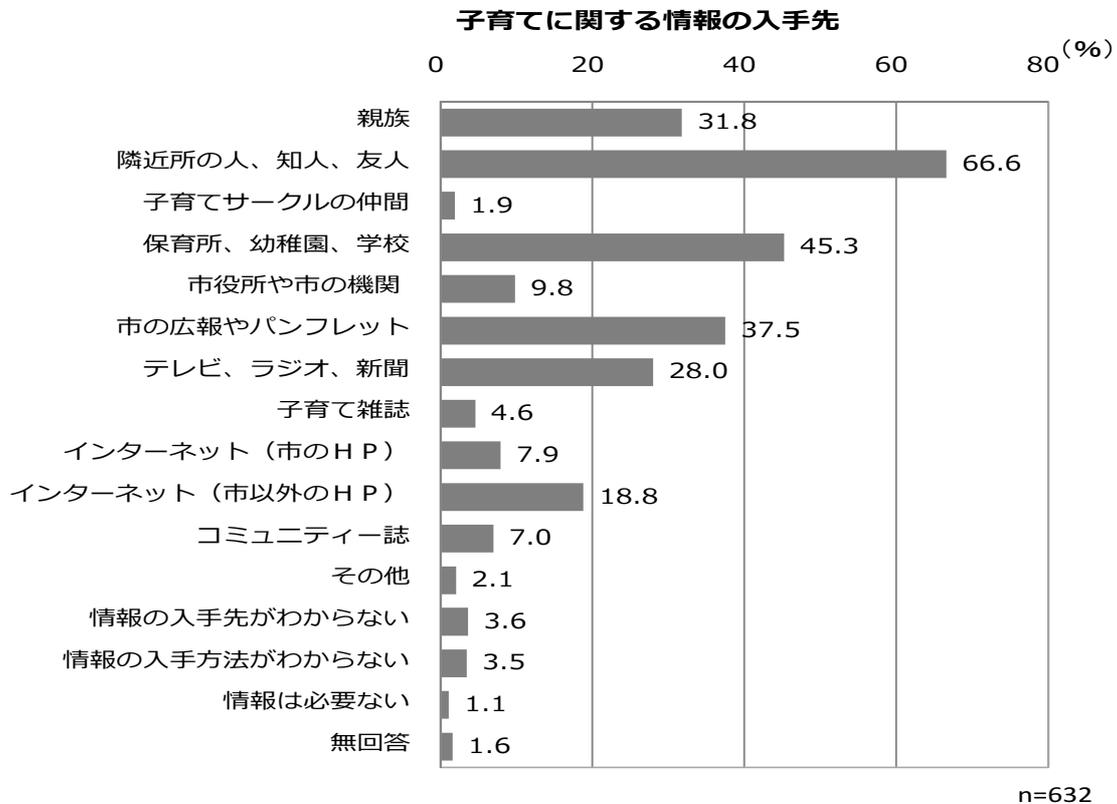
問 17 地域の育ての環境や支援の満足度 (SA)

・「3」が48.3%で最も多く、次いで「2」が18.2%、「4」が16.6%となっており、全体で平均2.91となっています。



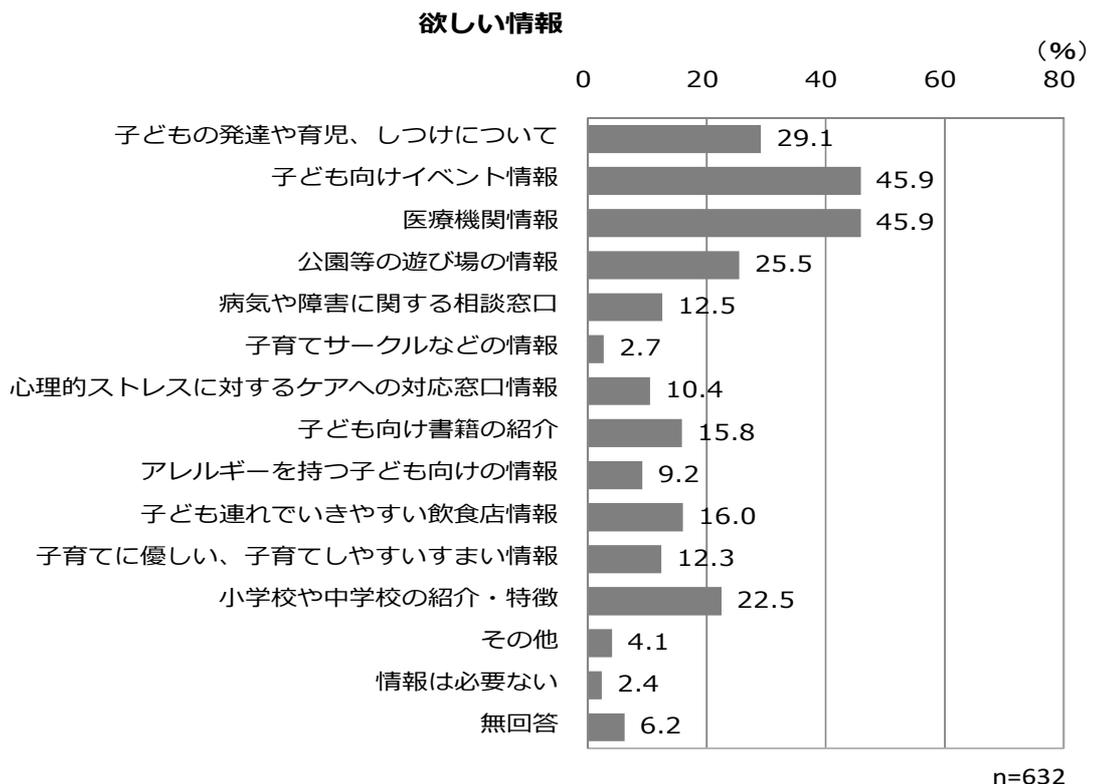
問 18 情報の入手先 (MA)

- ・「隣近所の人、知人、友人」が66.6%で最も多く、次いで「保育所、幼稚園、学校」が45.3%、「市の広報やパンフレット」が37.5%の順となっています。



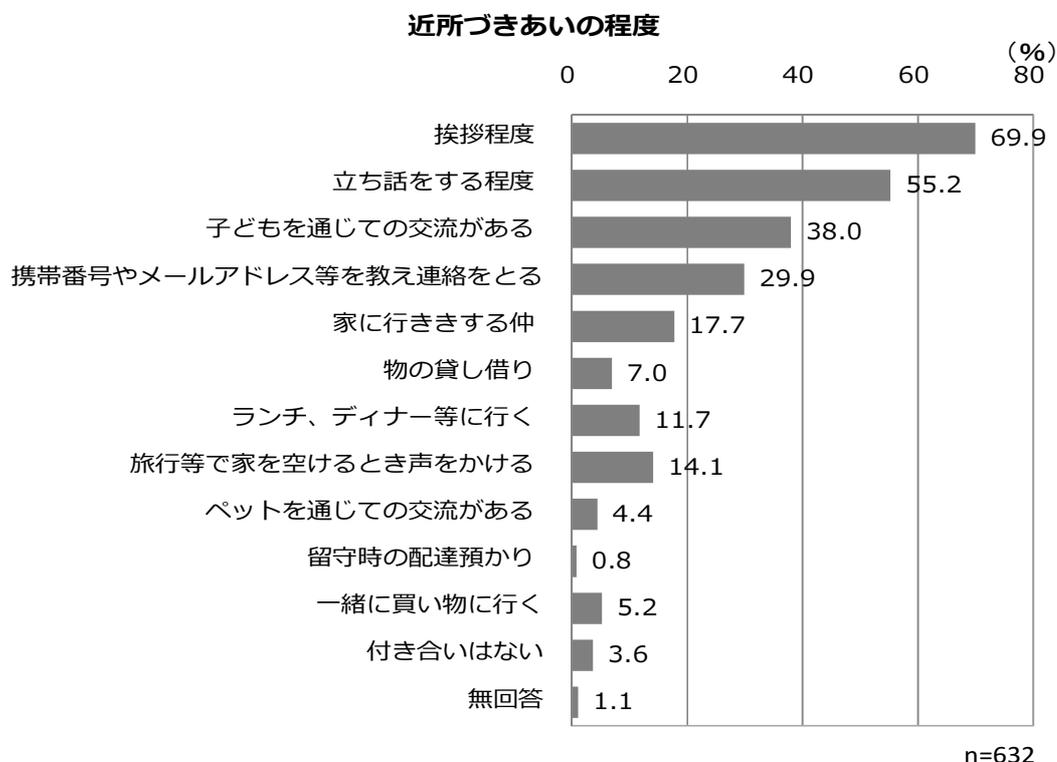
問 19 子育てに関する欲しい情報 (MA)

- ・「子ども向けイベント情報」と「医療機関情報」が45.9%で最も多く、次いで「子どもの発達や育児、しつけについて」が29.1%の順となっています。



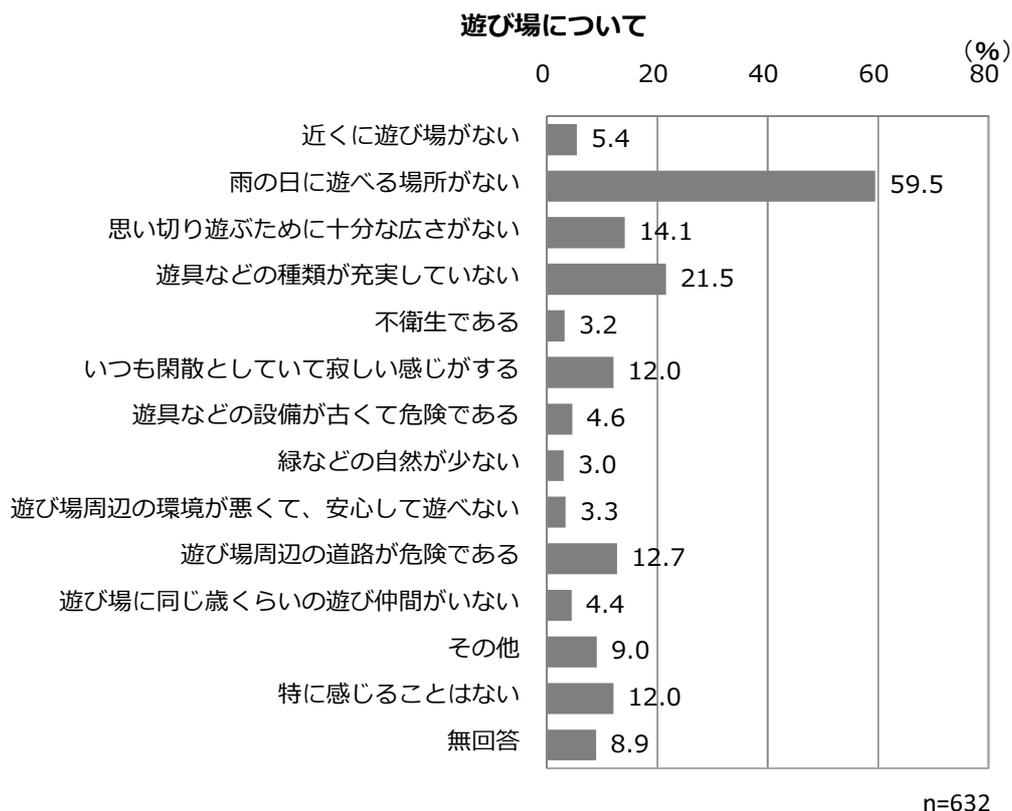
問 20 近所づきあいの程度 (MA)

- ・「挨拶程度」が 69.9%で最も多く、次いで「立ち話をする程度」が 55.2%、「子どもを通じた交流がある」38.0%の順となっています。
- ・「付き合いはない」は 3.6%です。



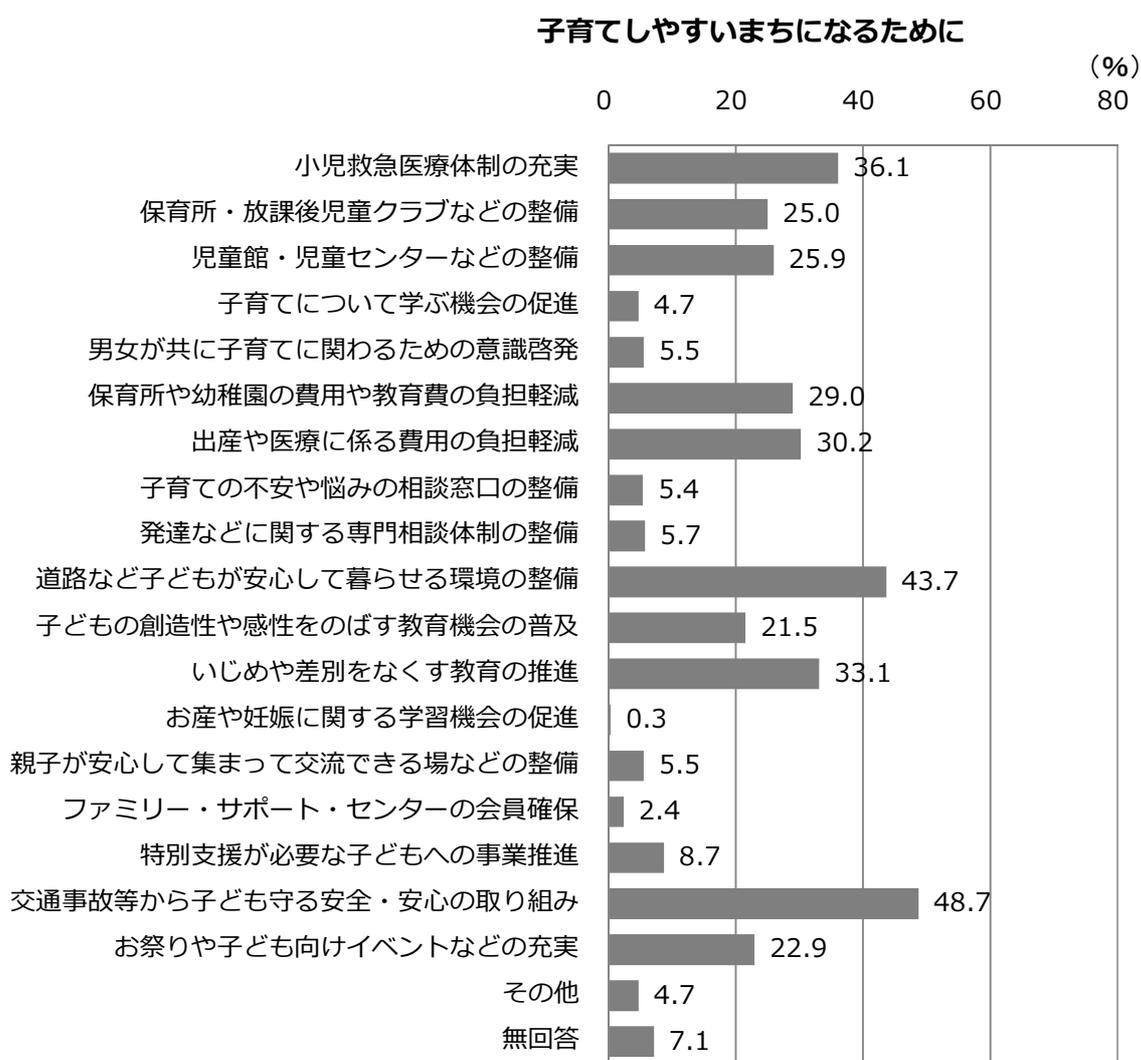
問 21 遊び場について (MA)

- ・「雨の日に遊べる場所がない」が 59.5%で最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が 21.5%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が 14.1%の順となっています。



問 22 子育てしやすいまちとなるために必要なこと (MA)

・「交通事故等から子どもを守る安全・安心の取り組み」が 48.7%で最も多く、次いで、「道路など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が 43.7%、「小児救急医療体制の充実」が 36.1%の順となっています。



n=632